

# 数量公開用図書

設計

令和8年5月

工事名称 大正団地簡易平屋除却工事

工事場所 帯広市大正町基線100番7

## ※注意事項

- ①本設計書は参考数量として取り扱い、数量の相違については、各々の判断で入札価格に反映させてください。

## 工事概要

1 工期 契約上の着工日から 令和8年12月11日まで

2 仕様書 別紙「特記仕様書」による

3 工事内容

- ・大正団地1～4号棟の解体及び撤去
- ・電気設備の撤去、機械設備の撤去
- ・その他付帯設備等の撤去
- ・切込砂利による整地後、防護柵囲い設置

4 構造・規模 C B造平屋建て 4棟

○1号棟(3戸長屋) 構造: C B造 地上1階建  
建築面積: 199.67m<sup>2</sup> 延床面積: 199.67m<sup>2</sup>

○2号棟(3戸長屋) 構造: C B造 地上1階建  
建築面積: 199.67m<sup>2</sup> 延床面積: 199.67m<sup>2</sup>

○3号棟(3戸長屋) 構造: C B造 地上1階建  
建築面積: 199.67m<sup>2</sup> 延床面積: 199.67m<sup>2</sup>

○4号棟(2戸長屋) 構造: C B造 地上1階建  
建築面積: 127.42m<sup>2</sup> 延床面積: 127.42m<sup>2</sup>

5 その他 アスベスト(レベル3)含有

---

( 工事価格 ) \_\_\_\_\_ )  
( \_\_\_\_\_ )  
( \_\_\_\_\_ )

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		







建築工事 科目別内訳

本体解体工事費					
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考	
3戸長屋 直接仮設	1	式			
3戸長屋 内部従物類撤去	1	式			
3戸長屋 内部部分とりこわし	1	式			
3戸長屋 外部部分とりこわし	1	式			
3戸長屋 躯体とりこわし	1	式			
3戸長屋 戸別撤去	1	式			
2戸長屋 直接仮設	1	式			
2戸長屋 内部従物類撤去	1	式			
2戸長屋 内部部分とりこわし	1	式			
2戸長屋 外部部分とりこわし	1	式			
2戸長屋 躯体とりこわし	1	式			
2戸長屋 戸別撤去	1	式			
計					

建築工事 科目別内訳

アスベスト処理費					
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考	
3戸長屋 清掃・剥離養生作業	1	式			
3戸長屋 石綿建材除去作業費	1	式			
3戸長屋 安全設備機器等損料	1	式			
3戸長屋 安全衛生保護具等	1	式			
3戸長屋 雑費・書類作成費	1	式			
2戸長屋 清掃・剥離養生作業	1	式			
2戸長屋 石綿建材除去作業費	1	式			
2戸長屋 安全設備機器等損料	1	式			
2戸長屋 安全衛生保護具等	1	式			
2戸長屋 雑費・書類作成費	1	式			
計					









建築工事 中科目別内訳

本体解体工事費					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
3戸長屋 直接仮設	北棟	1	式		
3戸長屋 直接仮設	中棟	1	式		
3戸長屋 直接仮設	南棟	1	式		
計					
3戸長屋 内部従物類撤去	北棟	1	式		
3戸長屋 内部従物類撤去	中棟	1	式		
3戸長屋 内部従物類撤去	南棟	1	式		
計					
3戸長屋 内部部分とりこわし	北棟	1	式		
3戸長屋 内部部分とりこわし	中棟	1	式		
3戸長屋 内部部分とりこわし	南棟	1	式		
計					
3戸長屋 外部部分とりこわし	北棟	1	式		
3戸長屋 外部部分とりこわし	中棟	1	式		
3戸長屋 外部部分とりこわし	南棟	1	式		

建築工事 中科目別内訳

本体解体工事費					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
3戸長屋 躯体とりこわし	北棟	1	式		
3戸長屋 躯体とりこわし	中棟	1	式		
3戸長屋 躯体とりこわし	南棟	1	式		
計					
3戸長屋 戸別撤去		1	式		
計					
2戸長屋 直接仮設		1	式		
計					
2戸長屋 内部従物類撤去		1	式		
計					
2戸長屋 内部部分とりこわし		1	式		
計					
2戸長屋 外部部分とりこわし		1	式		
計					



















本体解体工事費		3戸長屋 内部部分とりこわし		北棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内装材とりこわし	9.0t プリントボード 集積共	169	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t 石膏ボード 集積共	8.1	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 天井	5.5t 合板撤去	4.4	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	モルタル塗 巾木面 25t	1.9	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	ラスモルタル塗撤去 25t	41.6	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	2.7t 合板撤去	147	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	5.5t 合板撤去	27.1	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t 石膏ボード 集積共	28	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t プリントボード	236	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	12t 集積共	72.9	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	30t 集積共	3.1	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	35t 集積共	1.9	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	12t フロア合板 集積共	6.1	m <sup>2</sup>			
畳撤去	一畳 集積共	48	枚			
畳撤去	半畳 集積共	3	枚			

本体解体工事費		3戸長屋 内部部分とりこわし		北棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
棚板撤去	12t 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
棚板撤去	18t 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	片開き戸 扉のみ 集積共	25.1	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	両開き戸 扉のみ 集積共	35.7	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	ガラス片開き戸 扉のみ 集積共	28	m <sup>2</sup>			
ガラス撤去	木、アルミ建具内 集積共	56.2	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	天井面 GW100 t	200	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 GW100 t クラフト紙、受けネット共	186	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	壁面 FP30 t	418	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 FP30 t	16	m <sup>2</sup>			
防湿フィルム撤去	壁クロス撤去準用 GW部 天井面、床面 集積共	560	m <sup>2</sup>			
計						

本体解体工事費		3戸長屋 内部部分とりこわし			中棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内装材とりこわし	9.0t プリントボード 集積共	169	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t 石膏ボード 集積共	8.1	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 天井	5.5t 合板撤去	4.4	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	モルタル塗 巾木面 25t	1.9	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	ラスモルタル塗撤去 25t	41.6	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	2.7t 合板撤去	147	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	5.5t 合板撤去	27.1	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t 石膏ボード 集積共	28	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t プリントボード	236	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	12t 集積共	72.9	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	30t 集積共	3.1	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	35t 集積共	1.9	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	12t フロア合板 集積共	6.1	m <sup>2</sup>			
畳撤去	一畳 集積共	48	枚			
畳撤去	半畳 集積共	3	枚			

本体解体工事費		3戸長屋 内部部分とりこわし			中棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
棚板撤去	12t 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
棚板撤去	18t 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	片開き戸 扉のみ 集積共	25.1	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	両開き戸 扉のみ 集積共	35.7	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	ガラス片開き戸 扉のみ 集積共	28	m <sup>2</sup>			
ガラス撤去	木、アルミ建具内 集積共	56.2	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	天井面 GW100 t	200	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 GW100 t クラフト紙、受けネット共	186	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	壁面 FP30 t	418	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 FP30 t	16	m <sup>2</sup>			
防湿フィルム撤去	壁クロス撤去準用 GW部 天井面、床面 集積共	560	m <sup>2</sup>			
計						

本体解体工事費		3戸長屋 内部部分とりこわし			南棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内装材とりこわし	9.0t プリントボード 集積共	169	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t 石膏ボード 集積共	8.1	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 天井	5.5t 合板撤去	4.4	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	モルタル塗 巾木面 25t	1.9	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	ラスモルタル塗撤去 25t	41.6	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	2.7t 合板撤去	147	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	5.5t 合板撤去	27.1	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t 石膏ボード 集積共	28	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t プリントボード	236	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	12t 集積共	72.9	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	30t 集積共	3.1	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	35t 集積共	1.9	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板 70-リッパ撤去	12t フロアー合板 集積共	6.1	m <sup>2</sup>			
畳撤去	一畳 集積共	48	枚			
畳撤去	半畳 集積共	3	枚			

本体解体工事費		3戸長屋 内部部分とりこわし			南棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
棚板撤去	12t 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
棚板撤去	18t 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	4.1	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	片開き戸 扉のみ 集積共	25.1	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	両開き戸 扉のみ 集積共	35.7	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	ガラス片開き戸 扉のみ 集積共	28	m <sup>2</sup>			
ガラス撤去	木、アルミ建具内 集積共	56.2	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	天井面 GW100 t	200	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 GW100 t クラフト紙、受けネット共	186	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	壁面 FP30 t	418	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 FP30 t	16	m <sup>2</sup>			
防湿フィルム撤去	壁クロス撤去準用 GW部 天井面、床面 集積共	560	m <sup>2</sup>			
計						

本体解体工事費		3戸長屋 外部部分とりこわし		北棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
従物(小)とりこわし	浴室煙突 SUS120 L=2.5	7	か所			
従物(小)とりこわし	レジスターフード	21	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(玄関上部)	3	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(妻面)	2	か所			
従物(小)とりこわし	集合煙突陣笠	3	か所			
従物(小)とりこわし	便所臭突立上り	3	か所			
従物(小)とりこわし	床下換気口	19	か所			
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	300	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	4.8	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	3.8	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共 集積共	24.8	m <sup>2</sup>			
計						

本体解体工事費		3戸長屋 外部部分とりこわし		中棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
従物(小)とりこわし	浴室煙突 SUS120 L=2.5	7	か所			
従物(小)とりこわし	レジスターフード	21	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(玄関上部)	3	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(妻面)	2	か所			
従物(小)とりこわし	集合煙突陣笠	3	か所			
従物(小)とりこわし	便所臭突立上り	3	か所			
従物(小)とりこわし	床下換気口	19	か所			
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	300	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	4.8	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	3.8	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共 集積共	24.8	m <sup>2</sup>			
計						

本体解体工事費		3戸長屋 外部部分とりこわし			南棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
従物(小)とりこわし	浴室煙突 SUS120 L=2.5	7	か所			
従物(小)とりこわし	レジスターフード	21	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(玄関上部)	3	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(妻面)	2	か所			
従物(小)とりこわし	集合煙突陣笠	3	か所			
従物(小)とりこわし	便所臭突立上り	3	か所			
従物(小)とりこわし	床下換気口	19	か所			
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	300	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	4.8	m <sup>2</sup>			
銅製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	3.8	m <sup>2</sup>			
銅製戸撤去	両開き戸 枠共 集積共	24.8	m <sup>2</sup>			
計						

本体解体工事費		3戸長屋 躯体とりこわし			北棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根とりこわし	野地板撤去	292	m <sup>2</sup>			
床組撤去	小屋組撤去 床組つか立て程度 集積共	231	m <sup>2</sup>			
天井下地撤去	軒天 集積共	26.3	m <sup>2</sup>			
天井下地撤去	内部 集積共	200	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	軸組	278	m <sup>2</sup>			
壁下地撤去	集積共	240	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	木造床組 集積共	184	m <sup>2</sup>			
コンクリートブロック造とりこわし		40.1	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 圧碎機	33.2	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 土間コン 圧碎機 標準	1.7	m <sup>3</sup>			
鉄筋切断	集積共	75	m <sup>3</sup>			
地業とりこわし	機械 集積・積込み共	1.7	m <sup>3</sup>			
とりこわし機械運搬 (ハースマン社)	排出ガス対策型 油圧式加圧型0.5m <sup>3</sup>	1	往復			
計						

建築工事 細目別内訳

47

本体解体工事費		3戸長屋 躯体とりこわし		中棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根とりこわし	野地板撤去	292	m <sup>2</sup>			
床組撤去	小屋組撤去 床組つか立て程度 集積共	231	m <sup>2</sup>			
天井下地撤去	軒天 集積共	26.3	m <sup>2</sup>			
天井下地撤去	内部 集積共	200	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	軸組	278	m <sup>2</sup>			
壁下地撤去	集積共	240	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	木造床組 集積共	184	m <sup>2</sup>			
コンクリートブロック造 とりこわし		40.1	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 圧碎機 -	33.2	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 土間コン 圧碎機 標準	1.7	m <sup>3</sup>			
鉄筋切断	集積共	75	m <sup>3</sup>			
地業とりこわし	機械 集積・積込み共	1.7	m <sup>3</sup>			
とりこわし機械 運搬 (ヘーミング、バックホウ) 計	排出ガス対策型 油圧式加圧型0.5m <sup>3</sup>	1	往復			

建築工事 細目別内訳

48

本体解体工事費		3戸長屋 躯体とりこわし		南棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根とりこわし	野地板撤去	292	m <sup>2</sup>			
床組撤去	小屋組撤去 床組つか立て程度 集積共	231	m <sup>2</sup>			
天井下地撤去	軒天 集積共	26.3	m <sup>2</sup>			
天井下地撤去	内部 集積共	200	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし 内壁	軸組	278	m <sup>2</sup>			
壁下地撤去	集積共	240	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	木造床組 集積共	184	m <sup>2</sup>			
コンクリートブロック造 とりこわし		40.1	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 圧碎機 -	33.2	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 土間コン 圧碎機 標準	1.7	m <sup>3</sup>			
鉄筋切断	集積共	75	m <sup>3</sup>			
地業とりこわし	機械 集積・積込み共	1.7	m <sup>3</sup>			
とりこわし機械 運搬 (ヘーミング、バックホウ) 計	排出ガス対策型 油圧式加圧型0.5m <sup>3</sup>	1	往復			



本体解体工事費		2戸長屋 内部従物類撤去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
従物(小)とりこわし	便所手すり L=450	2	か所			
流し台類とりこわし	流し台 L=1400	2	か所			
流し台類とりこわし	コンロ台 L=700	2	か所			
流し台類とりこわし	吊戸棚 L=1200	2	か所			
従物(小)とりこわし	ハンガーボード 700×1200	2	か所			
従物(小)とりこわし	台所換気扇フード	2	か所			
流し台類とりこわし	洗面台	2	か所			
計						

本体解体工事費		2戸長屋 内部部分とりこわし				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内装材とりこわし	9.0t プリントボード 集積共	78.4	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t 石膏ボード 集積共	14.7	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし天井	5.5t 合板撤去	3.6	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし内壁	モルタル塗 巾木面 25t	3.8	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし内壁	ラスモルタル塗撤去 25t	29.3	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし内壁	2.7t 合板撤去	86.1	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし内壁	5.5t 合板撤去	24	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし	9.0t プリントボード	179	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板「加工」撤去	12t 集積共	62.1	m <sup>2</sup>			
床・縁甲板「加工」撤去	12t フロアー合板 集積共	6.6	m <sup>2</sup>			
畳撤去	一畳 集積共	20	枚			
畳撤去	半畳 集積共	2	枚			
棚板撤去	30t 集積共	7.6	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし内壁	モルタル塗 巾木面 27t (25t同等)	3	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	2.8	m <sup>2</sup>			

本体解体工事費		2戸長屋 内部部分とりこわし				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木製戸撤去	片開き戸 扉のみ 集積共	7.7	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	両開き戸 扉のみ 集積共	34.8	m <sup>2</sup>			
木製戸撤去	ガラス片開き戸 扉のみ 集積共	18.6	m <sup>2</sup>			
ガ <sup>2</sup> 撤去	木、アルミ建具内 集積共	39	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	天井面 GW100 t	127	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 GW100 t クラフト紙、受けネット共	116	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	壁面 FP30 t	193	m <sup>2</sup>			
壁断熱材撤去	床面 FP30 t	10.9	m <sup>2</sup>			
防湿フィルム撤去	壁クロス撤去準用 GW部 天井面、床面 集積共	253	m <sup>2</sup>			
計						

本体解体工事費		2戸長屋 外部部分とりこわし				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
従物(小)とりこわし	レジスターフード	10	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(玄関上部)	2	か所			
従物(小)とりこわし	小屋裏換気口(妻面)	2	か所			
従物(小)とりこわし	集合煙突陣笠	2	か所			
従物(小)とりこわし	便所臭突立上り	2	か所			
従物(小)とりこわし	床下換気口	13	か所			
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	211	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	6.3	m <sup>2</sup>			
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共 集積共	10.2	m <sup>2</sup>			
壁下地撤去	壁フレキ 集積共	28.9	m <sup>2</sup>			
計						





アスベスト処理費		3戸長屋 清掃・剥離養生作業			南棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
事前清掃		170	m <sup>2</sup>			
剥離養生費	天井面シート 0.10mm	138	m <sup>2</sup>			
剥離養生費	床面シート 0.10mm	170	m <sup>2</sup>			
最終清掃		170	m <sup>2</sup>			
計						

アスベスト処理費		3戸長屋 石綿建材除去作業費			北棟	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
粉塵飛散抑制剤浸透処理	除去面	499	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 天井面スレートボード	21	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 壁面スレートボード	54	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 石綿セメント円筒	9	か所			
石綿含有建材除去	屋内 防滴塗材(シンク)	3	台			
石綿含有建材除去	屋内 アスファルトフェルト (配管保温材)	20	m			
石綿含有建材除去	屋内 壁アルミ付アスファルトフェルト	4.1	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 軒天スレートボード	34	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 窓枠、換気口枠シーリング材	116	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 屋根アスファルトルーフィング	243	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 屋根板金撤去	243	m <sup>2</sup>			
飛散防止剤吹付処理	養生シート面	308	m <sup>2</sup>			
石綿含有形成板密封処理	0.15mm ポリ袋 二重	499	m <sup>2</sup>			
飛散防止養生撤去密封処理		308	m <sup>2</sup>			
除去具消耗品等		499	m <sup>2</sup>			

アスベスト処理費		3戸長屋 石綿建材除去作業費		北棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
廃棄物搬出		807	m <sup>2</sup>			
計						

アスベスト処理費		3戸長屋 石綿建材除去作業費		中棟		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
粉塵飛散抑制剤浸透処理	除去面	499	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 天井面スレートボード	21	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 壁面スレートボード	54	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 石綿セメント円筒	9	か所			
石綿含有建材除去	屋内 防滴塗材(シンク)	2	台			
石綿含有建材除去	屋内 アスファルトフェルト (配管保温材)	25	m			
石綿含有建材除去	外部 窓枠、換気口枠シーリング材	116	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 軒天スレートボード	34	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 屋根アスファルトルーフィング	243	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 屋根板金撤去	243	m <sup>2</sup>			
飛散防止剤吹付処理	養生シート面	308	m <sup>2</sup>			
石綿含有形成板密封処理	0.15mm ポリ袋 二重	499	m <sup>2</sup>			
飛散防止養生撤去密封処理		308	m <sup>2</sup>			
除去具消耗品等		499	m <sup>2</sup>			
廃棄物搬出		807	m <sup>2</sup>			













アスベスト処理費		2戸長屋 清掃・剥離養生作業				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
事前清掃		105	m <sup>2</sup>			
剥離養生費	天井面シート 0.10mm	105	m <sup>2</sup>			
剥離養生費	床面シート 0.10mm	85.6	m <sup>2</sup>			
最終清掃		105	m <sup>2</sup>			
計						

アスベスト処理費		2戸長屋 石綿建材除去作業費				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
粉塵飛散抑制剤浸透処理	除去面	321	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 天井面スレートボード	4.1	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 壁面スレートボード	4.1	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	屋内 石綿セメント円筒	4	か所			
石綿含有建材除去	屋内 防滴塗材(シンク)	2	台			
石綿含有建材除去	屋内 アスファルトフェルト (配管保温材)	20	m			
石綿含有建材除去	屋内 湯沸し器	1	台			
石綿含有建材除去	外部 軒天スレートボード	22.3	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 壁面スレートボード	28.9	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 屋根アスファルトルーフィング	205	m <sup>2</sup>			
石綿含有建材除去	外部 屋根板金撤去	205	m <sup>2</sup>			
飛散防止剤吹付処理	養生シート面	105	m <sup>2</sup>			
石綿含有形成板密封処理	0.15mm ポリ袋 二重	321	m <sup>2</sup>			
飛散防止養生撤去密封処理		105	m <sup>2</sup>			
除去具消耗品等		321	m <sup>2</sup>			





































# 大正団地簡易平屋除却工事

---

## 特記仕様書

令和 8 年 5 月

帯広市都市環境部都市建築室住宅営繕課

● 解体工事特記仕様書

I 工事概要及び範囲

II 各 工 事

- 第1章 一般共通事項
- 第2章 仮 設 工 事
- 第3章 解 体 施 工
- 第4章 建設廃棄物の処理
- 第5章 特別管理産業廃棄物等の処理等
- 第6章 石綿含有建材の除去及び処理
- 第7章 特殊な建設副産物の処理
- 第8章 そ の 他

**I 工事概要及び範囲**

1. 工事場所 帯広市大正町基線100番7

2. 解体する建築物等の概要

(1) 解体建物 ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	構造種別・階数	数量	単位	備考
●	大正団地（簡易平屋）	C B造・平屋建	726.43	m <sup>2</sup>	詳細は図示による
○					
○					
○					
○					

内訳

	名称	構造	階数	型別	戸数	延べ面積	備考
●	1号棟	C B造	1	2DK	戸	199.67m <sup>2</sup>	47-49号室
				2LDK	戸		
				3LDK	3戸		
				住戸計	3戸		
●	2号棟	C B造	1	2DK	戸	199.67m <sup>2</sup>	50-52号室
				2LDK	戸		
				3LDK	3戸		
				住戸計	3戸		
●	3号棟	C B造	1	2DK	戸	199.67m <sup>2</sup>	53-55号室
				2LDK	戸		
				3LDK	3戸		
				住戸計	3戸		
●	4号棟	C B造	1	2DK	戸	127.42m <sup>2</sup>	56-57号室
				2LDK	戸		
				3LDK	2戸		
				住戸計	2戸		

(2) 解体付帯施設等 ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	品 種	規格	数量	単位	備考
○	アスファルト舗装ほか				式	詳細は図示による
●	樹木			1	式	詳細は図示による
○	遊具				式	詳細は図示による
●	架線及び構内柱			1	式	詳細は図示による
○						

3. 建物の解体後に設置する工作物等（塀、柵等） ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	品 種	規格	数量	単位	備考
○	木製防護柵	焼き丸太	H=1,000		m	範囲は、図面による
●	鋼製防護柵	丸パイプ	H=1,200	209.3	m	範囲は、図面による
○						
○						
○						

4. 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の対象の有無 ● 有 ○ 無

5. 指定部分工事

(1) 工事範囲

(2) 指定工期 契約日より 令和 年 月 日まで

## II 各 工 事

1. 図面（閲覧用設計書を含む）及びこの特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 令和7年版（各工事編）」（以下「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書 令和7年版（各工事編）」（以下「改修標準仕様書」という。）、「公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版」、「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」（以下「解体共通仕様書」という。）及び「北海道建設部土木工事共通仕様書（令和7年10月版）」による。
2. 特記事項の適用については次による。
  - (1) 章は●印を、項目は▶印の付いたものを適用する。
  - (2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。
    - ・ ●印の付かない場合は、\*印の付いたものを適用する。
    - ・ ●印と\*印の付いた場合は、共に適用する。
  - (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。
3. この特記仕様書に施工部位の記載のないものは図面によるものとする。
4. 本工事における工事監理業務委託の予定の有無 ○ 有 \* 無
5. 関係法令等
  - (1) 受注者は、工事の施工に当たり、周辺環境の保全に努めるとともに適用を受ける関係法令等を遵守し、必要に応じて次の関係法令等に従い手続き等を行い、工事を適切に施工すること。
    - ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）
    - ・ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）
    - ・ 資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）
    - ・ ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別処置法（以下「PCB特別措置法」という。）
    - ・ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（以下「フロン回収破壊法」という。）
    - ・ ダイオキシン類対策特別措置法
    - ・ 労働安全衛生法
    - ・ 大気汚染防止法
    - ・ 騒音規制法
    - ・ 振動規制法
    - ・ 水質汚濁防止法
    - ・ 石綿障害予防規則
    - ・ 特定化学物質障害予防規則
    - ・ 建築基準法
    - ・ 環境基本法
    - ・ 土壌汚染対策法
    - ・ 建設副産物適正処理推進要綱
  - (2) 受注者は、「建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編」及び「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」を遵守し、災害防止に努めること。
6. 工事に係る留意事項及び施工条件は、次のとおりとする。
  - ・ 工事場所周辺には集合住宅や一般住宅があり通学路に面していることから、工事に関する騒音・振動・粉塵・工事車両等について周辺住民に対して適切に配慮すること。
  - ・ 帯広市環境課所管の特定建設作業について、所定の期限までに届け出ること。
  - ・ 道路用地（緑地帯）内に仮囲いを設置するため、道路占用等の許可をとること。
  - ・ 現場事務所の位置は監督員と協議の上決定すること。

**第 1 章 一般共通事項**

記載のない限り1.1.1等の3つの数字は、建築物解体工事共通仕様書の章・節・項を示す

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	<p>請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、受注者が申出た日とし、工事工程表、総合施工計画書、工事指示・協議書のいずれかで示すこと。</p> <p>不明な点については、監督員と協議すること。</p>
▷ 2. 地元材等の優先使用	<p>本工事に使用する主要資材は、地元資材及び道産資材、北海道認定リサイクル製品を使用するよう努めること。（木材及び木材製品は除く。）</p>
▶ 3. 環境への配慮	<p>(1) 環境物品等の調達</p> <p>本工事の資材等に係る環境物品等の調達は、北海道グリーン購入基本方針に基づく現行の環境物品等調達方針により行うよう努める。</p> <p>上記における同調達方針として、資材（材料及び機材を含む）のこん包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷軽減に配慮したものを優先的に選択・使用するよう努めること。</p>
▷ 4. 地域材の優先使用	<p>本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地域材を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、産地等を監督員に報告すること。</p> <p>地域材とは、道内の森林で産出され、道内で加工された木材をいう。</p>
▷ 5. 合法木材の使用	<p>木材又は、木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用すること。</p> <p>また、木材の合法性の証明は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのライドライン」（平成18年2月林野庁）に準拠し、資材納入業者から証明を受けるとともに、証明書類を工事完了年度から起算して5年間保存すること。</p>
▶ 6. 工事写真	<p>工程写真は、営繕工事写真撮影要領 令和5年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課)による。</p> <p>デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課)による。</p> <p>完成写真は、監督員と協議すること。</p>
▶ 7. 技能士	<p>(1) 技能士の適用は次の職種とし、従事する技能士の氏名・職種及び資格を記載した書面により監督員に報告すること。</p> <p>ただし、作業の軽微なものは、監督員との協議により省略することができる。</p> <p>なお、施工計画書等の記載事項や添付資料（資格証明等）により、選定技能士の内容が確認できる場合も「技能者選定通知書」の提出を省略できる。</p> <p>&lt;職種&gt;</p> <p>型枠施工・鉄筋施工・防水施工・内装仕上げ施工・サッシ施工・ガラス施工・表装・塗装・建築板金・石材施工・建築大工・とび・左官・ブロック建築・タイル張り・エーエルシーパネル施工・カーテンウォール施工・造園・樹脂接着剤注入施工・コンクリート圧送施工・冷凍空気調和機器施工・配管・熱絶縁施工・枠組壁建築、厨房設備施工、自動ドア施工、バルコニー施工、ウェルポイント施工、</p>

	<p>建具製作、畳製作</p> <p>(2) 技能士は、職業能力開発促進法による1級、2級若しくは単一等級の資格を有し、地域技能士会の発行する資格証明書又は、技能検定合格書の写し或いは、技能士手帳の写しを上記(1)の書面に添付すること。</p> <p>(3) 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。</p>
▷ 8. 電気保安技術者	○ 配置する * 配置しない
▶ 9. 施工中の安全確保及び環境保全等	<p>受注者は、標準仕様書に定められた安全確保及び環境保全等のほか、特に次の事項に留意し、工事現場の事故防止に努めること。</p> <p>(1) 労働者の安全衛生教育を徹底すること。</p> <p>(2) 工事現場の安全パトロールを励行すること。</p> <p>(3) 建設機械器具などの危害防止処置を徹底すること。</p> <p>(4) 第三者に災害を及ぼしてはならない。</p> <p>(5) 公害防止に努めること。</p> <p>(6) 公道の汚染防止に努めること。</p> <p>(7) 善良な管理者の注意をもってしても、災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置は、監督員と協議する。</p>
▶ 10. 交通安全管理	<p>受注者は、工事の施工中の交通事故防止のため交通安全管理に努め、次の事項を遵守する。</p> <p>(1) 工事施工中の安全管理について、工事着手に先立ち作成する総合施工計画書で計画する。</p> <p>なお、計画は資材搬出入運行路線・点検体制・その他車両運行に係る安全対策等について道路管理者等関係機関と十分な事前協議を行い、以後も常に連絡を密にとりながら適切な処置を講じるものとする。</p> <p>(2) 常に下請負人も含め工事施工中の交通安全管理状況の把握に努め、管理状況を適宜、監督員に報告する。</p> <p>(3) 工事に関連して交通事故が発生したときは速やかに書面により監督員に報告する。</p> <p>(4) 運搬には、許可業者を選定するなどして、過積載又は過労運転等に伴う交通事故防止に努める。</p> <p>(5) 建設機械（ブルドーザー、バックホウ等）は、排出ガス対策型を使用し、かつ、低騒音・低振動型の車両を使用すること。</p>
▶ 11. 工事完成時の提出図書等	<p>工事が完成した時は、帯広市営繕工事現場管理要領により、書類を整理のうえ、イージーキャビネット（A4版）に収納し提出すること。完成図の製本は専門業者によるものとする。</p> <p>(1) 完成図 * 作成する ● 作成しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 縮小版製本（A3二つ折り） ○ 2部 ○ 3部</li> <li>・ 100%製本 ○ 1部</li> <li>・ 別途工事分完成図について ○ まとめる ○ まとめない</li> <li>・ 電子データ（完成図JWW・PDF）（完成写真PDF） CD-R等による提出</li> <li>・ 設計原図の貸与 * 有り ○ 無し</li> <li>・ CADデータの貸与 * 有り ○ 無し</li> </ul> <p>(2) 保全に関する資料（提出部数 * 1部 ○ ___部）</p> <p>(3) 建物滅失証明書（提出部数 * ● <u>1</u>部）</p> <p>添付資料 : 会社の印鑑証明書（1部） 履歴事項全部証明書（1部）</p>



資源有効利用促進法で定められた一定規模以上の工事  
(次表の一つでも該当するもの)

・ 再生資源利用計画書

次のような建築資材を搬入する工事

土 砂	500 m <sup>3</sup> 以上
砕 石	500 t 以上
加熱アスファルト混合物	200 t 以上

・ 再生資源利用促進計画書

次のような指定副産物を搬出する建設工事

土 砂	500 m <sup>3</sup> 以上
コンクリート塊	合計
アスファルト・コンクリート塊	200 t 以上
建設発生木材	

(6) 発生材の処理に関し、変更が生じる場合は、別途、監督員と協議すること。

▶ 14. 北海道循環資源利用促進税

本工事で発生する産業廃棄物が、道内の最終処分場に直接搬入される場合、又は中間処理場に搬入される場合でも残さ等が発生し、最終処分場に搬出される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。

▶ 15. 季節労働者などの雇用

工事施工に際しては、職業安定機関と密接な連携を図り、季節労働者などの雇用の拡大に努めること。

▷ 16. 自主施工期間の施工条件

自主施工期間中は、低温時施工により品質管理上支障の起こす恐れのない工種は、これを積極的に活用できる。

ただし、支障の起こす恐れのある次の工種は、工法等を監督員と十分協議の上、施工するものとする。

▶ 17. 法定外の労災保険の付保

本工事の受注者は、下記に従い、法定外の労災保険に付さなければならない。

(1) この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害（後遺障害、死亡を含む）を被った場合に、法定労災保険の給付に上乗せして雇用者が従業員等又はその遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約を言う。

(2) 受注者は、本請負工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」（以下、「法定外労災保険」という。）を締結しなければならない。本請負工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着工の前に「法定外労災保険」を締結すること。

(3) 受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、工事着手の前に、監督員へ提出しなければならない。

(4) 契約書第23条に基づき本工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険適用外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、監督員へ提出しなければならない。

(5) 本工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無等の契約内容は問わず、保険契約の事実のみを求めるものとする。

▶ 18. 現場環境改善

魅力ある建設工事を推進するため、工事現場の環境改善に努めること。

▷ 19. 快適トイレの設置

本工事は、「快適トイレ設置工事」の対象工事である。

(1) 受注者が当該工事の現場に仮設トイレを設置する場合は、建設現場を男女ともに働きやすい職場環境へと改善することを目的に、快適トイレの設置を検討すること。

(2) 快適トイレとは、次の1)及び2)の各項目を全て満たすものとする。3)については、必須ではないが、装備していればより快適になると思われる項目なので、設置を検討すること。

1) 快適トイレに求める標準仕様

- ① 洋式（洋風）便器
- ② 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付き含む）
- ③ 臭い逆流防止機能（フラッパー機能：必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策をとること）
- ④ 容易に開かない施錠機能（二重ロック等：二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）
- ⑤ 照明設備（電源がなくても良いもの）
- ⑥ 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）

2) 快適トイレとして活用するために備える付属品

- ⑦ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ⑧ 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ⑨ サニタリーボックス（女性専用トイレに限る）
- ⑩ 鏡付きの洗面台
- ⑪ 便座除菌シート等の衛生用品

3) 推奨する仕様、付属品

- ⑫ 便房内寸法900×900mm以上（半畳程度以上）
- ⑬ 擬音装置
- ⑭ 着替え台
- ⑮ フラッパー機能の多重化
- ⑯ 窓など室内温度の調整が可能な設備
- ⑰ 小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場）

(3) 快適トイレの設置にあたっては、以下に留意する。

7. 男女別で1基ずつ設置することを原則とする。ただし、女性が現場にいない場合はこの限りではない。  
なお、設計変更数量の上限は、男女別で1基ずつ2基/現場まで、一体型で1基/現場までとする。

4. 具体的な実施内容や設置時期については、工事着手前の施工計画書提出時に、(2)の項目を満たすことを確認できる資料（見積書を含む）を監督員に提出し、規格・設置基数等の詳細について、協議のうえ決定すること。

7. 手配が困難な場合は、監督員と協議のうえ設置しないことができる。

工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示する。

受注者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標識を掲示する。

▶ 20. 建設業退職金共済制度

▶ 21. 工事標識

006

工 事 名
工 期 自 令 和 年 月 日 至 令 和 年 月 日
発 注 者 帯 広 市
監 理 帯 広 市 都 市 環 境 部 都 市 建 築 室 住 宅 営 繕 課
受 注 者

← 1,800 →

注 1 黒文字・丸ゴシック カラー鉄板（白）タルキ下地

▶ 22. 工事实績情報の登録

受注者は、受注時、変更時及び完了時に（10日以内）工事实績情報システム（CORINS）に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない（ただし、請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時のみ登録するものとする。）。また、同センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に、提出しなければならない。（対象工事：請負代金額500万円以上の全工事）

▶ 23. 施工体制台帳の整備

建設業法に基づく施工体制台帳を作成し、施工管理体制に関する事項を監督員に提出しなければならない。

また、公衆の見やすい場所に施工体系図を掲示する。

(1.4.1)

▶ 24. 暴力団員等による不当介入を受けた場合の対応

(1) 受注者は、暴力団員等による不当要求又は工事（業務）妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否しなければならない。

また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報するとともに、捜査上必要な協力を行わなければならない。

(2) 受注者は、前記により警察へ通報を行った際には、速やかにその内容を監督員に報告しなければならない。

(3) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が発生した場合は、監督員と協議するものとする。

▶ 25. 週休2日工事

(1) 本工事は、完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日工事の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休2日以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。

(2) 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日による施工を行うこととする。

なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても、通期の週休2日による施工を行わなければならない。

(3) 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週において、土日に現場閉所されている状態をいう。土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。受注者の責によらず、土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。

月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、4週8休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28

）以上の水準に達する状態）の現場閉所がされている状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。

通期の週休2日とは、対象期間の全体を通じた期間において、土日・祝日にかかわらず、4週8休以上の現場閉所がされている状態をいう。

対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。

契約後、週休2日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。

- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
  - ・ 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
  - ・ 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
- (7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (8) 補正の対象となる経費は、労務費（工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）及び現場管理費とし、現場閉所の達成状況の結果、完全週休2日（土日）を達成した場合は、増額の設計変更を行い、月単位の週休2日に満たない場合は、減額の設計変更を行う。また、市場単価についても月単位の週休2日に満たない場合は設計変更を行う。

なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
- (9) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内の期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。
- (11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。

▶ 26. 施工数量調査

\* 行う    ○ 行わない  
調査範囲:    \* 図示  
調査方法:    \* 図示

(1.5.2)

● 第 2 章 仮 設 工 事

項 目	特 記 事 項																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 1. 監督員事務所及び備品等</li> <li>▶ 2. 工事用便所</li> <li>▶ 3. 工事用水</li> <li>▶ 4. 工事用電力</li> <li>▶ 5. 指定仮設</li> <li>▶ 6. 騒音・粉じん等対策</li> <li>▶ 7. 足場</li> <li>▶ 8. 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所</li> <li>▶ 9. 交通誘導警備員</li> </ul>	<p>監督員事務所</p> <p>* 設ける                   ● 設けない</p> <p>( * 10㎡   ○ 20㎡   ○ 35㎡   ○ 65㎡   ○ 100㎡ ) 程度</p> <p>備品は次に掲げるものの中から監督員との協議による。</p> <p>机・椅子・書棚・黒板・寒暖計・ゴム長靴・雨合羽・保護帽・懐中電灯・安全带・請負者加入電話の子機・衣類ロッカー・暖房機器・消火器・湯沸器・掃除機等</p> <p>* 設ける</p> <p>構内既存の施設   ○ 利用できる ( * 有償           ○ 無償 )</p> <p>                          * 利用できない</p> <p>構内既存の施設   ○ 利用できる ( * 有償           ○ 無償 )</p> <p>                          * 利用できない</p> <p>* 仮設計画図による。</p> <p>(1) 建物を解体するに当たり、騒音及び粉じん等の対策のため、次のとおり養生を行う。</p> <p>なお、シート類は、防災処理（防災2類）されたものとする。</p> <table border="1" data-bbox="582 965 1410 1151"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>区分</th> <th>設置範囲及び高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>防音パネル</td> <td rowspan="4">* 図面による</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>防音シート</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>メッシュ金網</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>養生シート</td> </tr> </tbody> </table> <p>足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月策定）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。</p> <p>* 図示 (1.3.5)</p> <p>建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を図ること。</p> <p>なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による。</p> <p>配置位置：図面</p> <p>警備員詰所：( ○ 設ける           * 設けない)</p> <p>表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分の考え方</p> <table border="1" data-bbox="627 1630 1410 1780"> <thead> <tr> <th>工事現場の出入り口を設ける道路（路線）</th> <th>交通誘導警備員区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地（DID）内の路線</td> <td rowspan="2">交通誘導警備員A</td> </tr> <tr> <td>北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線</td> </tr> <tr> <td>上記以外の路線</td> <td>交通誘導警備員B</td> </tr> </tbody> </table> <p>市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置すること。</p> <p>交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は、監督員と協議すること。</p>	対象	区分	設置範囲及び高さ	○	防音パネル	* 図面による	○	防音シート	○	メッシュ金網	●	養生シート	工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分	市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A	北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線	上記以外の路線	交通誘導警備員B
対象	区分	設置範囲及び高さ																		
○	防音パネル	* 図面による																		
○	防音シート																			
○	メッシュ金網																			
●	養生シート																			
工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分																			
市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A																			
北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線																				
上記以外の路線	交通誘導警備員B																			

▶ 10. 清掃員	建設機械及び車両等の出入りの際には、適宜作業員を配置し、敷地外の道路等を泥等で汚した場合には、速やかに清掃を行うこと。
▷ 11. 環境測定等	<p>(1) 建設作業騒音レベル測定 ○ 行う ○ 行わない  測定方法： JIS Z 8731の方法に準ずる ○ _____  測定時期： * 監督員の指示による  ( _____ 日間 _____ ケ所)  測定場所： ○ 図示による</p> <p>(2) 建設作業振動レベル測定 ○ 行う ○ 行わない  測定方法： JIS Z 8735の方法に準ずる ○ _____  測定時期： * 監督員の指示による  ( _____ 日間 _____ ケ所)  測定場所： ○ 図示による</p>

**● 第 3 章 解体 施 工**

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 事前措置	<p style="text-align: right;">(3.2.1)</p> <p>(1) 特別管理産業廃棄物等がある場合は、5章「特別管理産業廃棄物の処理等」による処理を行う。</p> <p>(2) 石綿含有建材は、6章「石綿含有建材の除去及び処理」による処理を行う。</p> <p>(3) 特殊な建設副産物は7章「特殊な建設副産物の処理」による処理を行う。</p> <p>(4) 各種設備機器の停止並びに給水、ガス電力及び通信の供給が停止していることを確認すること。</p> <p>(5) ガス管は、供給者と協議の上、処理すること。</p> <p>(6) 給水管は、給水本管の分水部分を閉止し、水道事業者及び道路管理者と協議の上処理すること。</p> <p>(7) 引き込み電気は、施設管理者と打ち合わせの上、処理すること。</p> <p>(8) 電話線の処理は、施設管理者と打ち合わせの上、通信事業者に依頼すること。</p> <p>(9) 建築物の解体に当たり、周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は監督員と協議の上、駆除する。</p> <p>(10) 電気設備のコンデンサは、残留電荷を確認し、残留がある場合は放電を行う。</p> <p>(11) 蓄電池は、充電状態の確認を行い、短縮による事故を防止する。</p> <p>(12) 排水管・排水槽類、浄化槽・衛生陶器類は、汚物の抜き取り及び次により洗浄・消毒を行うこと。  洗浄： 屋外配管及び柵は、洗浄圧力10MPa、吐出量100L/min以上で高圧洗浄を行う。  屋外配管及び柵以外は、洗浄圧力7MPa、吐出量25L/min以上で高圧洗浄を行う。  消毒： 洗浄後に行う。(消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム溶液)濃度100mg/L以上)  消毒後、30分以上放置する。</p>

	(13) オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油の事前回収及び洗浄 * 適用 ○ _____
	(14) オイルタンク、オイルサービスタンク及び油管は、洗浄・中和し、洗浄水・スラッジは、廃油として処理すること。
	(15) 廃油は5章「特別管理産業廃棄物の処理等」により処理することとし、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。
▶ 2. 解体方法等	原則分別解体を行うこととし、解体手順及び方法は、次による。(3.3.2) ただし、解体施工の技術上これにより難しい場合は、手順を変更し、監督員に報告する。 (3.3.2) (3.4.1) (3.5.1)
	(1) 設備機器及び内・外装材を人力（監督員と協議のうえ必要に応じて機械併用）により取外しする。
	(2) 屋根葺き材等の取外し ● 人力 ○ 機械併用 (3.3.2) (3.6.1) (3.6.2)
	(3) 躯体は機械により取壊しする。 (3.8.2)
	(4) 基礎・杭その他は、騒音・振動等に配慮し取壊しする。 (3.9.1) (3.9.2)
▶ 3. 基礎等の解体	(5) 構内舗装等、地下埋設物及び埋設配管 (3.10.1) (3.11.1)
	(1) 建築物、工作物等の土中解体範囲：図面に指定がない場合は、基礎捨てコンクリート（砂利地業を除く）までとする。
	(2) 建築物解体に伴う地下埋設物（排水管・桝・電線管・給水管等）の解体範囲：図面に指定がない場合は、建物周囲とする。
▷ 4. 杭の解体	(1) 杭の解体の有無 (3.9.2) ○ 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ○ 無
	(2) 解体方法（○ 引き抜き工法 ○ 破碎）
	(3) 杭の解体後は、地盤の安定性を維持するため山砂等の充填材を充填すること。
▶ 5. さく、照明設備等	(1) さく、照明設備等の解体 (3.10.1) ● 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ○ 無
▶ 6. 構内舗装、樹木等の処理	(1) 構内舗装等の撤去 (3.11.1) ○ 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ● 無
	(2) 樹木等の撤去 ● 伐採伐根 ○ 抜根のみ ○ 伐採抜根 ○ 移植 移植場所： * 図面による ○ 監督員の指示による
▶ 7. 地下埋設物、埋設配管等	(1) 地下埋設物、埋設配管等 (3.12.1) ● 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ○ 無
▶ 8. 整地・埋戻し・盛土	(1) 埋戻し・盛土は、次の材料で行うこと。 (3.13.1) ○ 山砂 ● 現場内の良質土 ○ 建設発生土受入 ● その他（切込砂利）

	(2) 建設発生土受入場所 ( ) 受入量 _____ m <sup>3</sup> (3) 埋め戻し及び敷き均しの工法は、次のとおりとする。 埋戻し方法：各層300mm程度ごとに締固める。 ブルドーザによる押土程度： ○ 15 t      ○ 3 t 盛土の高さ： ○ 現状GL+      m      ○ 図面による
--	---

**● 第 4 章 建設廃棄物の処理**

項 目	特 記 事 項																					
▶ 1. 再資源化等及び最終処分	(4.3.1) (4.4.1)																					
	(1) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">種 類</td> <td>コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先： 山口重機(有)</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 ( 8.4 km)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>アスファルト・コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先： 山口重機(有)</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 ( 8.4 km)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>建設発生木材</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先： (株)マテック</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 ( 22.9 km)</td> </tr> </table>	種 類	コンクリート塊	場 所	受入先： 山口重機(有)	片道運搬距離 ( 8.4 km)	種 類	アスファルト・コンクリート塊	場 所	受入先： 山口重機(有)	片道運搬距離 ( 8.4 km)	種 類	建設発生木材	場 所	受入先： (株)マテック	片道運搬距離 ( 22.9 km)						
種 類	コンクリート塊																					
場 所	受入先： 山口重機(有)																					
	片道運搬距離 ( 8.4 km)																					
種 類	アスファルト・コンクリート塊																					
場 所	受入先： 山口重機(有)																					
	片道運搬距離 ( 8.4 km)																					
種 類	建設発生木材																					
場 所	受入先： (株)マテック																					
	片道運搬距離 ( 22.9 km)																					
	(2) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">種 類</td> <td> <input type="checkbox"/> 金属類  <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品  <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品  <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物  <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手  <input type="checkbox"/> ガラス  <input type="checkbox"/> 木材               </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先：</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (      km)</td> </tr> </table>	種 類	<input type="checkbox"/> 金属類 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 <input type="checkbox"/> ガラス <input type="checkbox"/> 木材	場 所	受入先：	片道運搬距離 (      km)																
種 類	<input type="checkbox"/> 金属類 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 <input type="checkbox"/> ガラス <input type="checkbox"/> 木材																					
場 所	受入先：																					
	片道運搬距離 (      km)																					
	(3) 縮減するもの <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">種 類</td> <td>木材</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先：</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (      km)</td> </tr> </table>	種 類	木材	場 所	受入先：	片道運搬距離 (      km)																
種 類	木材																					
場 所	受入先：																					
	片道運搬距離 (      km)																					
	(4) 再資源化し現場で使用する範囲は次による。 現場で使用する範囲： _____																					
	(5) その他の発生材 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">種 類</td> <td>廃石膏ボード</td> </tr> <tr> <td>処理区分</td> <td><input checked="" type="radio"/> 中間処理      <input type="radio"/> 最終処分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処分場所</td> <td>受入先： (株)マテック</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 ( 22.9 km)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>繊維くず</td> </tr> <tr> <td>処理区分</td> <td><input type="radio"/> 中間処理      <input type="radio"/> 最終処分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処分場所</td> <td>受入先：</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (      km)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>金属くず</td> </tr> <tr> <td>処理区分</td> <td><input type="radio"/> 中間処理      <input type="radio"/> 最終処分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処分場所</td> <td>受入先：</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (      km)</td> </tr> </table>	種 類	廃石膏ボード	処理区分	<input checked="" type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分	処分場所	受入先： (株)マテック	片道運搬距離 ( 22.9 km)	種 類	繊維くず	処理区分	<input type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分	処分場所	受入先：	片道運搬距離 (      km)	種 類	金属くず	処理区分	<input type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分	処分場所	受入先：	片道運搬距離 (      km)
種 類	廃石膏ボード																					
処理区分	<input checked="" type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分																					
処分場所	受入先： (株)マテック																					
	片道運搬距離 ( 22.9 km)																					
種 類	繊維くず																					
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分																					
処分場所	受入先：																					
	片道運搬距離 (      km)																					
種 類	金属くず																					
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分																					
処分場所	受入先：																					
	片道運搬距離 (      km)																					

種 類	廃プラスチック類	
処理区分	● 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先： (株)マテック	
	片道運搬距離	( 22.9 km)
種 類	ガラス及び陶磁器くず	
処理区分	● 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先： (有)タナベ	
	片道運搬距離	( 25.8 km)
種 類	がれき類	
処理区分	○ 中間処理	● 最終処分
処分場所	受入先： (株)ティー・ワイ	
	片道運搬距離	( 21.6 km)
種 類	木毛板	
処理区分	○ 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離	( km)
種 類	アスファルト防水	
処理区分	○ 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離	( km)
種 類	セラミックブロック	
処理区分	○ 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離	( km)
種 類	木くず類 (伐採伐根)	
処理区分	● 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先： (株)マテック	
	片道運搬距離	( 22.9 km)
種 類	タタミ	
処理区分	● 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先： (有)タナベ	
	片道運搬距離	( 25.8 km)
種 類	蛍光灯 <sup>°</sup> ・H I Dランプ <sup>°</sup>	
処理区分	● 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先： (株)北海道エコシス	
	片道運搬距離	( 22.4 km)
種 類	硬質塩化ビニル管・継手	
処理区分	○ 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離	( km)
種 類	配管用グラスウール	
処理区分	○ 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離	( km)
種 類	ゴムくず	
処理区分	○ 中間処理	○ 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離	( km)

▷ 2. 処理に注意を要する建設廃棄物

種類	石綿含有廃棄物	
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理	<input checked="" type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先： 北海道エコシス豊頃ドーム	
	片道運搬距離 ( 47.2 km)	

- 木造建築物を解体する場合 (4.5.1)  
 CCA含有調査を実施し、含有が確認された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。

処理区分	* 中間処理	
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離 ( km)	

- ひ素・カドミウム含有石膏ボード  
 ひ素・カドミウム含有調査を実施し、含有が確認された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。

処理区分	<input type="radio"/> 製造業者	<input type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離 ( km)	

- その他

種類		
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理	<input type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離 ( km)	

種類		
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理	<input type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離 ( km)	

● 第 5 章 特別管理産業廃棄物等の処理等

項目	特記事項												
▶ 1. 施工計画調査	<p>特別管理産業廃棄物等の分析調査は、次による。 (5.1.2)                      なお、廃石綿等の処理は、6章「石綿含有建材の除去及び処理」による。</p> <p>(1) PCB含有機器類</p> <table border="0"> <tr> <td>① 変圧器</td> <td><input type="radio"/> 要調査</td> <td><input type="radio"/> 調査済</td> </tr> <tr> <td>② コンデンサ</td> <td><input type="radio"/> 要調査</td> <td><input type="radio"/> 調査済</td> </tr> <tr> <td>③ 蛍光灯器具の安定器</td> <td><input type="radio"/> 要調査</td> <td><input checked="" type="radio"/> 調査済</td> </tr> <tr> <td>④ その他 _____</td> <td><input type="radio"/> 要調査</td> <td><input type="radio"/> 調査済</td> </tr> </table> <p>(2) PCB含有シーリング材                      部 位 _____ <input type="radio"/> 要調査 <input type="radio"/> 調査済</p> <p>(3) ダイオキシン類                      部 位 _____ <input type="radio"/> 要調査  <input type="radio"/> 調査済；レベル _____</p>	① 変圧器	<input type="radio"/> 要調査	<input type="radio"/> 調査済	② コンデンサ	<input type="radio"/> 要調査	<input type="radio"/> 調査済	③ 蛍光灯器具の安定器	<input type="radio"/> 要調査	<input checked="" type="radio"/> 調査済	④ その他 _____	<input type="radio"/> 要調査	<input type="radio"/> 調査済
① 変圧器	<input type="radio"/> 要調査	<input type="radio"/> 調査済											
② コンデンサ	<input type="radio"/> 要調査	<input type="radio"/> 調査済											
③ 蛍光灯器具の安定器	<input type="radio"/> 要調査	<input checked="" type="radio"/> 調査済											
④ その他 _____	<input type="radio"/> 要調査	<input type="radio"/> 調査済											

部 位 \_\_\_\_\_  要調査  
 調査済；レベル \_\_\_\_\_  
 (4) その他の特別管理型産業廃棄物等  
 部 位 \_\_\_\_\_  要調査  
 調査済；レベル \_\_\_\_\_  
 部 位 \_\_\_\_\_  要調査  
 調査済；レベル \_\_\_\_\_ (5.4.1)

▷ 2. 特別管理産業廃棄物の処理等

特別管理産業廃棄物等の処理等は、次による。  
 なお、廃石綿等の処理は、6章「石綿含有建材の除去及び処理」による。

(1) PCB含有機器類等は、PCBの飛散、流出等がないように適切な容器に収めること。  
 なお、保管場所は、次による。

同一敷地内に保管  
 保管場所： \_\_\_\_\_  
 運搬方法： \* 施工業者による運搬  
 施設管理者による運搬

敷地外に保管  
 住 所： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ km)  
 保管場所： \_\_\_\_\_  
 運搬方法：  PCB運搬許可業者  
 施工業者（施設管理者を同乗）が運搬  
 その他

(2) 臭気リチウム水溶液等

処理区分	<input type="radio"/> 製造者	<input type="radio"/> 専門業者
処分場所	受入先：	
	片道運搬距離	( _____ km)

(3) 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液

処理区分	<input type="radio"/> 中間処理
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 ( _____ km)

(4) その他 (5.4.1)

種 類	
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 ( _____ km)

● 第 6 章 石綿含有建材の除去及び処理

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 石綿含有建材の除去工事	(1) 事前調査 (1.4.1) 調査範囲 <input type="radio"/> 全ての材料について、設計図書等の書面調査及び現地での目視調査 <input checked="" type="radio"/> 調査結果報告書で確認 <input type="radio"/> 対象建築物の新築工事の着工日が平成18年9月1日以降であることを設計図書等で確認 既存の設計図書 * 貸与 <input type="radio"/> 無 石綿含有建材の調査報告書 * 貸与 <input type="radio"/> 無

分析結果 ● 石綿含有 ○ 石綿非含有  
 分析調査 ○ 適用する ○ 適用しない  
 適用する場合の調査範囲 ○ \_\_\_\_\_  
 ○ \_\_\_\_\_

建材中の石綿含有率の分析方法について(基発0821002号、最終改正令和3年12月22日基発1222第17号)による。

なお、分析調査は厚生労働大臣が定めた必要な知識及び技能を有する者が行うものとする。

事前調査の結果、設計図書等と異なる場合は、監督員と協議する。調査結果を監督員に説明するとともに関係法令等に基づき官公署へ報告を行うこと。

- (2) 石綿含有建材除去後の仕上げ ○ 図示
- (3) 石綿粉じん濃度測定 \* 行う ● 行わない
- 測定方法 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_  
 測定時期 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_  
 測定場所 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_  
 測定箇所数 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_

▷ 2. 石綿含有吹付け材の除去

- (1) 除去方法  
 \* 石綿含有吹付け材を粉じん飛散抑制剤等により湿潤化した後に除去する。  
 ○ \_\_\_\_\_
- (2) 除去した石綿含有吹付け材等の梱包  
 飛散防止措置 \* 湿潤化 ○ 固化
- (2) 石綿含有吹き付け材の除去工法  
 \* 粉じん飛散抑制剤等により湿潤化した後に除去  
 ○ \_\_\_\_\_
- (3) 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法
- |     |                 |            |
|-----|-----------------|------------|
| 処 理 | * 最終処分(管理型)     |            |
| 区 分 | ○ 中間処理(無害化)     | ○ 中間処理(溶融) |
| 場 所 | 第4章 建設廃棄物の処理による |            |

(6. 3. 2)

▷ 3. 石綿含有保温材等の除去

- (1) 除去方法 ○ 切断又は破碎 ○ 手ばらし
- (2) 除去工法(煙突用断熱材は除く)  
 \* 湿潤化後手ばらし ○ \_\_\_\_\_
- (3) 除去した石綿含有吹付け材等の梱包種類  
 飛散防止措置 \* 湿潤化 ○ 固化
- (4) 煙突用断熱材の除去 \* 図示
- (5) 除去した石綿含有保温材等の処分方法
- |     |                 |            |
|-----|-----------------|------------|
| 処 理 | * 最終処分(管理型)     |            |
| 区 分 | ○ 中間処理(無害化)     | ○ 中間処理(溶融) |
| 場 所 | 第4章 建設廃棄物の処理による |            |

(6. 4. 1)

▶ 4. 石綿含有成形板等の除去

- (1) 石綿含有成形板の種類 \* 図示
- (2) 石綿粉じん飛散防止の養生 \* 行う ○ 行わない
- (3) 除去した石綿含有成形板等の処分方法
- |     |                 |
|-----|-----------------|
| 種類  | 石綿含有せっこうボード     |
| 処 理 | *最終処分(管理型)      |
| 区 分 |                 |
| 場 所 | 第4章 建設廃棄物の処理による |

	種類	
	処 理	* 最終処分(管理型)
	区 分	○ 中間処理(無害化)      ○ 中間処理 (溶融)
	場 所	第4章 建設廃棄物の処理による
▶ 5. 石綿含有仕上塗材の除去	(4)	除去した成形板の集積及び積み込みは、高所より投下しないことのほか、粉じんの飛散防止に努める。 (6.6.1)
	(5)	破碎された成形板は、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 (6.6.1)
	(1) 除去工法	* 図示
	(2) 除去した石綿含有成形板等の処分方法	
	処 理	* 最終処分(管理型)
	区 分	○ 中間処理(無害化)      ○ 中間処理 (溶融)
	場 所	第4章 建設廃棄物の処理による

第 7 章 | 特殊な建設副産物の処理

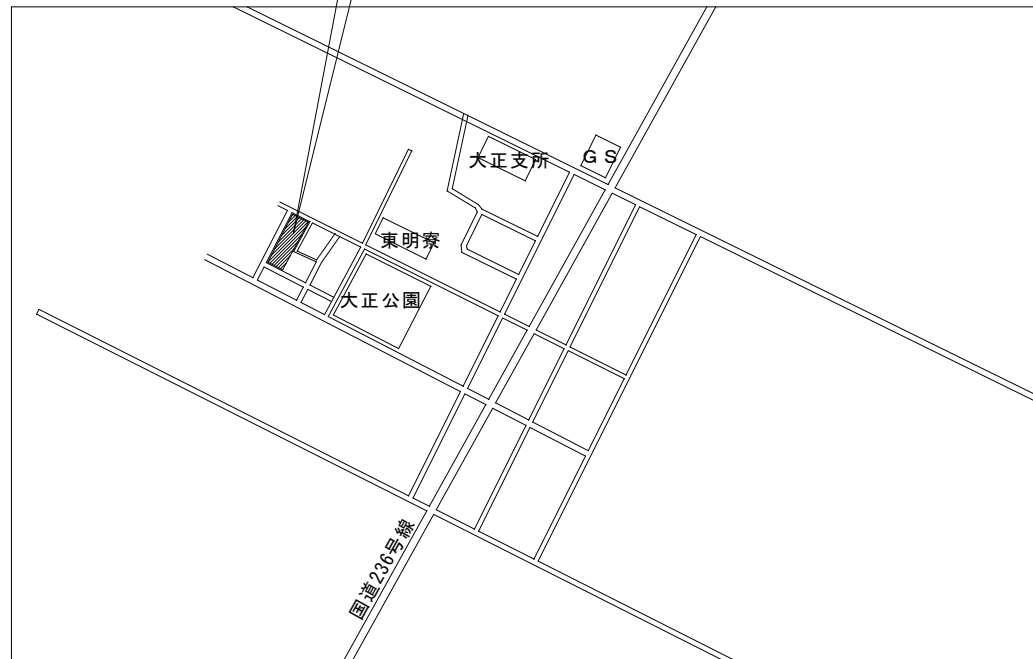
第 8 章 | その他

# 大正団地簡易平屋除却工事

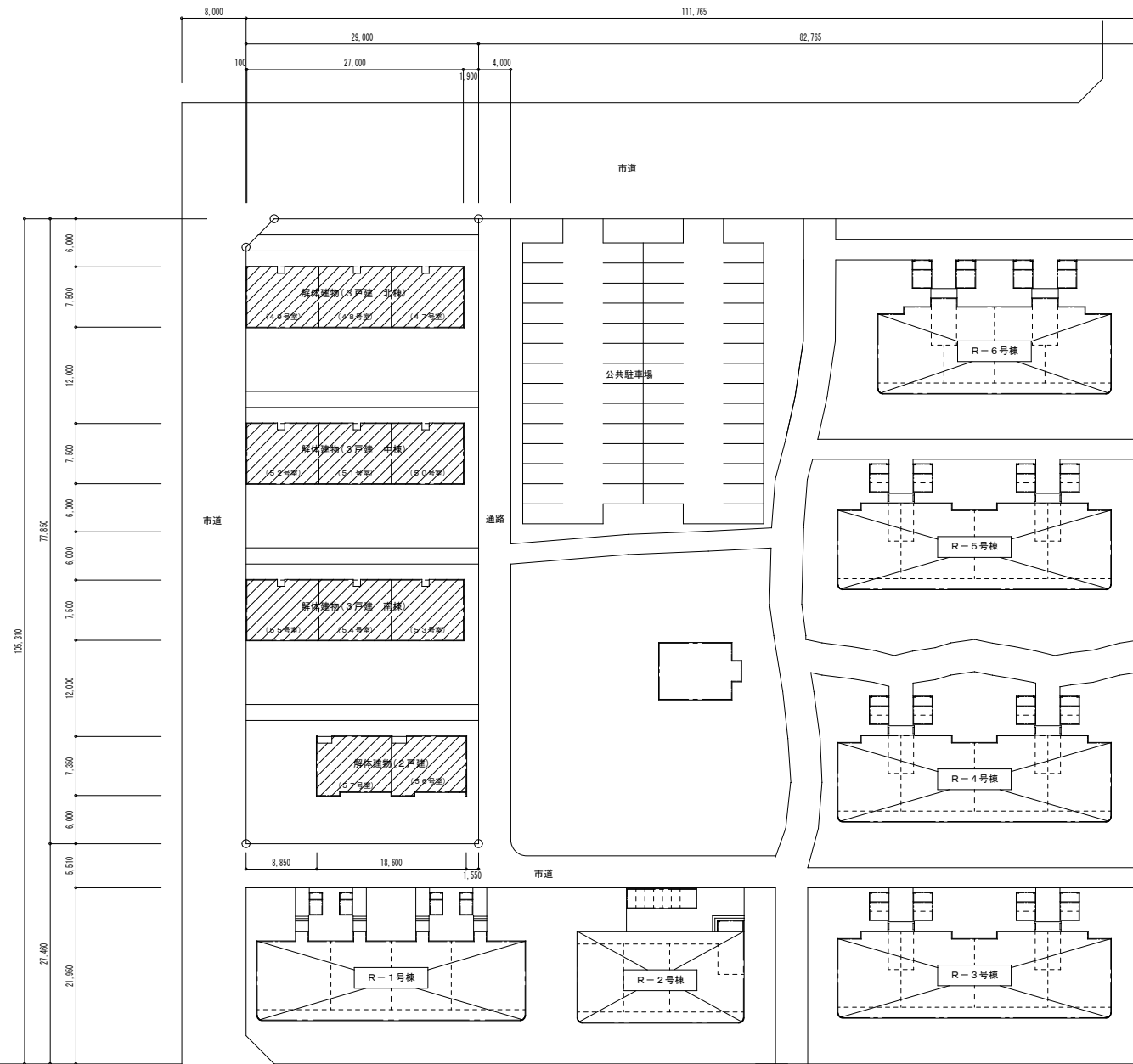
番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
	解体工事特記仕様書	E-01	引込幹線撤去図	M-01	機械設備屋外撤去図
A-01	見取図・工事概要・配置図	E-02	3戸長屋 引込幹線撤去立面図	M-02	3戸長屋 機械設備撤去平面図
A-02	面積表・仮設計画図	E-03	2戸長屋 引込幹線撤去立面図	M-03	2戸長屋 機械設備撤去平面図
A-03	アスベスト使用箇所図	E-04	3戸長屋 北棟 電灯設備撤去平面図		
A-04	3戸長屋 仕上表	E-05	3戸長屋 中棟 電灯設備撤去平面図		
A-05	3戸長屋 平面図	E-06	3戸長屋 南棟 電灯設備撤去平面図		
A-06	3戸長屋 立面図・断面図	E-07	2戸長屋 電灯設備撤去平面図		
A-07	3戸長屋 矩計図	E-08	テレビ共聴設備撤去図		
A-08	3戸長屋 展開図				
A-09	3戸長屋 建具キープラン・建具表				
A-10	3戸長屋 基礎伏図・基礎図				
A-11	3戸長屋 各伏図				
A-12	3戸長屋 CB割付図 1				
A-13	3戸長屋 CB割付図 2				
A-14	2戸長屋 仕上表				
A-15	2戸長屋 平面図				
A-16	2戸長屋 立面図・断面図				
A-17	2戸長屋 矩計図				
A-18	2戸長屋 展開図				
A-19	2戸長屋 建具キープラン・建具表				
A-20	2戸長屋 基礎伏図・基礎図				
A-21	2戸長屋 各伏図				
A-22	2戸長屋 CB割付図 1				
A-23	2戸長屋 CB割付図 2				
A-24	敷地内障害物撤去図				
A-25	解体跡地整地図				



工事位置：帯広市大正町基線100番7



見取図



配置図

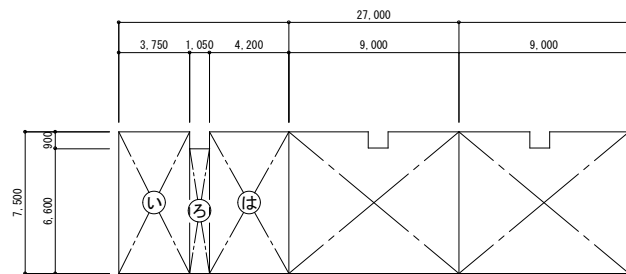
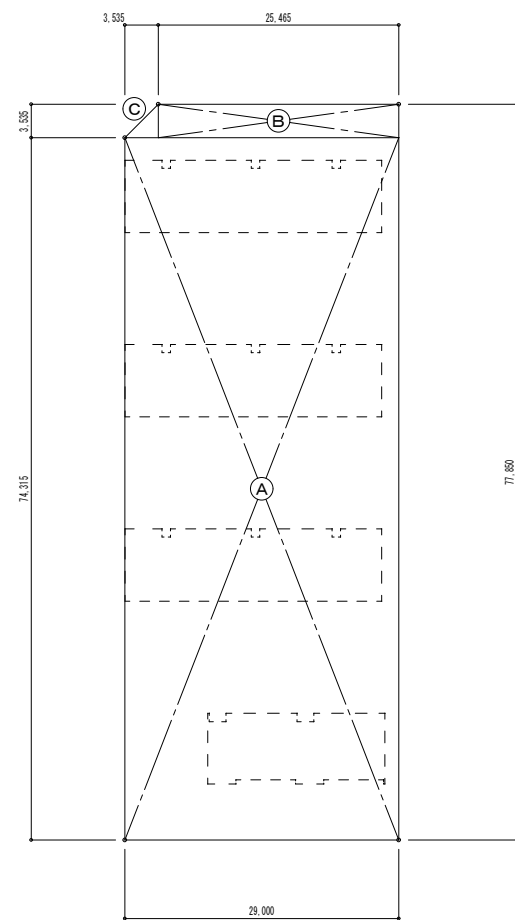
解体工事概要

建物名称	大正団地簡易平屋 3戸長屋3棟、2戸長屋1棟
敷地住所	帯広市大正町基線100番7
施設用途	長屋建住宅
建設年度	3戸長屋：1980年（昭和55年）完成、2戸長屋：1981年（昭和56年）完成
敷地面積	2,251.40㎡
解体項目	長屋全棟の解体撤去 南庭柵・敷地内点在物の撤去 及び樹木の伐採・伐根 住棟への架線及び構内柱の撤去
解体建物主体構造	3戸長屋：C B造平屋建199.67㎡、2戸長屋：C B造平屋建て127.42㎡、4棟合計726.43㎡
建物解体後の処理	建物基礎・点在物の解体解体撤去後の窪地は、搬入土にて埋戻し、整地を行う。
解体後の敷地囲い	単管柵により閉鎖処理

特記事項

**Mori** 株式会社 **建築設計室**  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL (代) (0155)-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事	設計図	検図	担当	製図
図名	見取図・工事概要・配置図	縮尺	A1: 1/400 A3: 1/800	日付	2025年 11月
番号	A	番号	01		

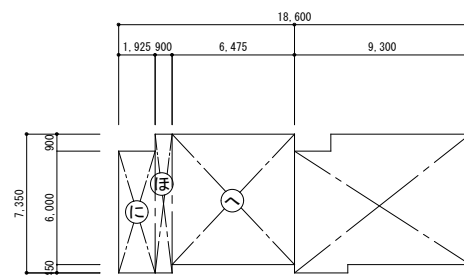


**3戸長屋**

縮尺  
A1: 1/100  
A3: 1/200

① 3.750 × 7.500 = 28.125  
② 1.050 × 6.600 = 6.930  
③ 4.200 × 7.500 = 31.500

1戸あたり 66.555㎡  
1棟合計 66.555 × 3戸 = 199.665㎡ → 199.67㎡



**2戸長屋**

縮尺  
A1: 1/100  
A3: 1/200

④ 1.925 × 6.450 = 12.416  
⑤ 0.900 × 7.350 = 6.615  
⑥ 6.475 × 6.900 = 44.677

1戸あたり 63.708㎡  
1棟合計 63.708 × 2戸 = 127.416㎡ → 127.42㎡

**敷地面積**

縮尺  
A1: 1/400  
A3: 1/800

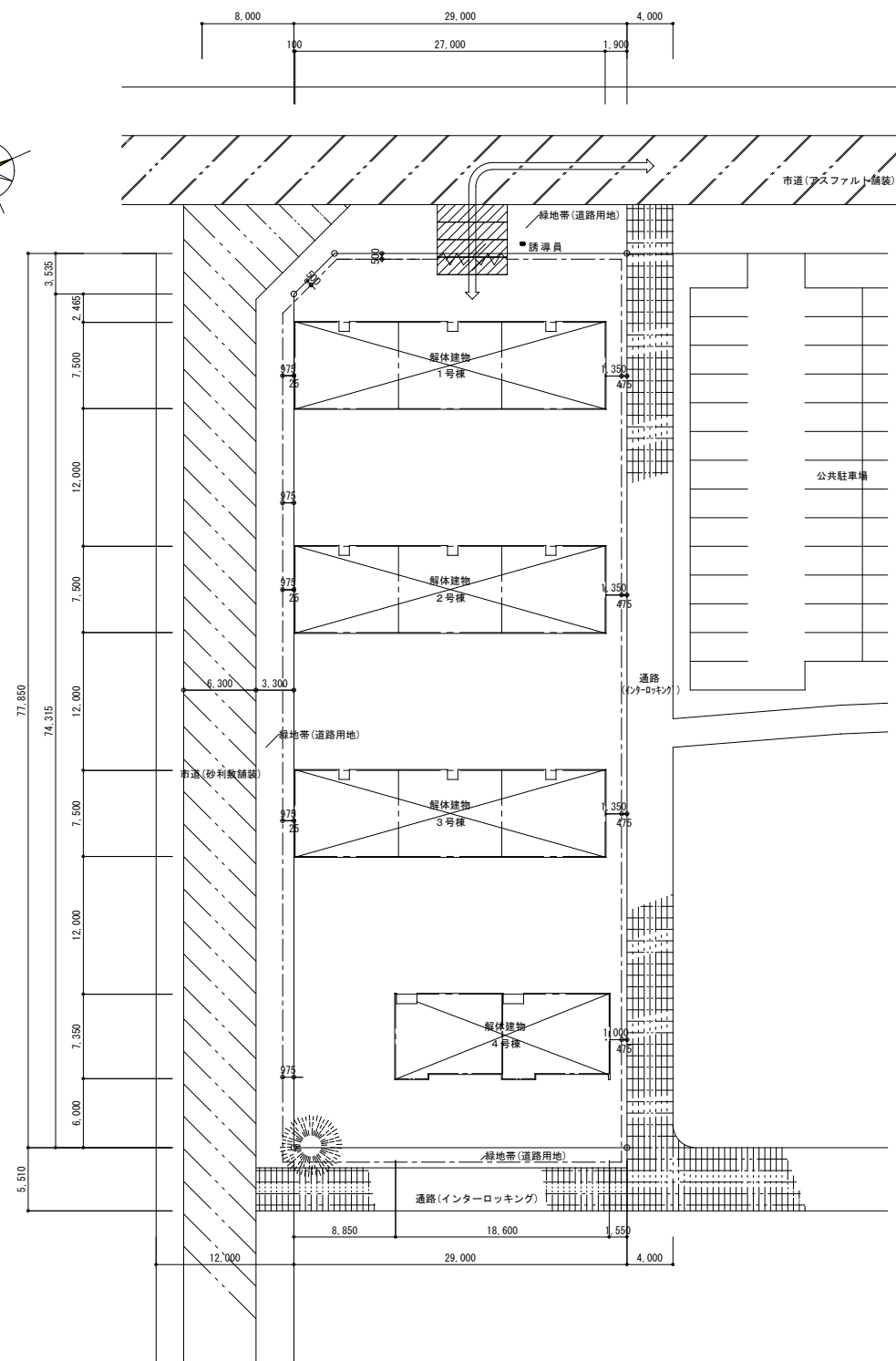
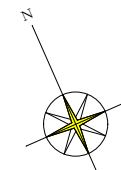
⑦ 29.000 × 74.315 = 2,155.135  
⑧ 25.465 × 3.535 = 90.018  
⑨ 3.535 × 3.535 ÷ 2 = 6.248

合計 2,251.401㎡ → 2,251.40㎡

**求積図**

**面積表**

敷地面積	2,251.40㎡
1号棟 (3戸長屋)	199.67㎡
2号棟 (3戸長屋)	199.67㎡
3号棟 (3戸長屋)	199.67㎡
4号棟 (2戸長屋)	127.42㎡
合計	726.43㎡



**仮設計画図**

縮尺  
A1: 1/150  
A3: 1/300

名称・凡例	仕様・内容等	所要数量
仮囲い	ガードフェンス H=1.8m 柱脚固定具共	206m
門・出入口	クロスゲート 両開き6000 180型	1ヶ所
敷き鉄板	1524×6096×22mm 鉄板4枚	37.2㎡
進入経路	工事車両進入・進出路	—

**特記事項**

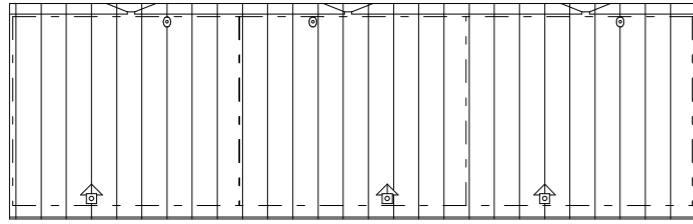
・道路用地(緑地帯)内に仮囲いを設置するため、道路占用等の手続きにて許可を取ること。

**Mori** 株式会社 **モリ建築設計室**  
帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL (代) (0155)-22-1102

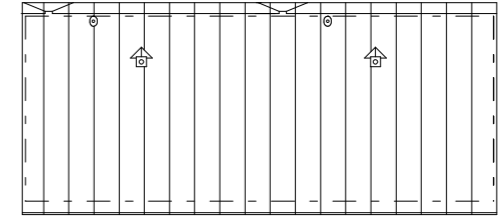
一級建築士事務所(十)登録第136号  
一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	設計図	検図	担当	製図
大正団地簡易平屋除却工事	設計図		A	02

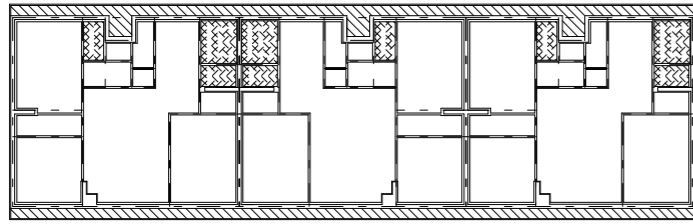
図名	縮尺	日付	番号
面積表・仮設計画図	A1: 1/400、他図示 A3: 1/800、他図示	2025年 11月	



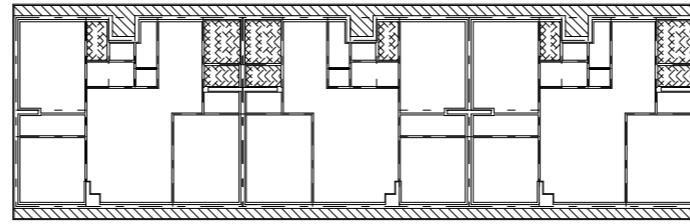
3 戸長屋全棟 屋根位置図



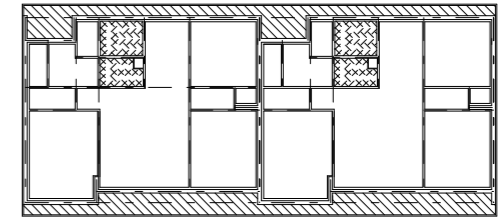
2 戸長屋 屋根位置図



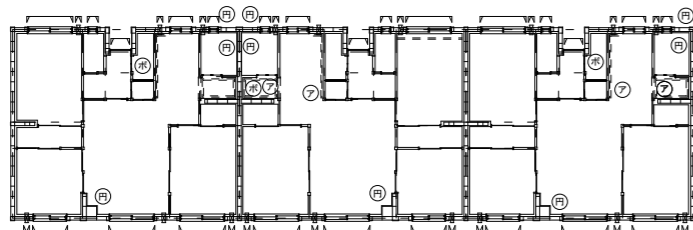
北棟 軒天・天井位置図



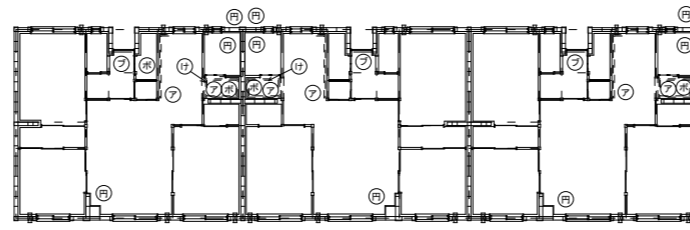
南棟 軒天・天井位置図



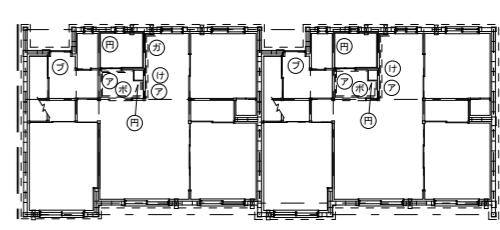
2 戸長屋 軒天・天井位置図



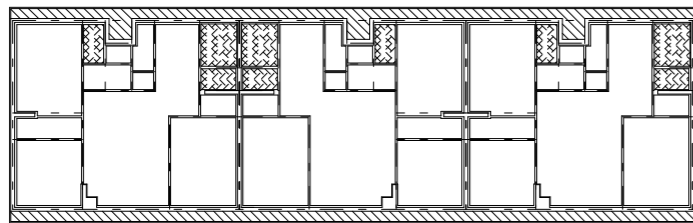
北棟 床・壁位置図



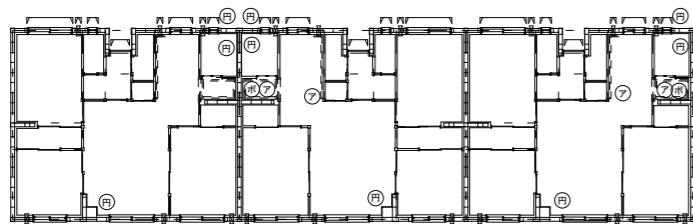
南棟 床・壁位置図



2 戸長屋 床・壁位置図



中棟 軒天・天井位置図



中棟 床・壁位置図

アスベスト使用位置・凡例

部位	記号	使用ヶ所・使用建材名 (アスベスト調査報告書)	設計図様記名	飛散危険度
外部		屋根下地 アスファルトルーフィング	アスファルトルーフィング 22k	レベル 3
		軒天仕上 スレートボード	3t着色フレキシブルボード (有孔板)	レベル 3
		壁面仕上材 スレートボード	4tフレキシブルボード	レベル 3
		壁面 下地調整塗材	アクリルリシン吹付塗装 下地調整材	レベル 3
		壁面 開口部周り (建具・換気口) シーリング	4方シーリング (コーキング 15x10程度)	レベル 3
内部		天井面仕上材 スレートボード	4t着色フレキシブルボード	レベル 3
		壁面仕上材 スレートボード	4t着色フレキシブルボード	レベル 3
		壁仕上材 アルミ付アスファルトフェルト	アルミ付アスファルトフェルト	レベル 3
その他	㊦	石綿セメント円筒	ストーブ・湯沸し器用煙道接続管 120φ	31ヶ所 レベル 3
	㊧	けいそう土保温材	配管エルボ保温材	4ヶ所 レベル 2
	㊨	アスファルトフェルト	アスファルトフェルト配管保温材	18ヶ所 レベル 3
	㊩	ブレーカー (漏電・安全ブレーカー)	ブレーカー内部絶縁材	5ヶ所 レベル 3
	㊪	ガス湯沸し器	湯沸し器内断熱材	1ヶ所 レベル 3
	㊫	防滴塗装	従物品 流しシンク裏面塗膜	11ヶ所 レベル 3

特記事項



株式会社 MORI 建築設計室  
帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL ☎ 0155-22-1102

一級建築士事務所 (十) 登録第 136 号  
一級建築士第 158671 号 森 義 孝

工事名

大正団地簡易平屋除却工事 設計図

図名

アスベスト使用箇所図

縮尺

A1: 1/150  
A3: 1/300

日付

2025 年 11 月

検図

番号

担当

A

製図

03

外部仕上表

名称	既存仕上	備考
屋根	0.4t長尺片面塗装鉄板 下地アスファルトルーフィング22k【レベル3】 12t野地板 タルキ450@	屋根勾配 2/10 臭突雨返し 集合煙突雪割小屋根
軒天井	3t着色フレキシブルボード(有孔板)【レベル3】	
外壁	コンクリート面:18tモルタル仕上 アクリルリシン吹付塗装 ブロック面:化粧積の上アクリルリシン塗装	
基礎	18tモルタル仕上	
木部	オイルペイント塗り	
鉄部	防錆処理1回塗+オイルペイント塗り	
その他	北棟、中棟のみ 外部建具・換気フード周りシーリング【レベル3】	

内部仕上表

名称	床	下地	巾木	壁	下地	天井	下地	天井高さ	備考
玄関	20tモルタル金ゴテ仕上(水勾配付)	120t土間コンクリート	青木 OS H=55mm	2.7tプリント合板	木脚縁下地組・木間仕切り	9.0t化粧石膏ボード	木天井下地組	2.555	
ホール	12t化粧フロー合板	根太・木床組	全上	全上	全上	全上	全上	2.355	
石炭庫	コンクリート金ゴテ仕上		木間仕切部モルタルコテ H=220	5.5t耐水合板	木脚縁下地組	5.5t耐水合板	木天井下地組	2.575	欄板:18t木板
下駄箱	5.5t耐水合板	根太・木床組	雑巾摺 青木					500	欄板:12t合板
便所	12t化粧フロー合板	全上	青木 OS H=55mm	2.7tプリント合板	木脚縁下地組・木間仕切り	4.0t着色フレキシブルボード【レベル3】	木天井下地組	2.300	
居間	12t化粧フロー合板	全上	全上	9.0t化粧石膏ボード	全上	9.0t化粧石膏ボード	全上	2.355	集合煙突夏蓋 灰出口
物入(下駄箱上部)	5.5t合板	全上	雑巾摺 青木	2.7t合板	全上	全上	全上	1.800	
台所	12t化粧フロー合板	根太・木床組	青木 OS H=55mm	9.0t化粧石膏ボード 一部4.0tフレキシブルボード【レベル3】	全上	全上	全上	2.355	流し台 吊戸棚水切り棚 ハンガーボード フード 床改め口
脱衣室	全上	全上	全上	4.0t着色フレキシブルボード【レベル3】	木間仕切り	4.0t着色フレキシブルボード【レベル3】	全上	2.355	洗面化粧台(一部住戸のみ) カーテンレール
浴室	20~30t防水モルタル金ゴテ仕上(水勾配付)	120t土間コンクリート		25t防水モルタル金ゴテ仕上 VP	Kラス張 木間仕切り	全上	全上	2.455 ~ 2.505	
和室6帖A	55tタタミ	12t下地板 根太・木床組	タタミ寄せ	9.0t化粧石膏ボード	木脚縁下地組	9.0t化粧石膏ボード 小口ジョイナー貼	全上	2.300	
押入	5.5t合板	根太・木床組	雑巾摺 青木	9.0t石膏ボード	木脚縁下地組	9.0t石膏ボード	全上	2.300	枕棚:35t合板パネル
和室6帖B	55tタタミ 一部12t化粧フロー	12t下地板 根太・木床組	タタミ寄せ	9.0t化粧石膏ボード	木脚縁下地組	9.0t化粧石膏ボード 小口ジョイナー貼	全上	2.300	48号室のみアルミ付きアスファルトフェルト張【レベル3】
和室4.5帖	55tタタミ	全上	全上	全上	全上	全上	全上	2.300	
押入	5.5t合板	根太・木床組	雑巾摺 青木	9.0t石膏ボード	全上	9.0t石膏ボード	全上	2.300	枕棚:35t合板パネル

塗りつぶし部はアスベスト含有建材、もしくはアスベスト含有みなし建材とする。

上記各室仕上は、建設当時の仕様であり 経年での修繕による現況は平面図による特記にて示す。

特記事項



株式会社 MORI 建築設計室

帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL ☎ 0155-22-1102

一級建築士事務所(十)登録第136号  
一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名

大正団地簡易平屋除却工事

設計図

検図

担当

製図

図名

3戸長屋  
仕上表

縮尺

A1:N/S  
A3:N/S

日付

2025年 11月

番号

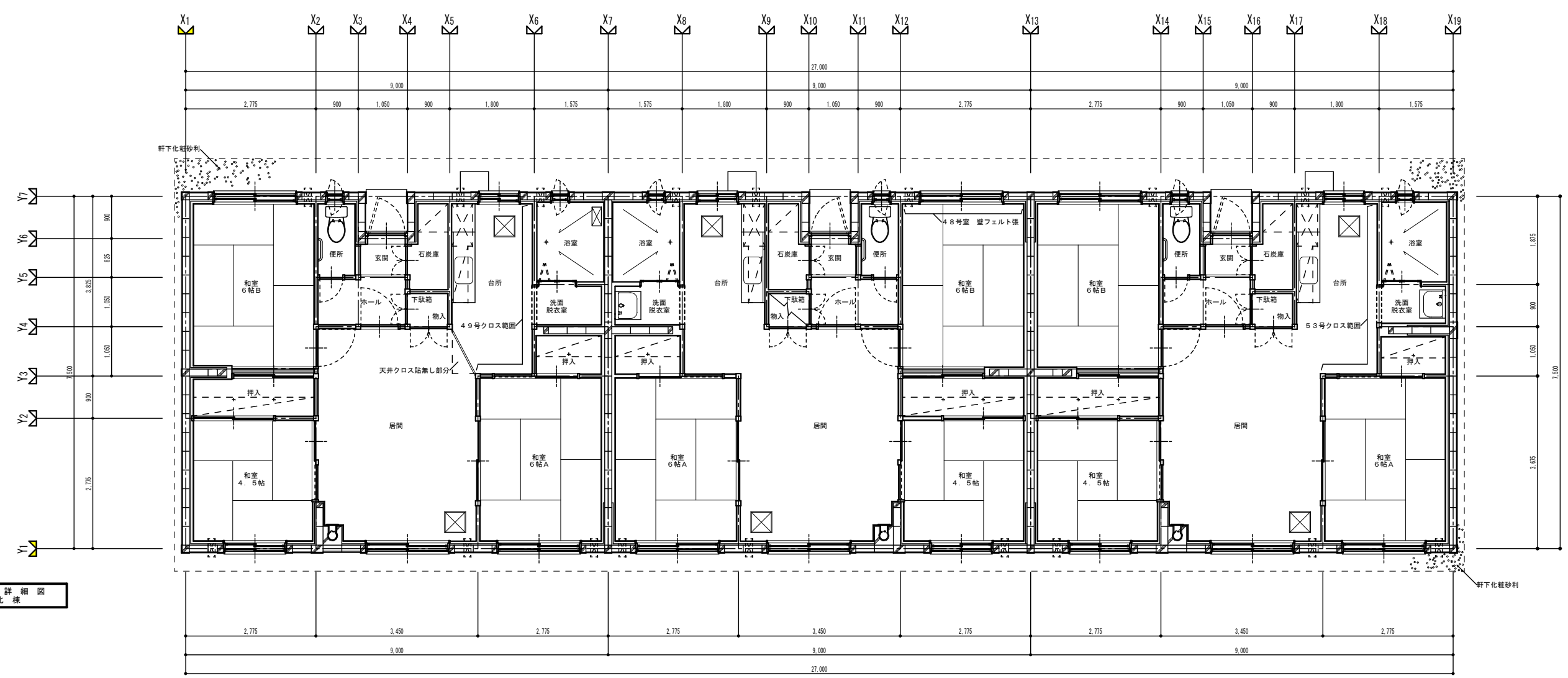
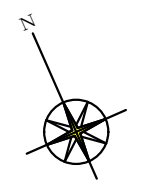
A

04

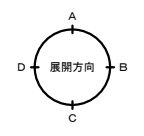
49号室  
52号室  
55号室

48号室  
51号室  
54号室

47号室  
50号室  
53号室



平面詳細図  
北棟

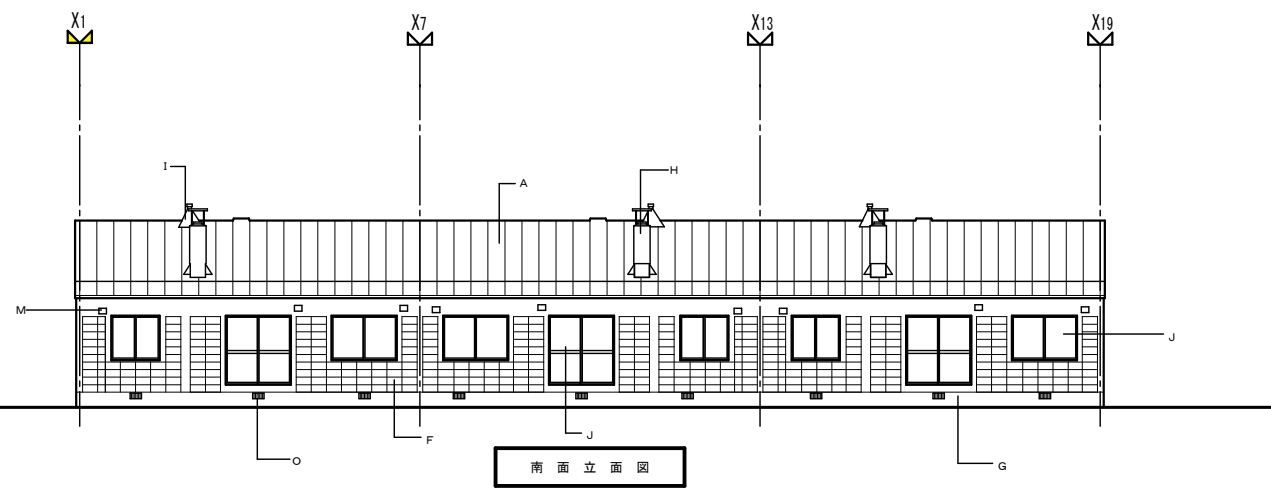


仕上追記事項

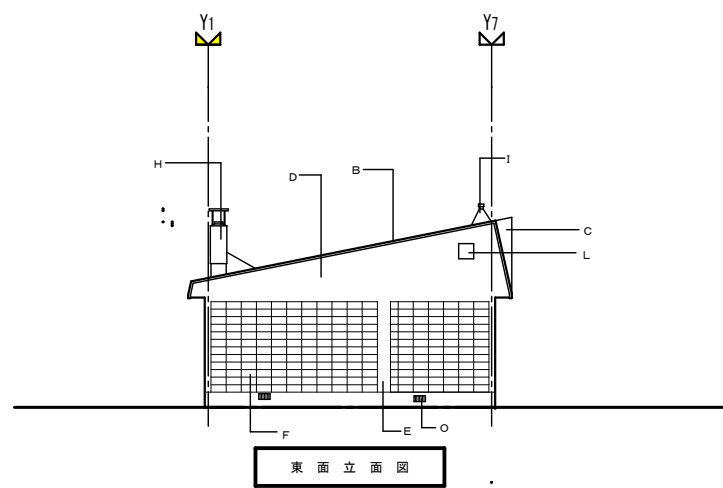
階	変更仕上部位・仕様	追記・変更室名
4号室	壁面 既存面ビニルクロス張	居間、台所一部、和室6帖A、和室6帖B、和室4.5帖
	天井面 既存面ビニルクロス張	居間
	洗面台移動	洗面脱衣室→石炭庫
51号室	壁面 既存面ビニルクロス張	居間、和室6帖A、和室6帖B、和室4.5帖
	天井面 既存面ビニルクロス張	居間、和室6帖A、和室6帖B、和室4.5帖、便所
	洗面台無し	洗面脱衣室
53号室	洗面台移動	洗面脱衣室→石炭庫

階	変更仕上部位・仕様	追記・変更室名
4号室	壁面 アスファルトフェルト張	和室6帖B 北面のみアルミ箔付フェルト内装ボード面に下張
	床面 アクリルカーペット張	玄関ホール 床合板の上に 3tカーペット重ね張
51号室	壁面 手摺設置	玄関 タテ450×1、ヨコ250×1
	壁面 手摺設置	居間 ヨコ750×1 便所 ヨコ450×2
	壁面 手摺設置	洗面脱衣室 ヨコ450×1
	壁面 手摺設置	浴室 タテ450×1、ヨコ600×2
	窓上カーテンレール(ステンレス)	居間、和室6帖A、和室6帖B、和室4.5帖
54号室	壁面 カガミ設置	洗面脱衣室 450×600
	窓上カーテンレール(ステンレス)	居間
	窓上カーテンレール(ステンレス)	和室6帖A、和室6帖B、和室4.5帖
	壁面 カガミ設置	洗面脱衣室 450×600
	天井面 既存面ビニルクロス張	便所

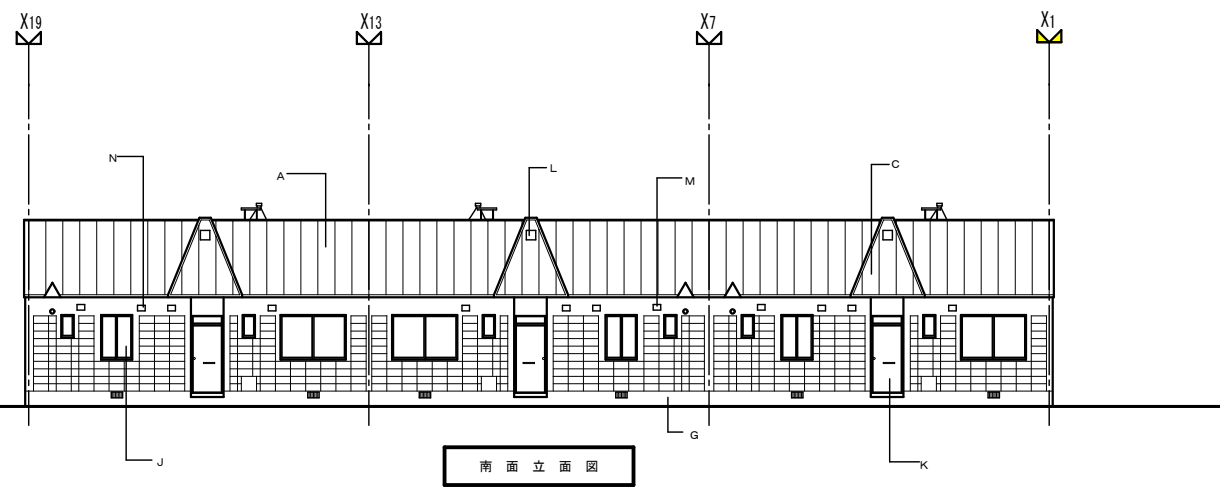
階	変更仕上部位・仕様	追記・変更室名
47号室	洗面台移動	洗面脱衣室→石炭庫
50号室	床面 スノコ板設置	浴室 木製600×1,600(100×18スノコ板5枚)
53号室	壁面 既存面ビニルクロス張	居間、台所一部、和室6帖A、和室6帖B、和室4.5帖
	天井面 既存面ビニルクロス張	居間、便所
	窓上カーテンレール(ステンレス)	居間、和室6帖A
	壁面 棚板設置	洗面脱衣室 18t合板410×800



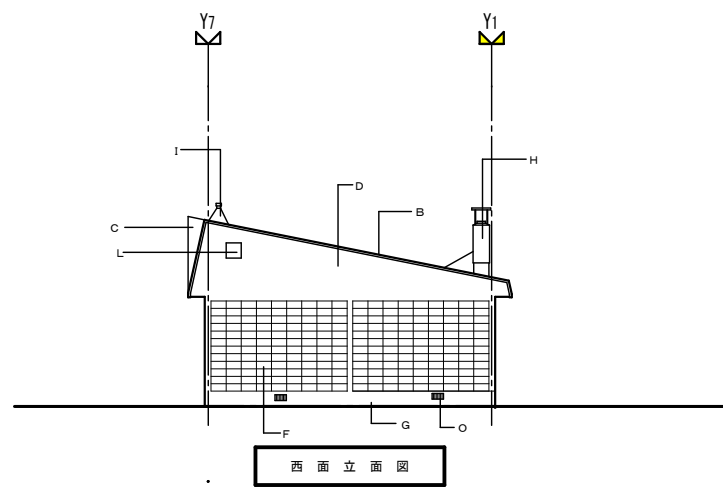
南面立面図



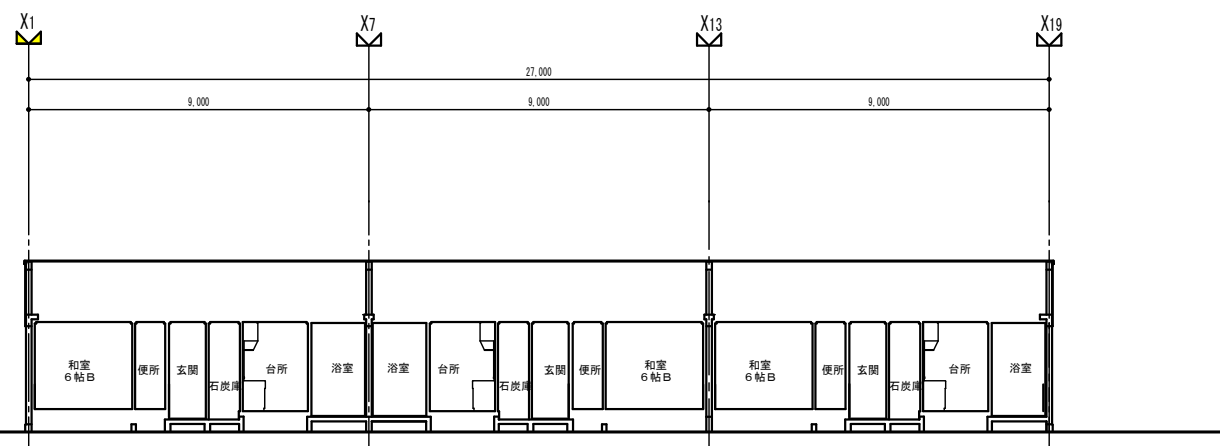
東面立面図



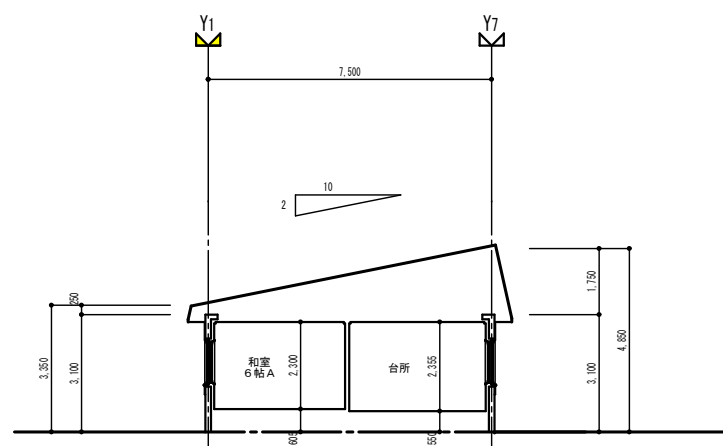
南面立面図



西面立面図



東西断面図



南北断面図

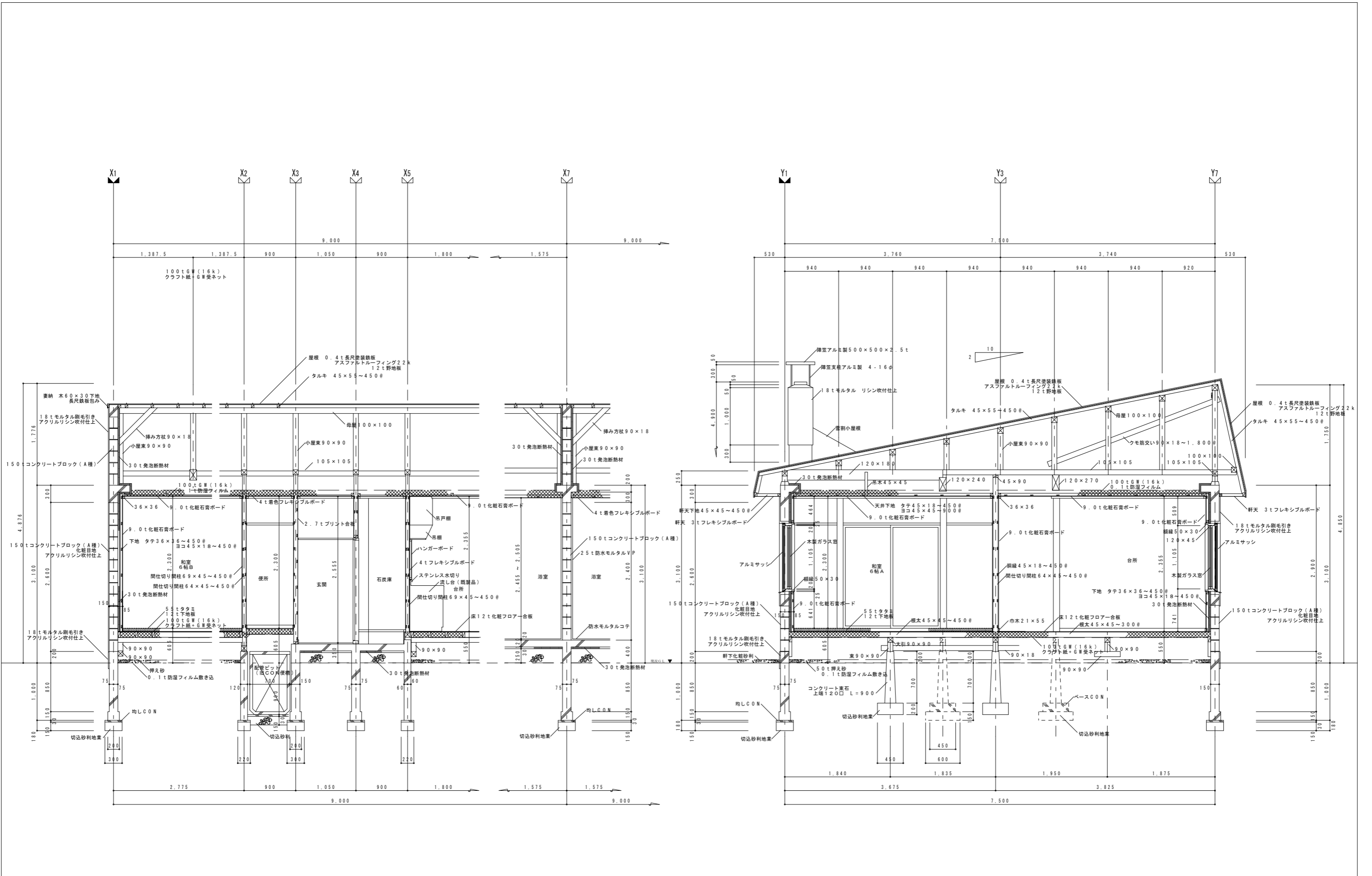
外部仕上リスト

記号	仕上
A	屋根 0.4t長尺片面塗装鉄板 下地アスファルトルーフィング22k【レベル3】
B	妻納 木60×30下地 長尺鉄板包み
C	玄関上雪割屋根 0.4t長尺片面塗装鉄板 下地アスファルトルーフィング22k【レベル3】
D	外壁(矢切) 18tモルタル刷毛引き アクリルリシン吹付仕上 コンクリートブロック下地
E	外壁(柱型) 18tモルタル刷毛引き アクリルリシン吹付仕上 コンクリート下地
F	外壁 コンクリートブロック化粧目地機 アクリルリシン吹付仕上
G	基礎巾木 18tモルタル刷毛引き コンクリート下地
H	集合煙突 18tモルタル刷毛引き コンクリート下地
I	便槽臭気抜き 100φ塩ビパイプ
J	アルミサッシ
K	木製玄関ドア
L	小屋裏換気ガラリ 300×300
M	換気用樹脂製フード+ガラリ 150×200
N	台所 換気扇用フード 250×250
O	床下換気口 スチール製100×300
P	

特記事項

**Mori** 株式会社 **モリ** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL(代) 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(+)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事			設計図	検図	担当	製図
図名	3戸長屋 立面図・断面図	縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	日付	2025年 11月	番号	A — 06



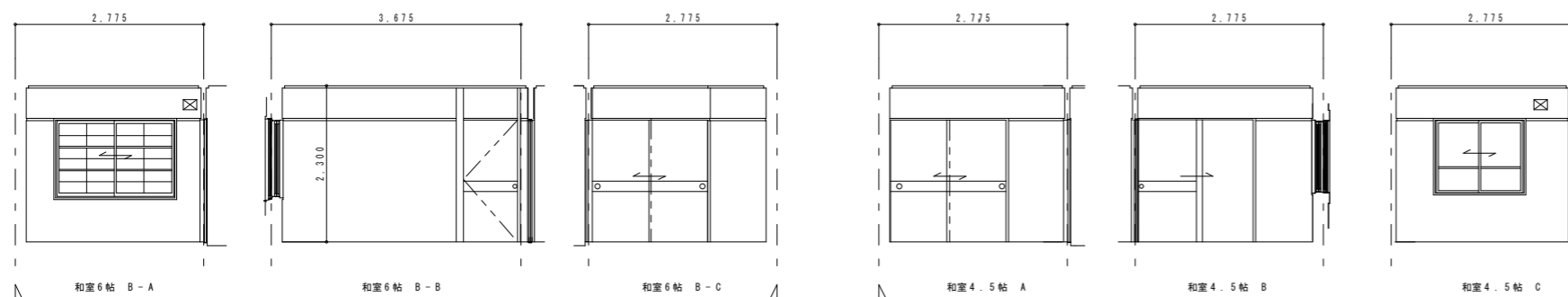
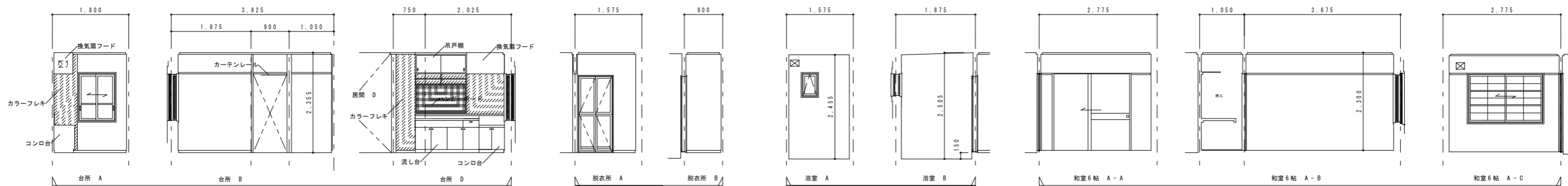
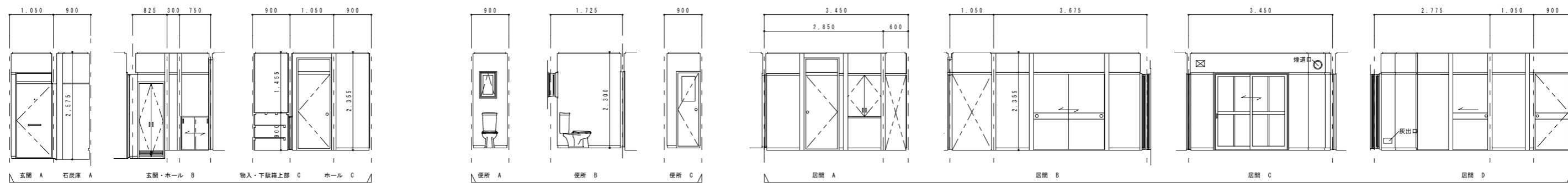
特記事項



株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102

工事名 大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 図名 3戸長屋 矩計図 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 日付 2025年 11月 番号 A-07

一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝



特記事項

Mori ARCHITECT OFFICE 株式会社 MORI 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事		設計図	検図	担当	製図
図名	3戸長屋 展開図	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025年 11月	番号
						A — 08

符号	① AW	1ヶ所	② WD	1ヶ所	③ WD	1ヶ所	④ WD	1ヶ所	⑤ WD	1ヶ所	⑥ WD	1ヶ所	⑦ WD	1ヶ所
姿図														
型式	アルミ折戸		木製引違い戸		木製引違い戸		木製引違い戸		木製引き戸		木製引き戸		木製片開き戸+木製FIXサッシ	
材種見込	アルミ35		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木33 両面合板2.7tフラッシュ		木33 両面合板2.7tフラッシュ		木36 両面合板2.7tフラッシュ	
ガラス	F2								F2				ランマ部F2	
金物	付属金物一式		プラスチック引手		プラスチック引手		プラスチック引手		プラスチック引手		プラスチック引手		SUSドアノブ ドアクロージャー ドアスコープ 付属金物一式	
符号	⑧ WD	1ヶ所	⑨ WD	1ヶ所	⑩ WD	1ヶ所	⑪ WD	1ヶ所	⑫ WD	1ヶ所	⑬ AW	1ヶ所	⑭ AW	2ヶ所
姿図														
型式	木製片開き戸		木製開き戸		木製片開き戸		木製引違い戸		木製片開き戸		アルミ引違い窓 (テラスタイプ)		アルミ引違い窓	
材種見込	木30 両面合板2.7tフラッシュ		木35 両面合板2.7tフラッシュ		木33 両面合板2.7tフラッシュ		木33 両面合板2.7tフラッシュ		木33 両面合板2.7tフラッシュ		アルミ70		アルミ70	
ガラス											FL2		FL2	
金物	SUSドアノブ 付属金物一式		SUS引手 プラスチックガラリ		SUSドアノブ 付属金物一式		SUS引手		SUS引手 付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
符号	⑮ AW	1ヶ所	⑯ AW	2ヶ所	⑰ WW	1ヶ所	⑱ WW	2ヶ所						
姿図														
型式	アルミ引違い窓		アルミすべり出し窓		木製引違い窓		木製引違い窓							
材種見込	アルミ57		アルミ30		木30		木30							
ガラス	FL2		FL2		上部FL2、下部F2		FL2							
金物	付属金物一式		付属金物一式		SUSレール 付属金物一式		付属金物一式							
符号	⑳ WW	1ヶ所	㉑ WW	1ヶ所	㉒ WW	2ヶ所								
姿図														
型式	木製引違い窓		木製引違い窓		木製すべり出し窓									
材種見込	木30		木30		木30									
ガラス	FL2		F2		F2									
金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式									

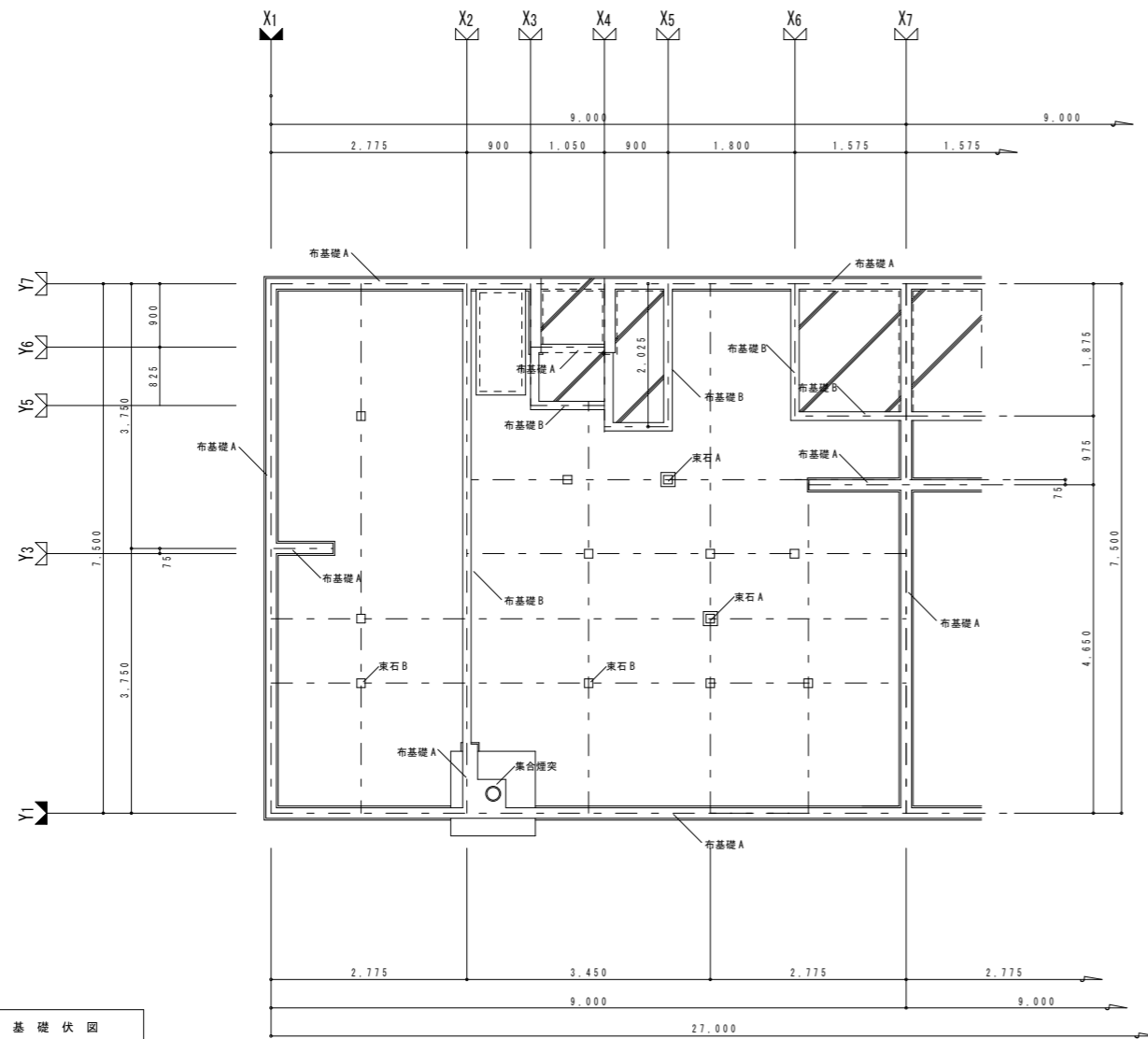
建具表

建具個数は1住戸分とする。

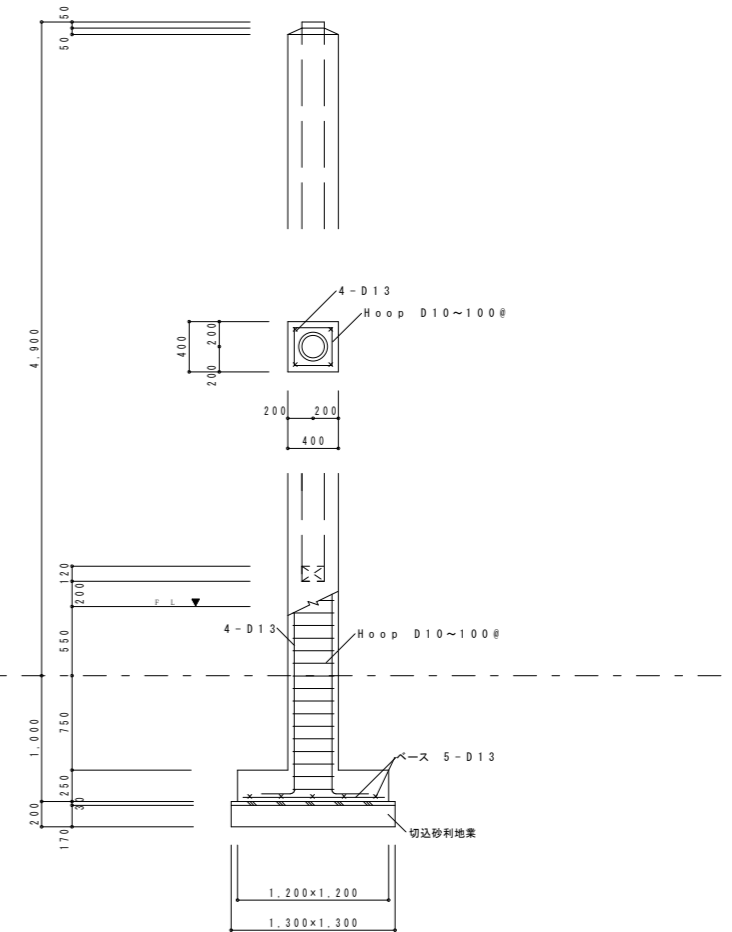
特記事項

**Mori** 株式会社 MORI DESIGN OFFICE  
 株式会社 **モリ** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL (代) (0155)-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

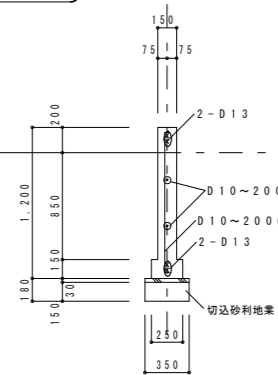
工事名 大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 図名 3戸長屋 建具キープラン・建具表 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 日付 2025年 11月 番号 A-09



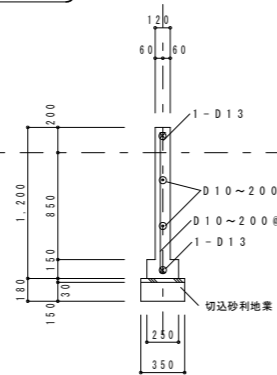
集合煙突



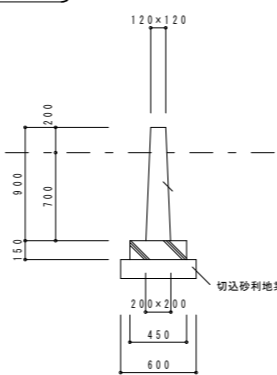
布基礎 A



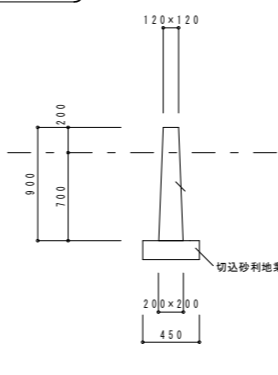
布基礎 B



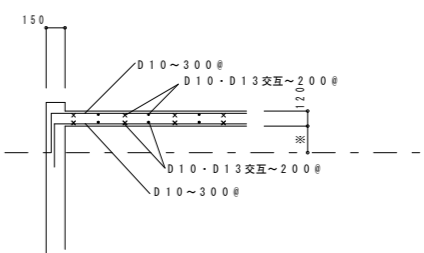
凍石 A



凍石 A



土間スラブ



特記事項

Mori ARCHITECT OFFICE

株式会社 MORI 建築設計室  
帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL ☎ 0155-22-1102

一級建築士事務所(十)登録第136号  
一級建築士158671号 森 義 孝

工事名

大正団地簡易平屋除却工事 設計図

図名

3戸長屋  
基礎伏図・基礎図

縮尺

A1: 1/50, 1/30  
A3: 1/100, 1/60

日付

2025年 11月

検図

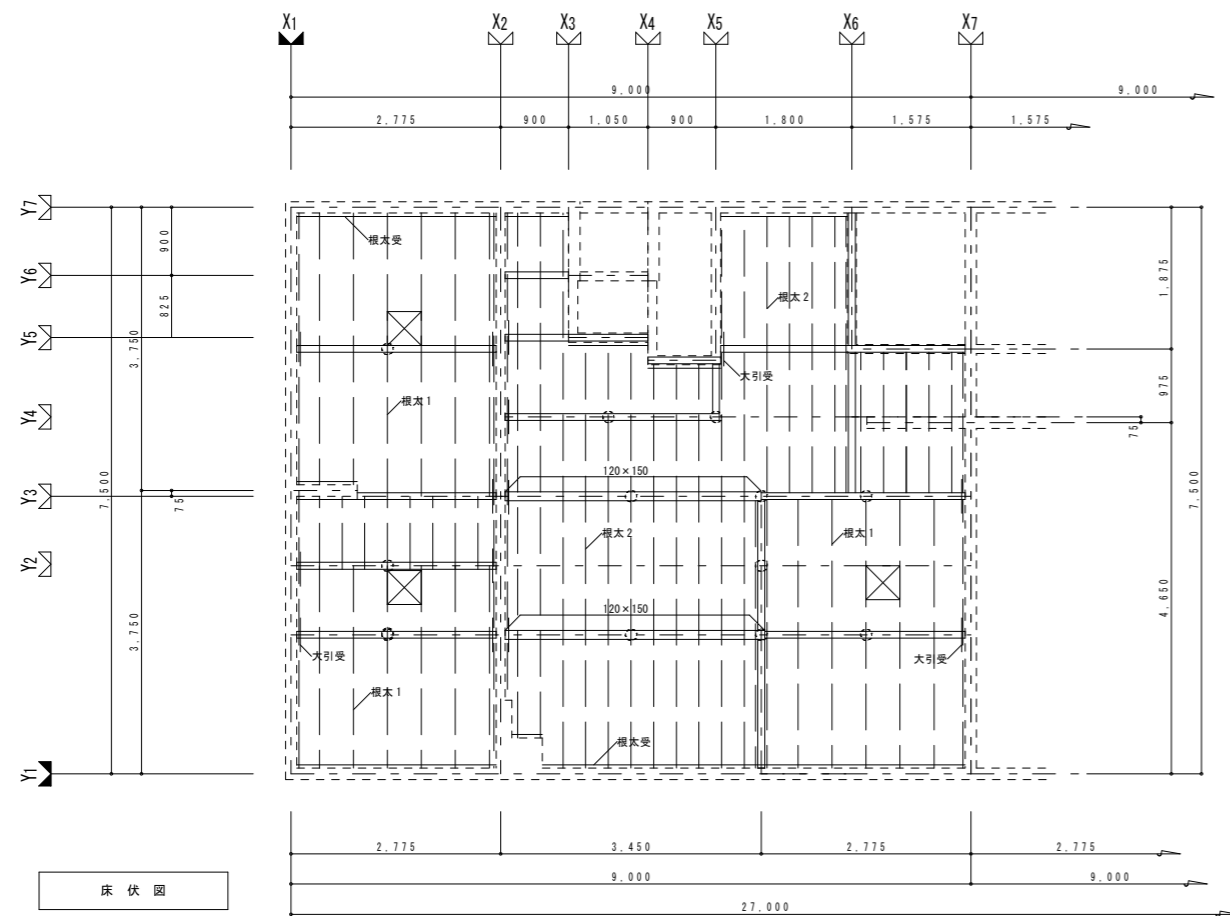
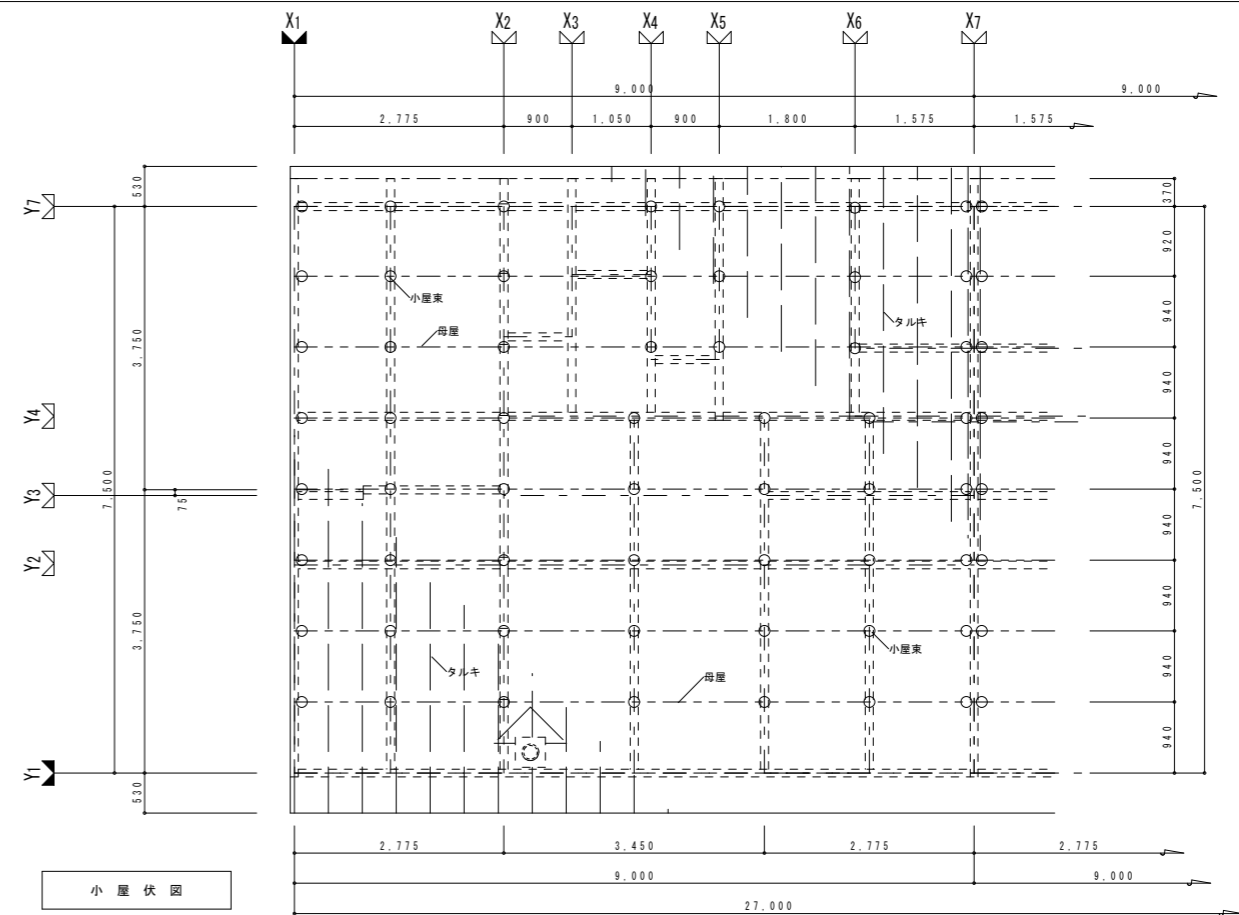
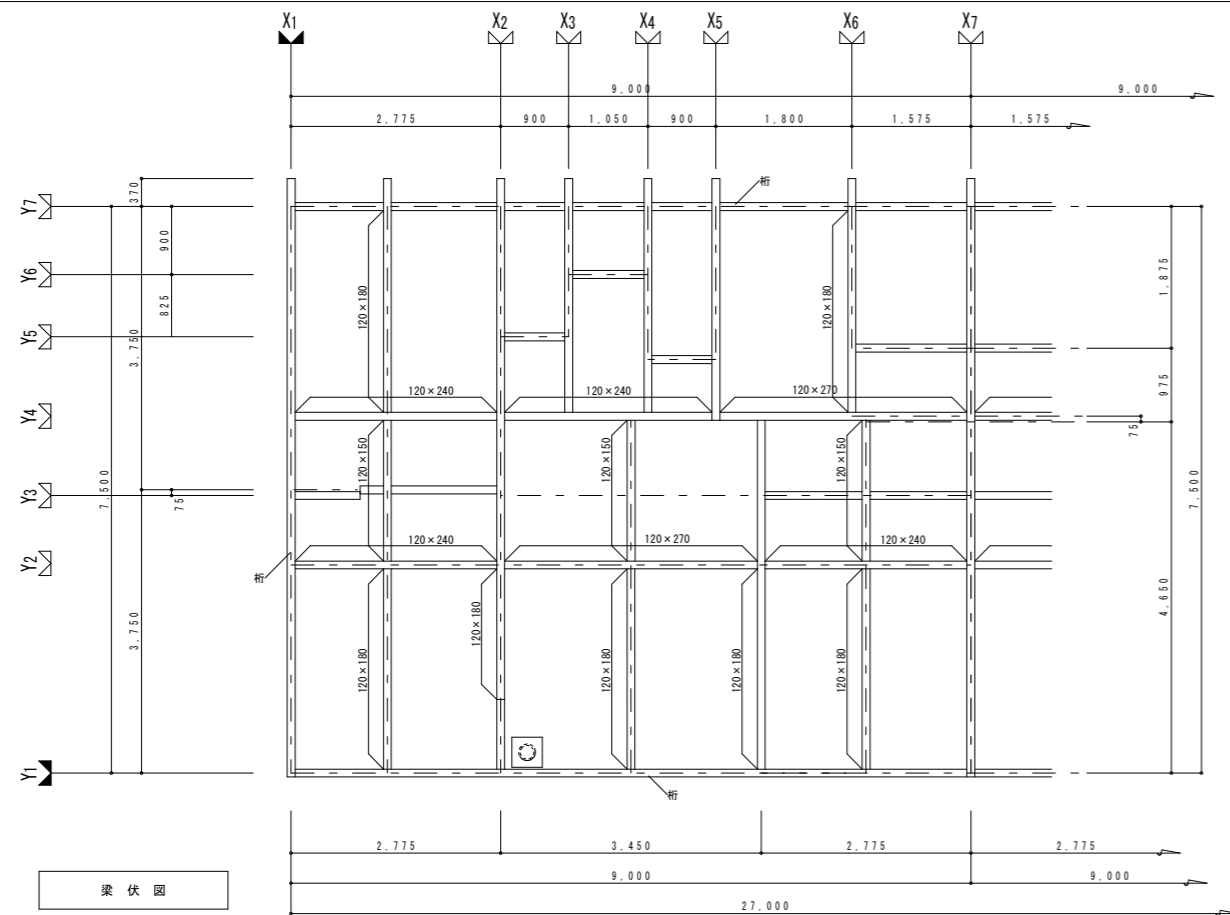
担当

製図

番号

A

10

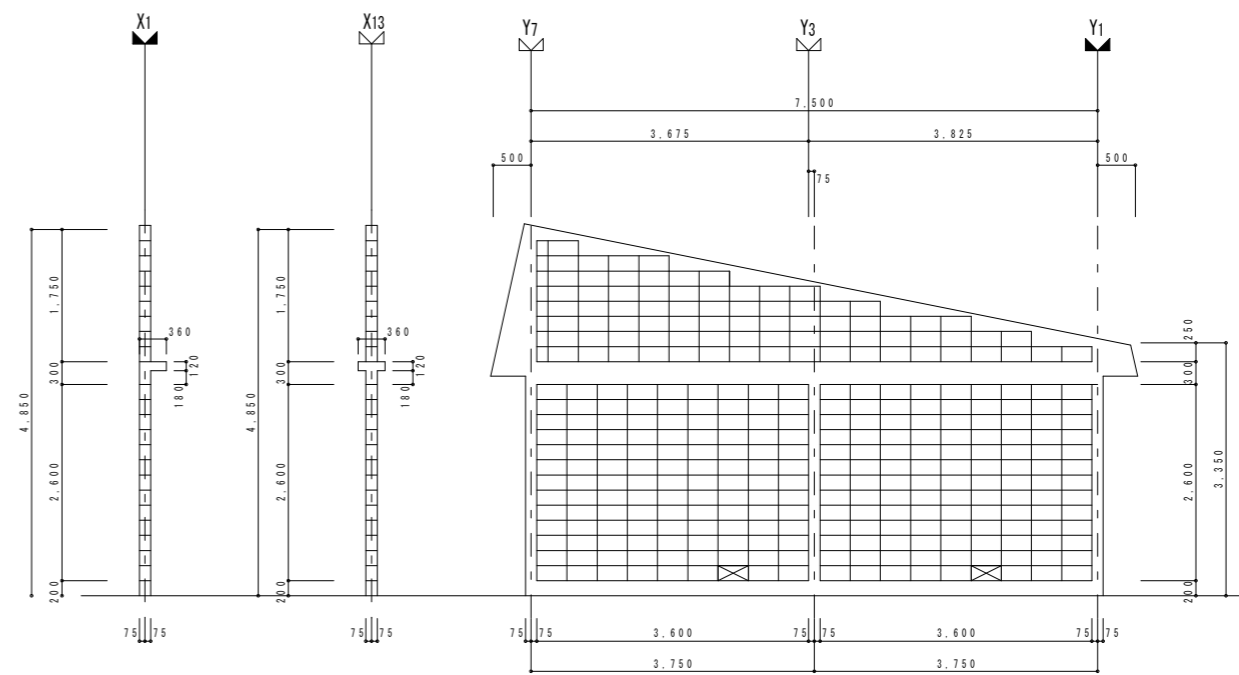
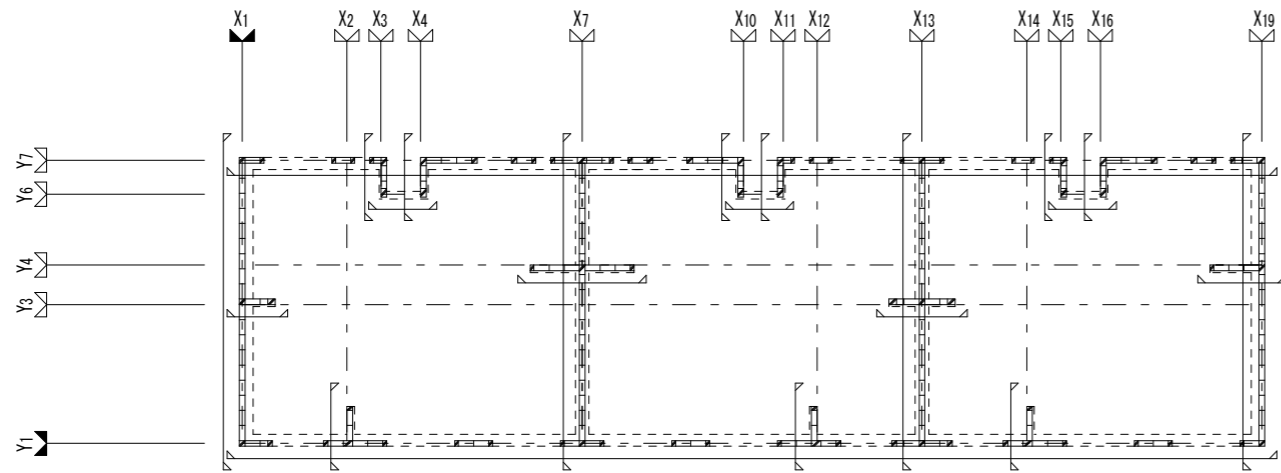


名称	部材サイズ
大引	寸法は図示による。 図示に無い大引は105×105
大引受	90×90
土台	90×90
根太1	タタミ下地 90×45~450@
根太2	フローリング・合板下地 90×45~300@
根太受	90×45
柱	100×100
半柱	100×45
小柱	60×45
梁	図示部材は梁とし、寸法は図示による。
桁	上記梁以外の部材は桁とする。 105×105
母屋	90×90
垂木	45×55~450@
束	90×90 位置は図示○とする。

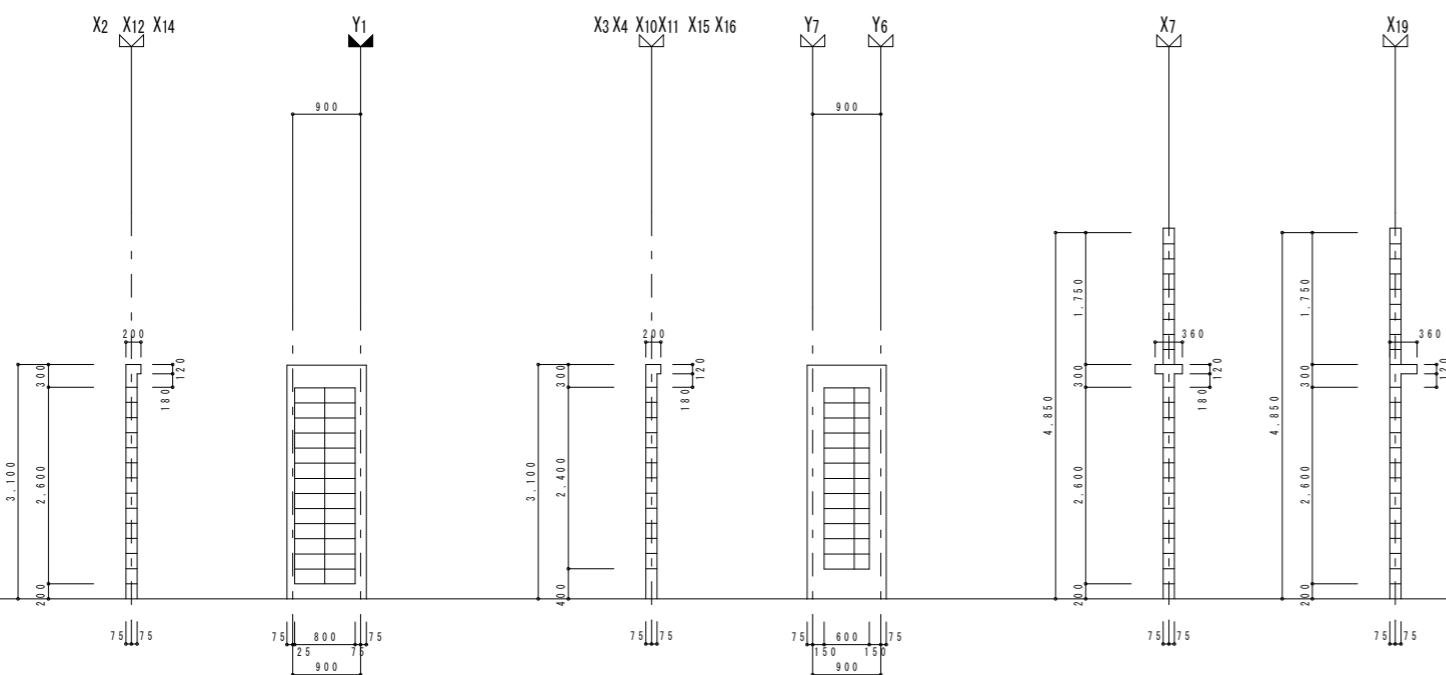
特記事項

株式会社 Mori 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士158671号 森 義 孝

大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 3戸長屋 各伏図  
 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 日付 2025年 11月  
 検図 番号 A-11  
 担当 製図

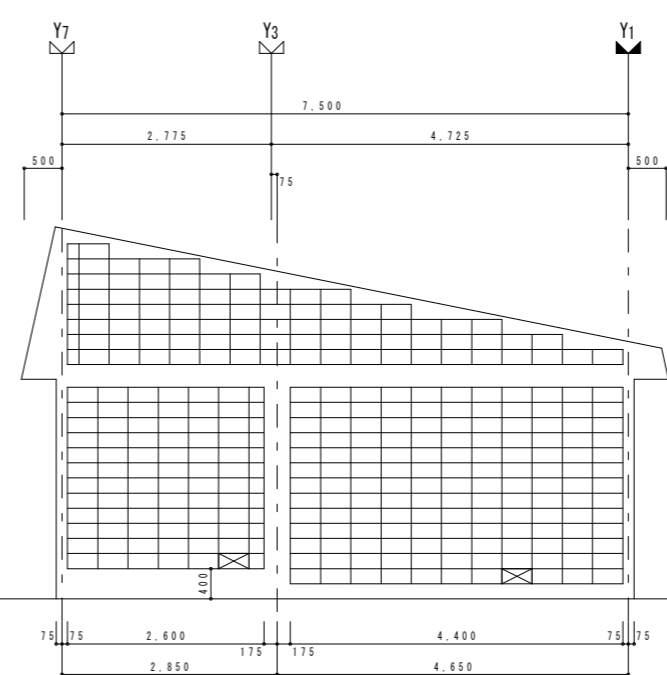


X 1 - X 1 3 通り




X 2 ・ 1 2 ・ 1 4 袖壁

X 3 ・ 4 ・ 他 玄関袖壁

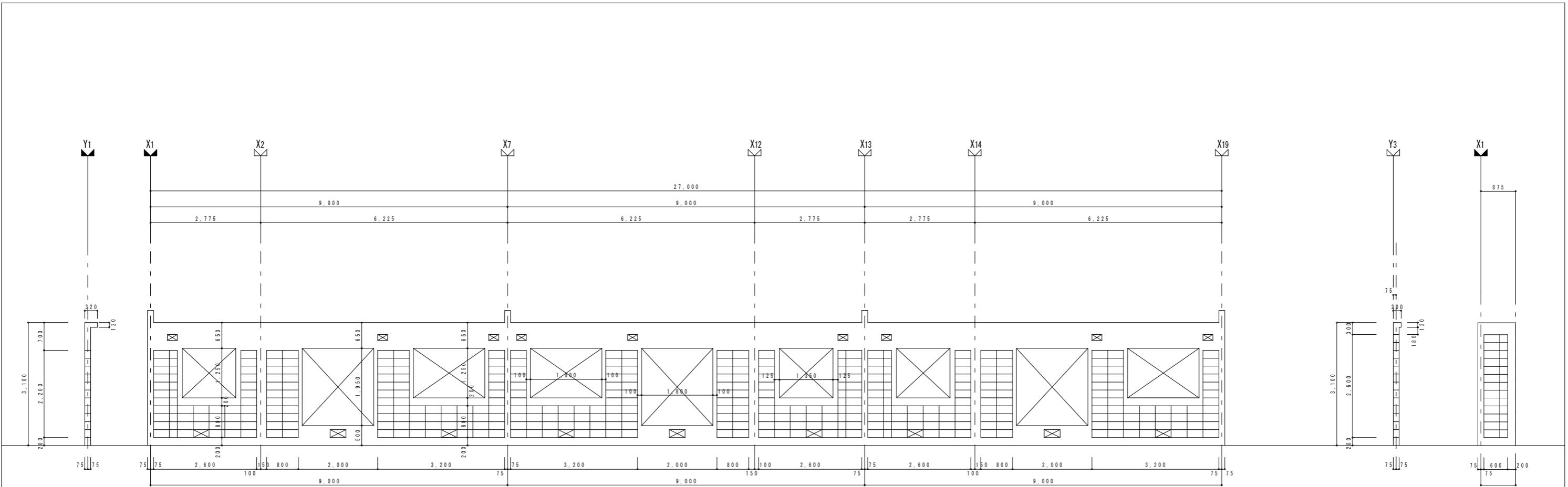


X 7 ・ X 1 9 通り

特 記 事 項

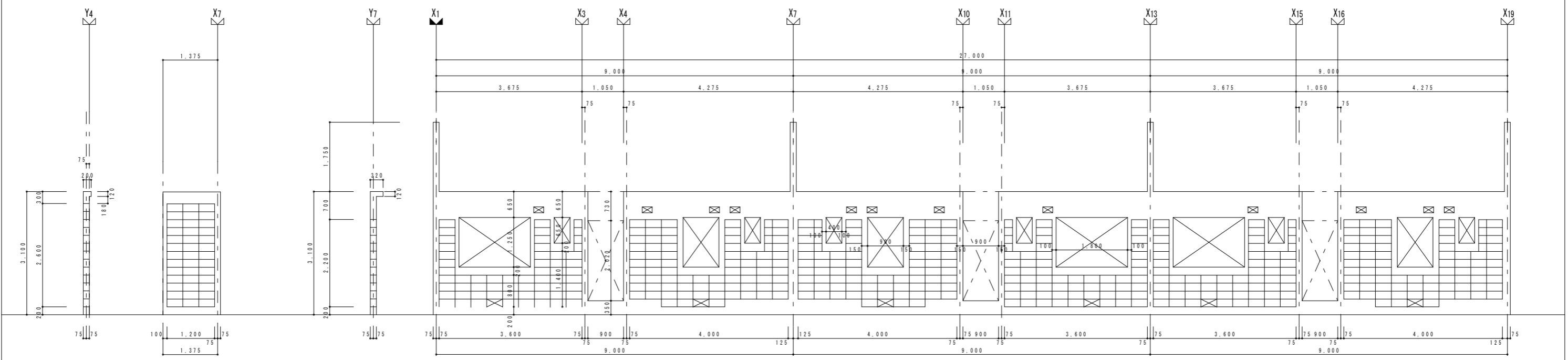

 株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL (TEL) 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工 事 名	大正団地簡易平屋除却工事		設 計 図	検 図	担 当	製 図
図 名	3戸長屋 C B 割付図 1	縮 尺	A1: 1/100, 1/50 A3: 1/200, 1/100	日 付	2025 年 11 月	番 号
						A — 1 2



Y 1 通り


Y 3 通り袖壁



Y 4 通り

Y 7 通り

特記事項


 株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事		設計図	検図	担当	製図
図名	3戸長屋 C B 割付図 2	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025年 11月	番号
						A — 13

外部仕上表

名称	既存仕上	備考
屋根	0.4t長尺片面塗装鉄板 下地アスファルトルーフィング22k【レベル3】 12t野地板 タルキ450@	屋根勾配 2/10 臭突雨返し 集合煙突雪割小屋根
軒天井	3t着色フレキシブルボード(有孔板)【レベル3】	
外壁	コンクリート面:18tモルタル仕上 アクリルリシン吹付塗装 ブロック面:化粧積の上アクリルリシン塗装 (西ブロック面 6tフレキシブルボード張 レベル3) 【吹付下地調整材 レベル3】	
基礎	18tモルタル仕上	
木部	オイルペイント塗り	
鉄部	防錆処理1回塗+オイルペイント塗り	

内部仕上表

名称	床	下地	巾木	壁	下地	天井	下地	天井高さ	備考
玄関	20tモルタル金ゴテ仕上(水勾配付)	120t土間コンクリート	青木 OS H=55mm	2.7tプリント合板	木脚縁下地組・木間仕切り	9.0t化粧石膏ボード	木天井下地組	2.555	
ホール	12t化粧フロア合板	根太・木床組	全上	全上	全上	全上	全上	2.355	
便所	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	2.300	
石炭庫	120t土間コンクリート直均し仕上			5.5t耐水合板	全上	5.5t耐水合板	全上	2.575	
脱衣室	12t化粧フロア合板	根太・木床組	青木 OS H=55mm	4.0t着色フレキシブルボード【レベル3】	木間仕切り	4.0t着色フレキシブルボード【レベル3】	全上	2.355	洗面化粧台 集合煙突夏蓋 灰出口 カガミ(300×360)(56号室) アコーデオンカーテン(56号室) カーテンレール(S)(57号室)
浴室	20~30t防水モルタル金ゴテ仕上(水勾配付)	120t土間コンクリート		25t防水モルタル金ゴテ仕上 VP	ガラス張 木間仕切り	全上	全上	2.405 ~ 2.505	ポリバス・ガス風呂釜(57号室) 夏蓋
居間	12t化粧フロア合板 56号室のみタタミ重ね置き	根太・木床組	青木 OS H=55mm	9.0t化粧石膏ボード	木脚縁下地組・木間仕切り	9.0t化粧石膏ボード 小口ジョイナー貼	全上	2.355	
台所	12t化粧フロア合板	根太・木床組	全上	9.0t化粧石膏ボード 一部4.0tフレキシブルボード【レベル3】	全上	全上	全上	2.355	流し台 吊戸棚水切り棚 ハンガーボード フード 床改め口 【流し回りけいそう土配管保温材 アスベスト含有 レベル2】
和室6帖	55tタタミ 一部12t化粧フロア	12t下地板 根太・木床組	タタミ寄せ	9.0t化粧石膏ボード	全上	全上	全上	2.300	吊棚 床改め口
物入(石炭庫裏)	5.5t合板	根太・木床組	雑巾摺 青木	2.7t合板	全上	9.0t石膏ボード	全上	2.300	中棚 枕棚
和室4.5帖	55tタタミ 一部12t化粧フロア	12t下地板 根太・木床組	タタミ寄せ	9.0t化粧石膏ボード	全上	9.0t化粧石膏ボード 小口ジョイナー貼	全上	2.300	吊棚 床改め口 カーテンレール(S)(57号室)
押入	5.5t合板	根太・木床組	雑巾摺 青木	2.7t合板	全上	9.0t石膏ボード	全上	2.300	中棚 枕棚
洋室	12t化粧フロア合板	根太・木床組	青木 OS H=55mm	9.0t化粧石膏ボード	全上	9.0t化粧石膏ボード 小口ジョイナー貼	全上	2.355	吊棚 床改め口 カーテンレール(S)(57号室)
物入	5.5tベニヤ合板	根太・木床組	雑巾摺 青木	2.7t合板	全上	9.0t石膏ボード	全上	2.355	枕棚

塗りつぶし部はアスベスト含有建材、もしくはアスベスト含有みなし建材とする。

特記事項



株式会社 MORI 建築設計室

帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL ☎ 0155-22-1102

一級建築士事務所(十)登録第136号  
一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名

大正団地簡易平屋除却工事

設計図

換図

担当

製図

図名

2戸長屋  
仕上表

縮尺

A1: N/S  
A3: N/S

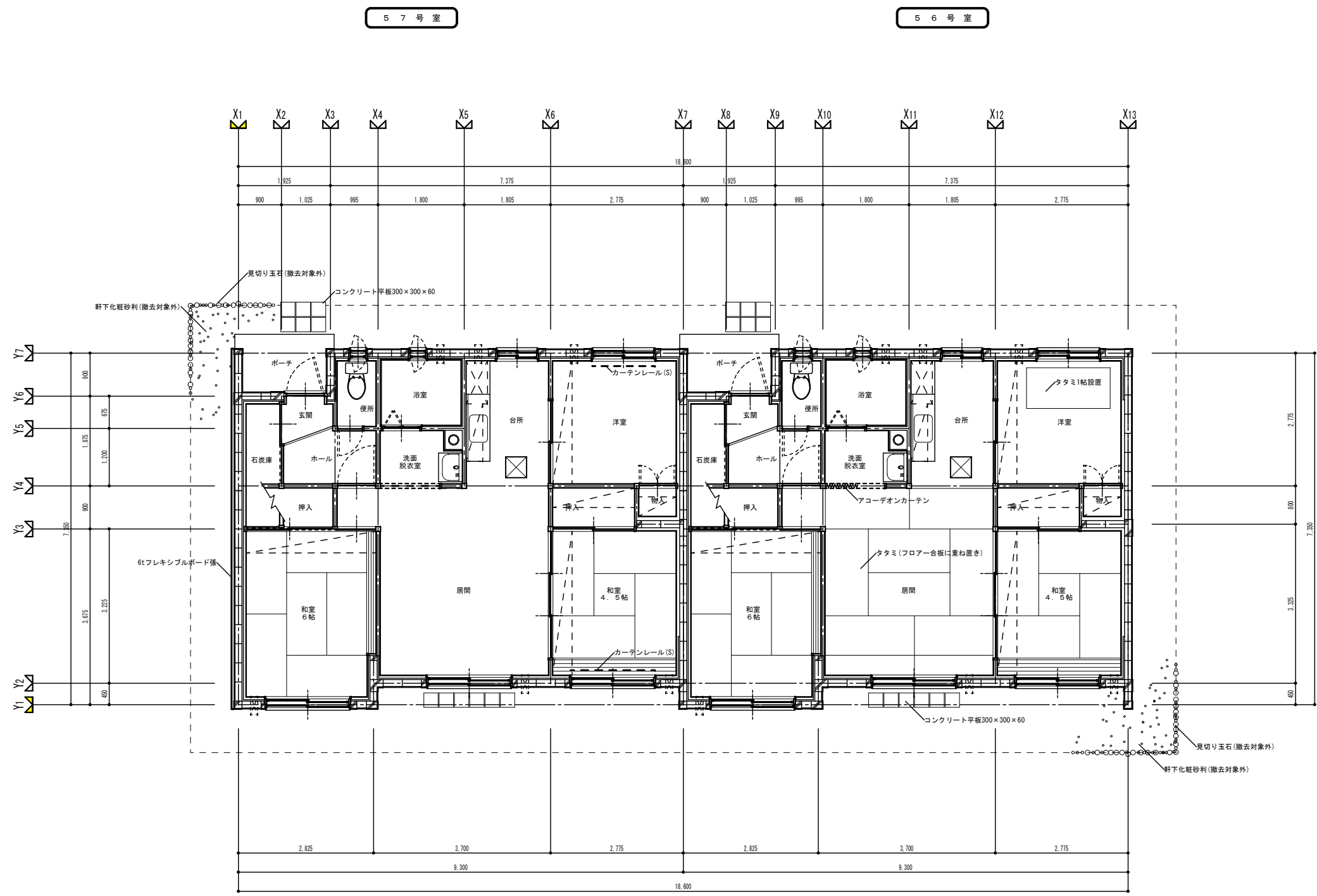
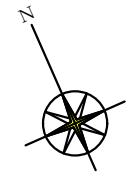
日付

2025年 11月

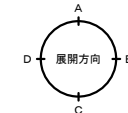
番号

A

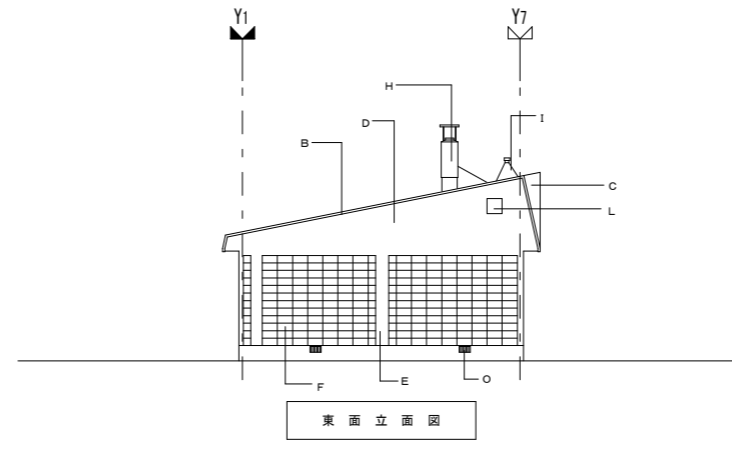
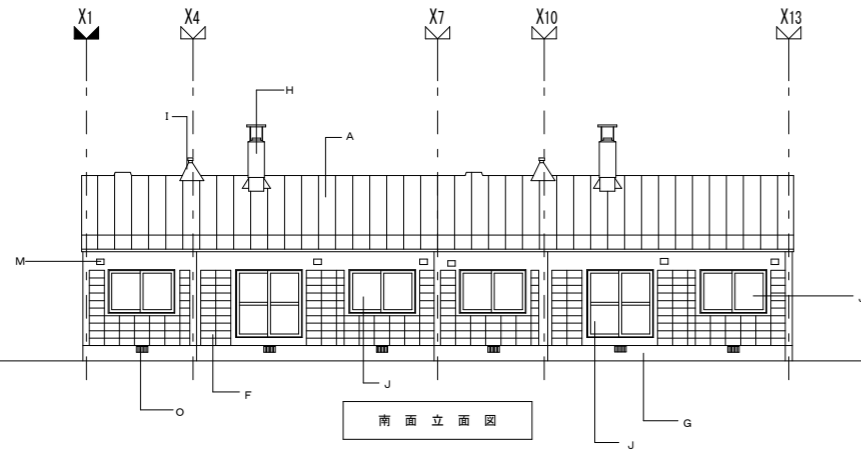
14



平面詳細図  
2戸長屋

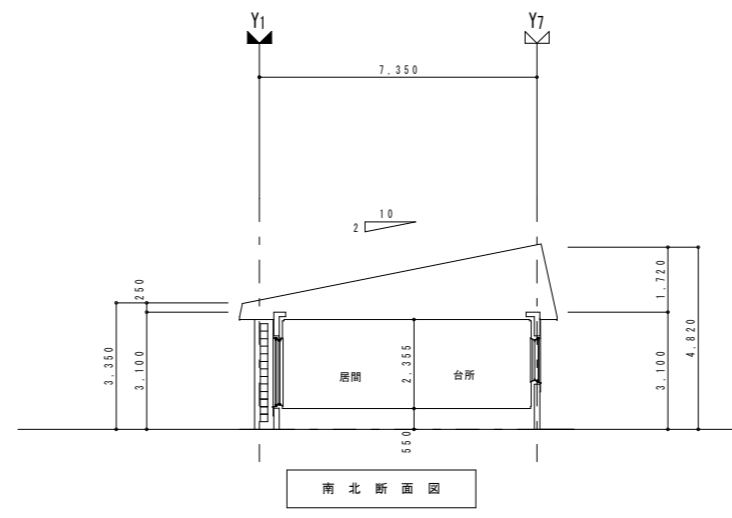
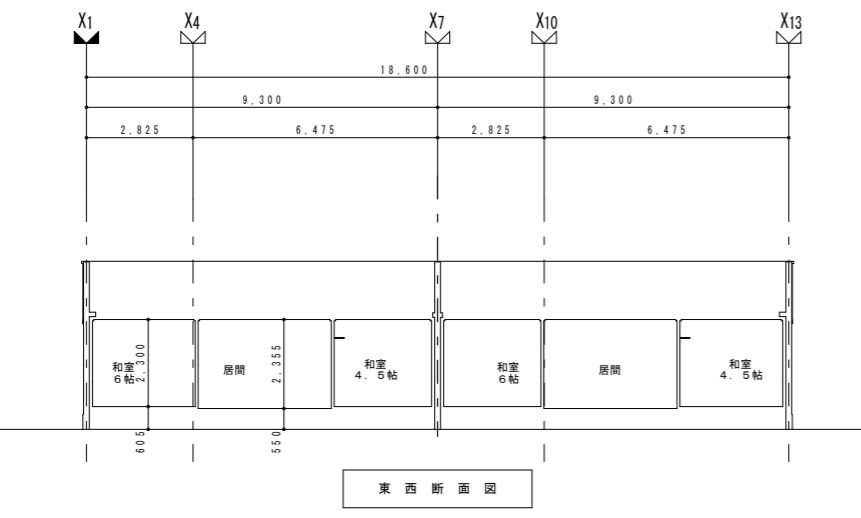
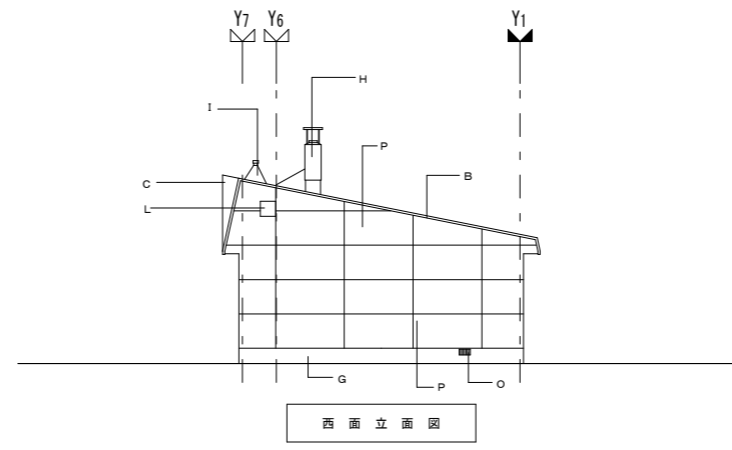
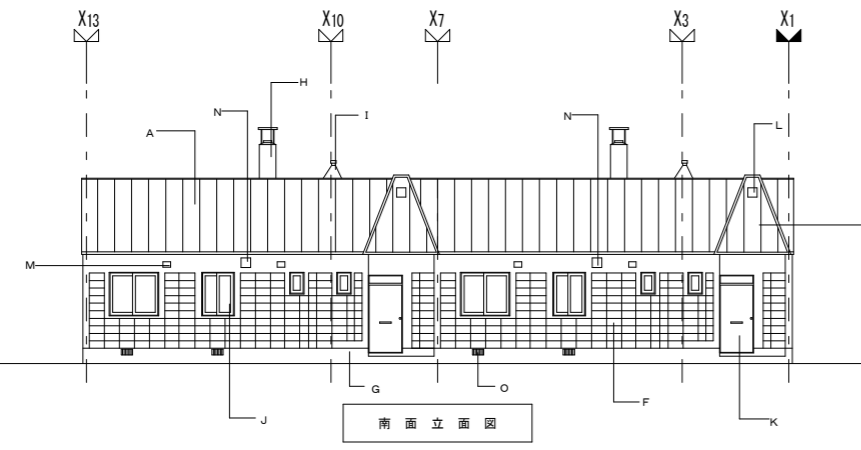


特記事項	Mori 株式会社 建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東40番地 TEL (代) (0155)-22-1102 一級建築士事務所(+)登録第136号 一級建築士第158671号 森 義 孝	工事名	大正団地簡易平屋除却工事 設計図			検図	担当	製図
		図名	2戸長屋 平面図	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025年 11月	番号



外部仕上リスト

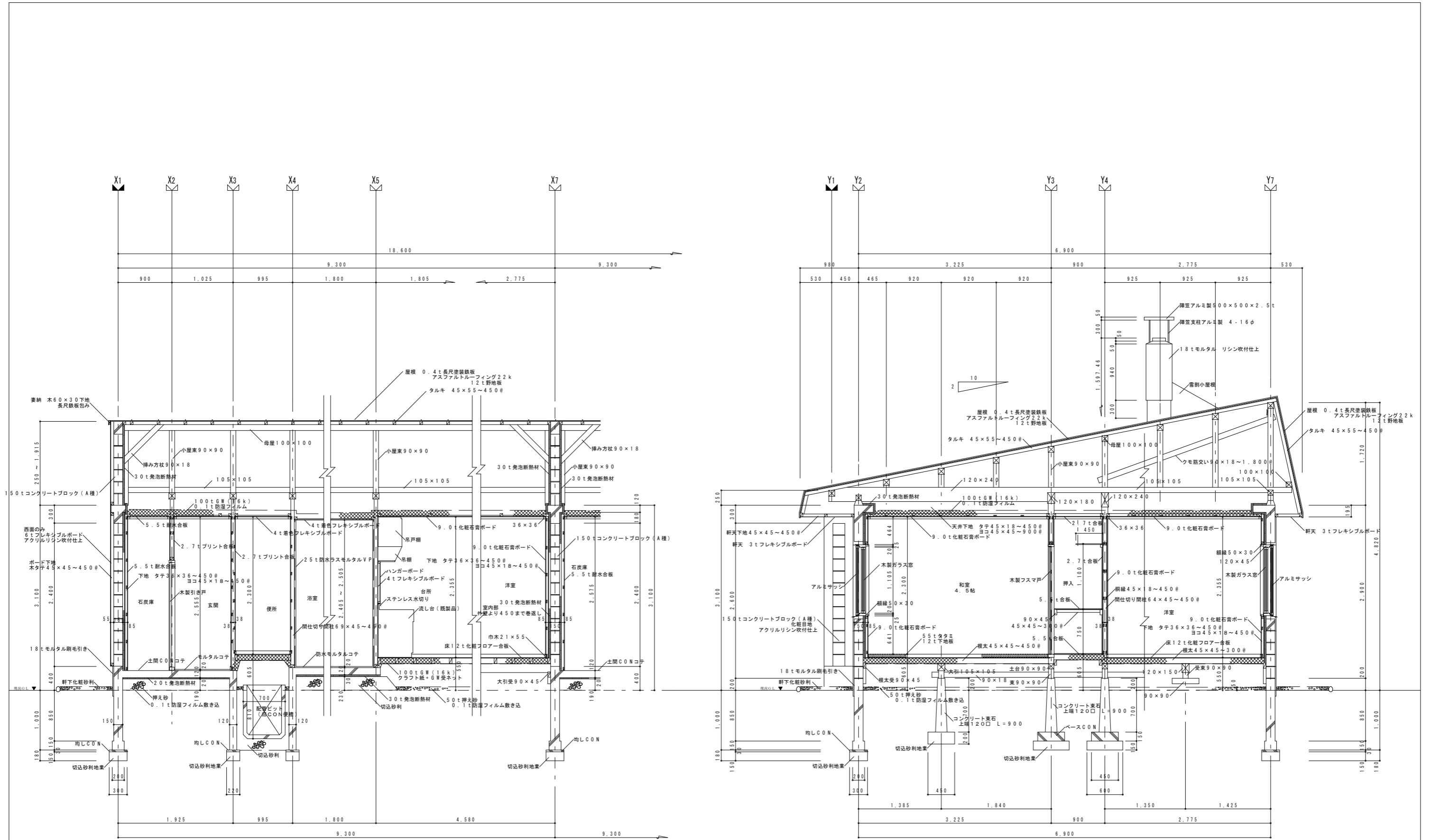
記号	仕上
A	屋根 0.4t長尺片面塗装鉄板 下地アスファルトルーフィング2.2k【レベル3】
B	妻納 木60×300下地 長尺鉄板包み
C	玄関上雪割屋根 0.4t長尺片面塗装鉄板 下地アスファルトルーフィング2.2k【レベル3】
D	外壁(尖切) 1.8tモルタル刷毛引き アクリルリシン吹付仕上【下地調整材レベル3】 コンクリートブロック下地
E	外壁(柱型) 1.8tモルタル刷毛引き アクリルリシン吹付仕上【下地調整材レベル3】 コンクリート下地
F	外壁 コンクリートブロック化粧目地積 アクリルリシン吹付仕上【下地調整材レベル3】
G	基礎巾木 1.8tモルタル刷毛引き コンクリート下地
H	集合煙突 1.8tモルタル刷毛引きアクリルリシン吹付仕上【下地調整材レベル3】 コンクリート下地
I	便槽臭気抜き 100φ塩ビパイプ
J	アルミサッシ
K	アルミ玄関ドア
L	小屋裏換気ガラリ 300×300
M	換気用樹脂製フード+ガラリ 150×200
N	台所 換気扇用フード 250×250
O	床下換気口 スチール製100×300
P	コンクリートブロック面 本下地6tフレキシブルボード重ね張 アクリルリシン吹付仕上【下地調整材レベル3】



特記事項

株式会社 Mori 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 2戸長屋 立面図・断面図  
 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200  
 日付 2025年 11月  
 図名 番号 A — 16



特記事項



株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ (0155) 22-1102

一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名

大正団地簡易平屋除却工事 設計図

検図

担当

製図

2戸長屋  
 矩計図

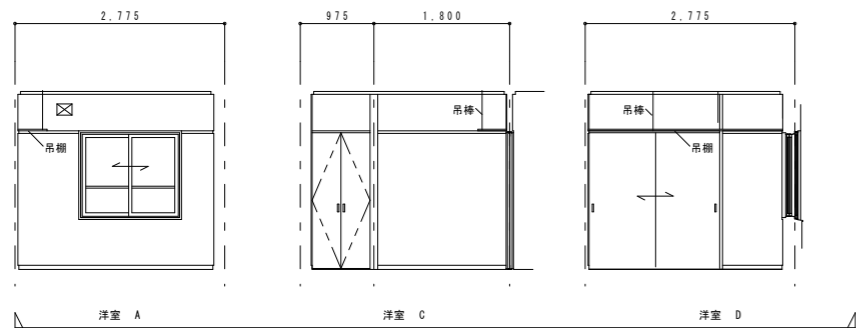
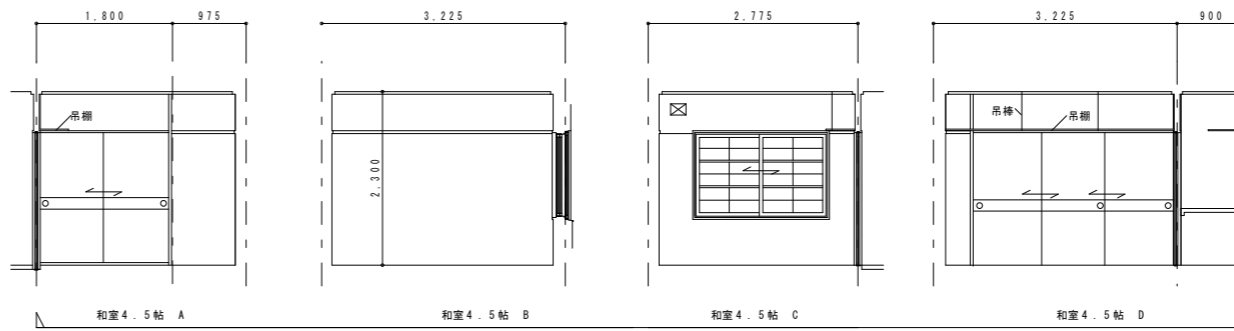
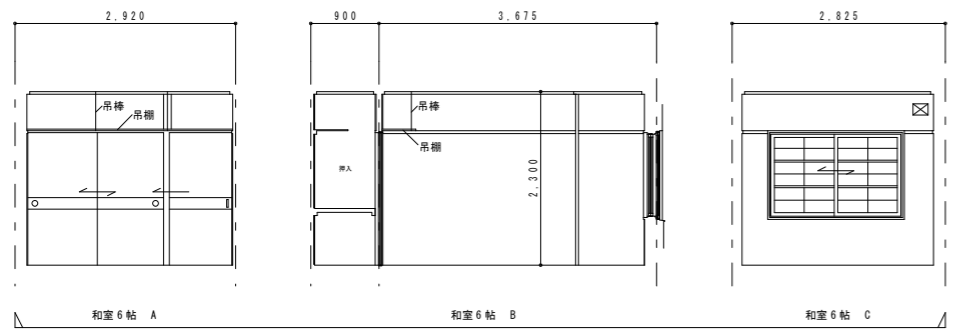
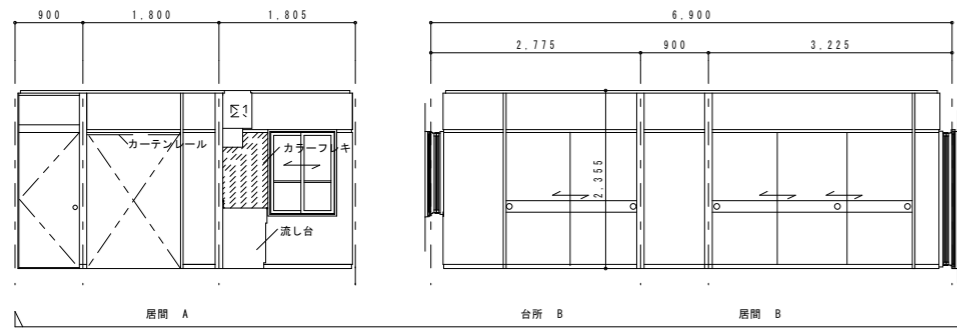
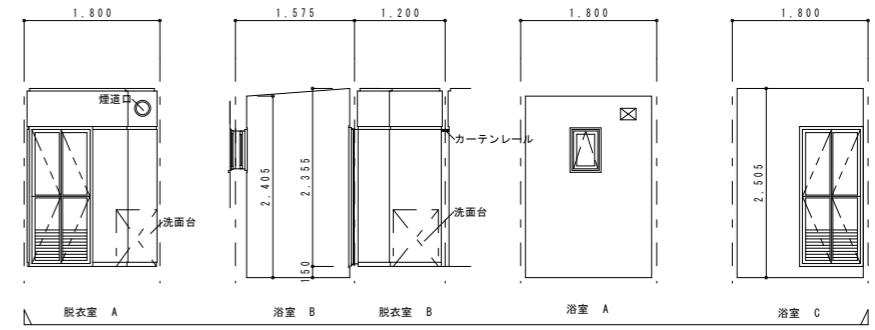
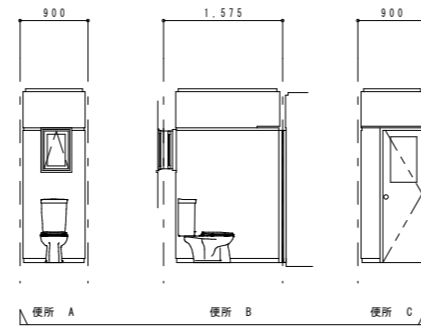
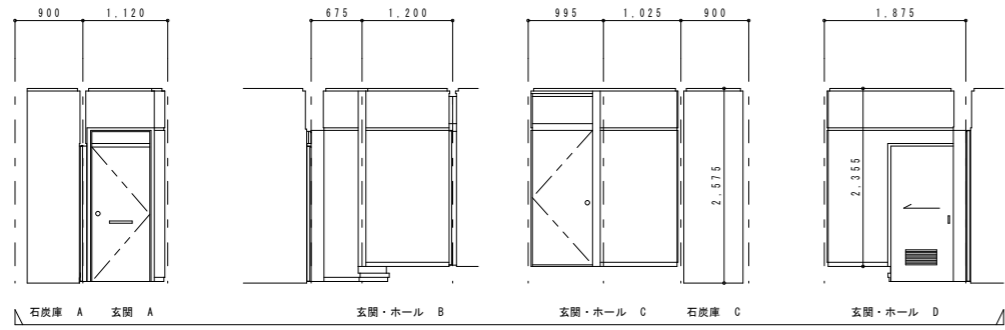
縮尺 A1: 1/30  
 A3: 1/60

日付 2025年 11月

番号

A

17



特記事項

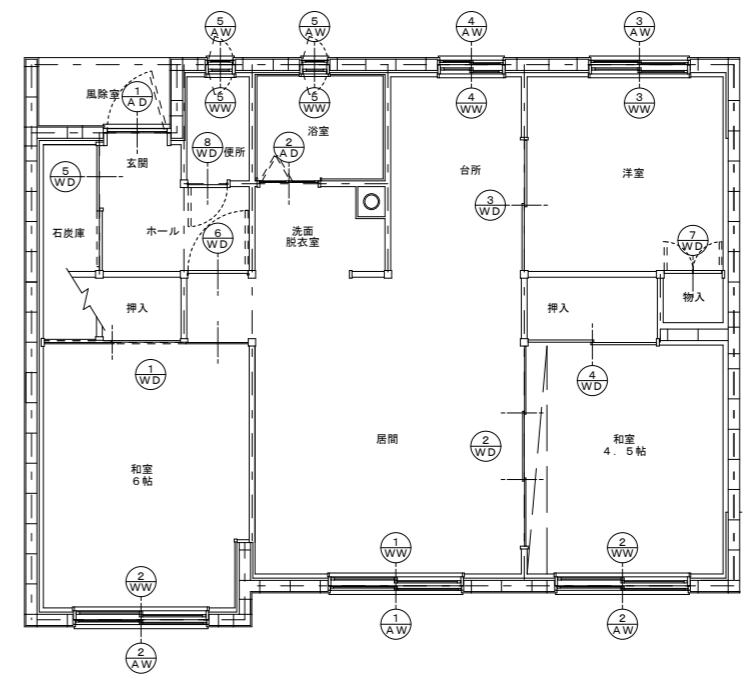
Mori ARCHITECT OFFICE 株式会社 MORI 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事		設計図	換図	担当	製図
図名	2戸長屋展開図	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025年 11月	番号
						A — 18

符号	① A/D	1ヶ所	② A/D	1ヶ所	① W/D	1ヶ所	② W/D	1ヶ所	③ W/D	1ヶ所	④ W/D	1ヶ所	⑤ W/D	1ヶ所	⑥ W/D	1ヶ所
立面																
型式	アルミ片開きドア+アルミFIXサッシ		アルミ折戸		木製引違い戸+片引き戸		木製3枚引違い戸		木製引違い戸		木製引違い戸		木製引違い戸		木製片開き戸+木製FIXサッシ	
材種見込	アルミ36		アルミ35		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木19 両面合板2.7tフラッシュ		木33 両面合板2.7tフラッシュ	
ガラス	ランマ部FL2		F3												ランマ部F2	
金物	ドアクローザー 付属金物一式		付属金物一式		プラスチック引手		プラスチック引手		プラスチック引手		SUSレール SUS引手		SUS引手 プラスチックガラリ		付属金物一式	

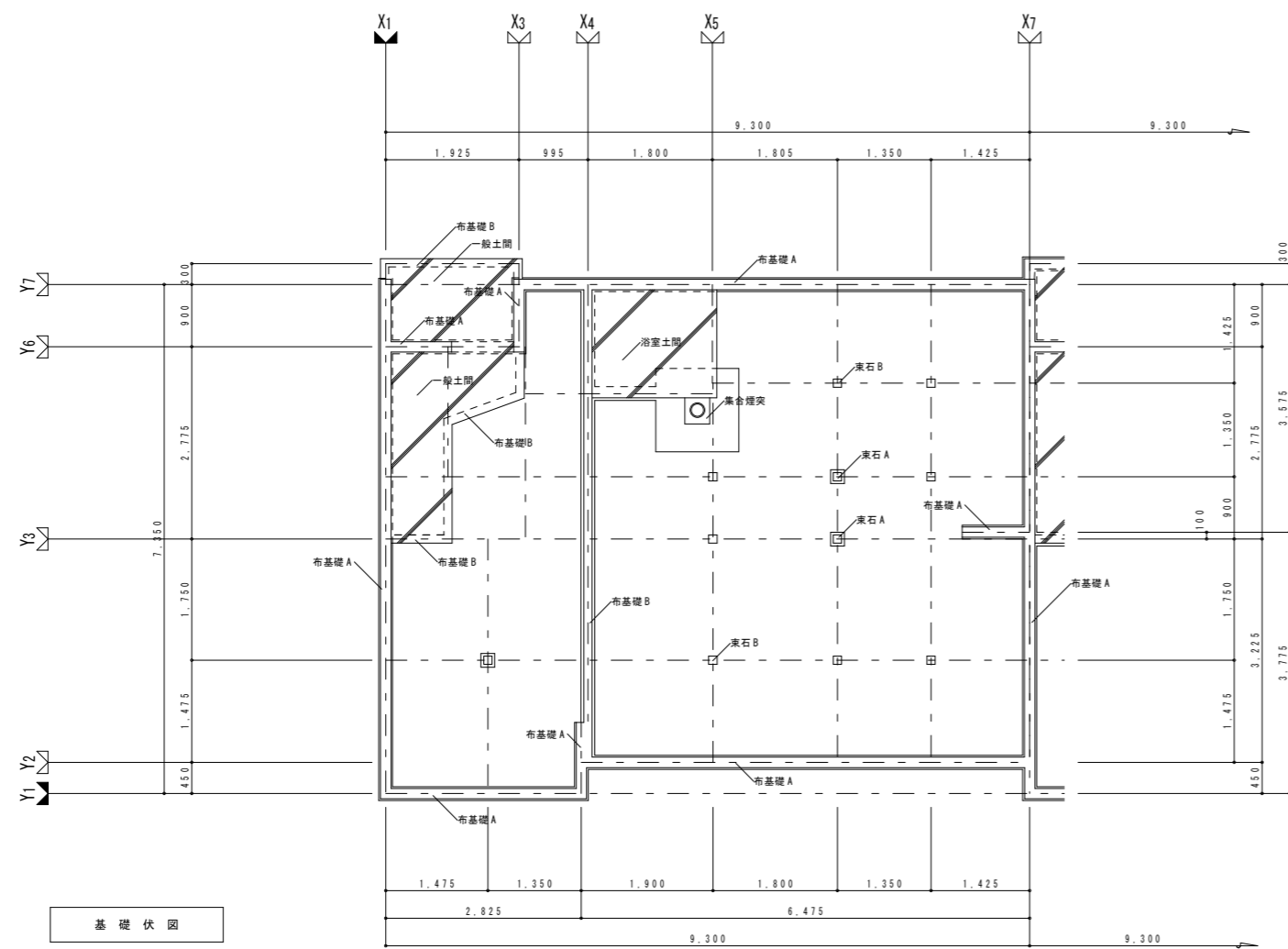
符号	⑦ W/D	1ヶ所	⑧ W/D	1ヶ所	① A/W	1ヶ所	② A/W	2ヶ所	③ A/W	1ヶ所	④ A/W	1ヶ所	⑤ A/W	2ヶ所	① W/W	1ヶ所
立面																
型式	木製両開き戸		木製片開き戸		アルミ引違い窓 (テラスタイプ)		アルミ引違い窓		アルミ引違い窓		アルミ引違い窓		アルミ引違い窓		アルミすべり出し窓	
材種見込	木33 両面合板2.7tフラッシュ		木33 両面合板2.7tフラッシュ		アルミ70		アルミ57		アルミ57		アルミ57		アルミ57		アルミ30	
ガラス			F2		FL2		FL2		FL2		FL2		FL2		上部FL2、下部F2	
金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

符号	② W/W	2ヶ所	③ W/W	1ヶ所	④ W/W	1ヶ所	⑤ W/W	2ヶ所
立面								
型式	木製引違い窓		木製引違い窓		木製引違い窓		木製すべり出し窓	
材種見込	木30		木30		木30		木30	
ガラス	FL2		FL2		F2		F2	
金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

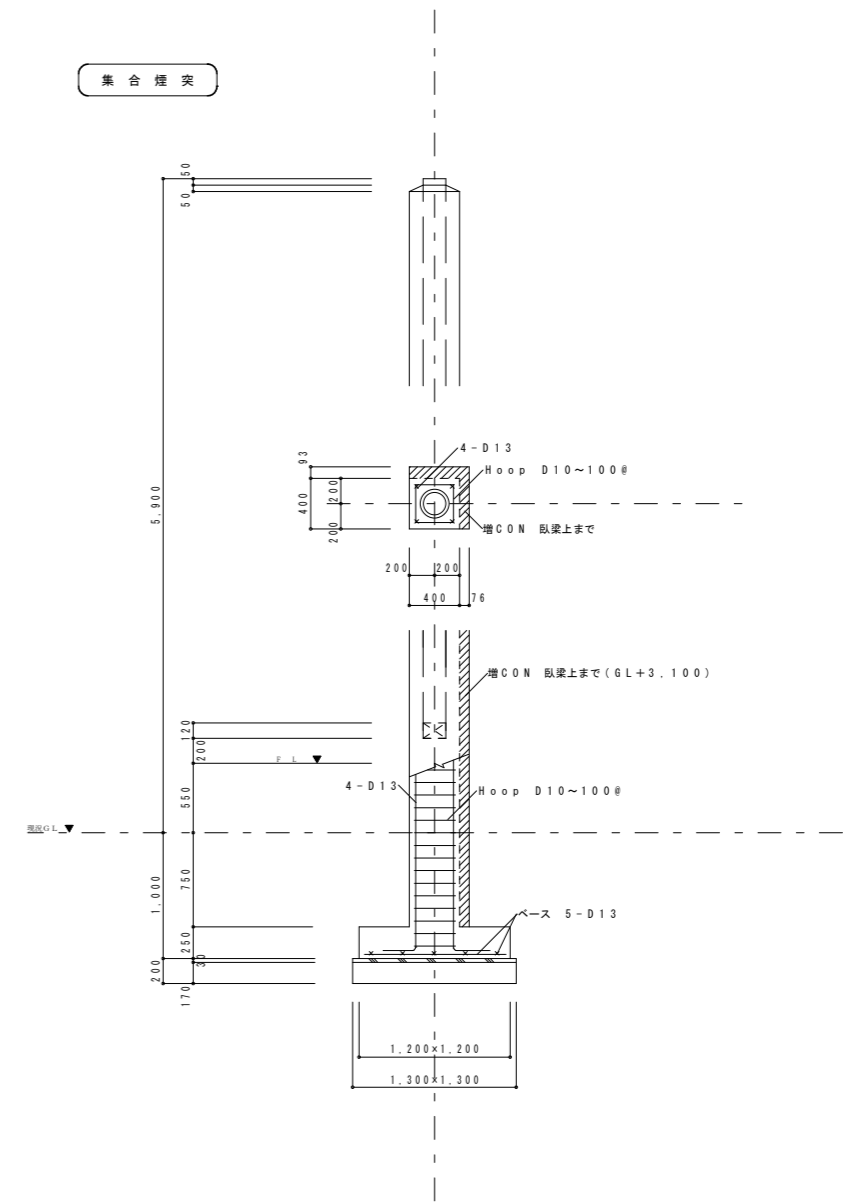


建具キープラン

**建具表**  
建具個数は1住戸分とする。

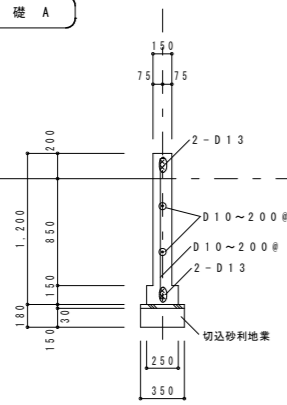


基礎伏図

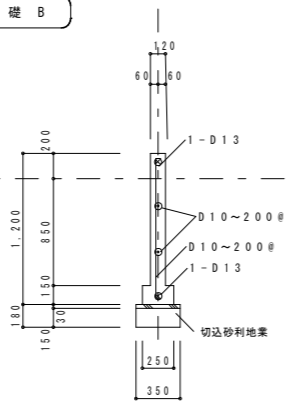


集合煙突

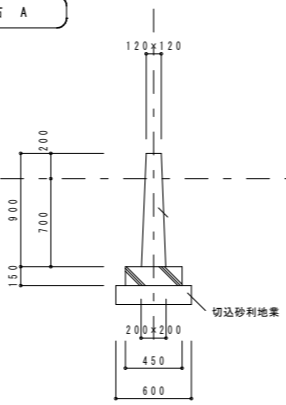
布基礎 A



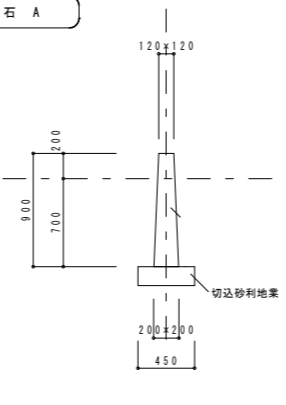
布基礎 B



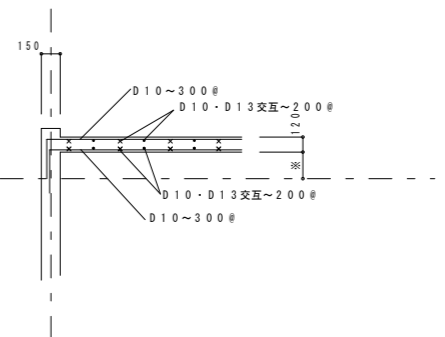
東石 A



東石 A

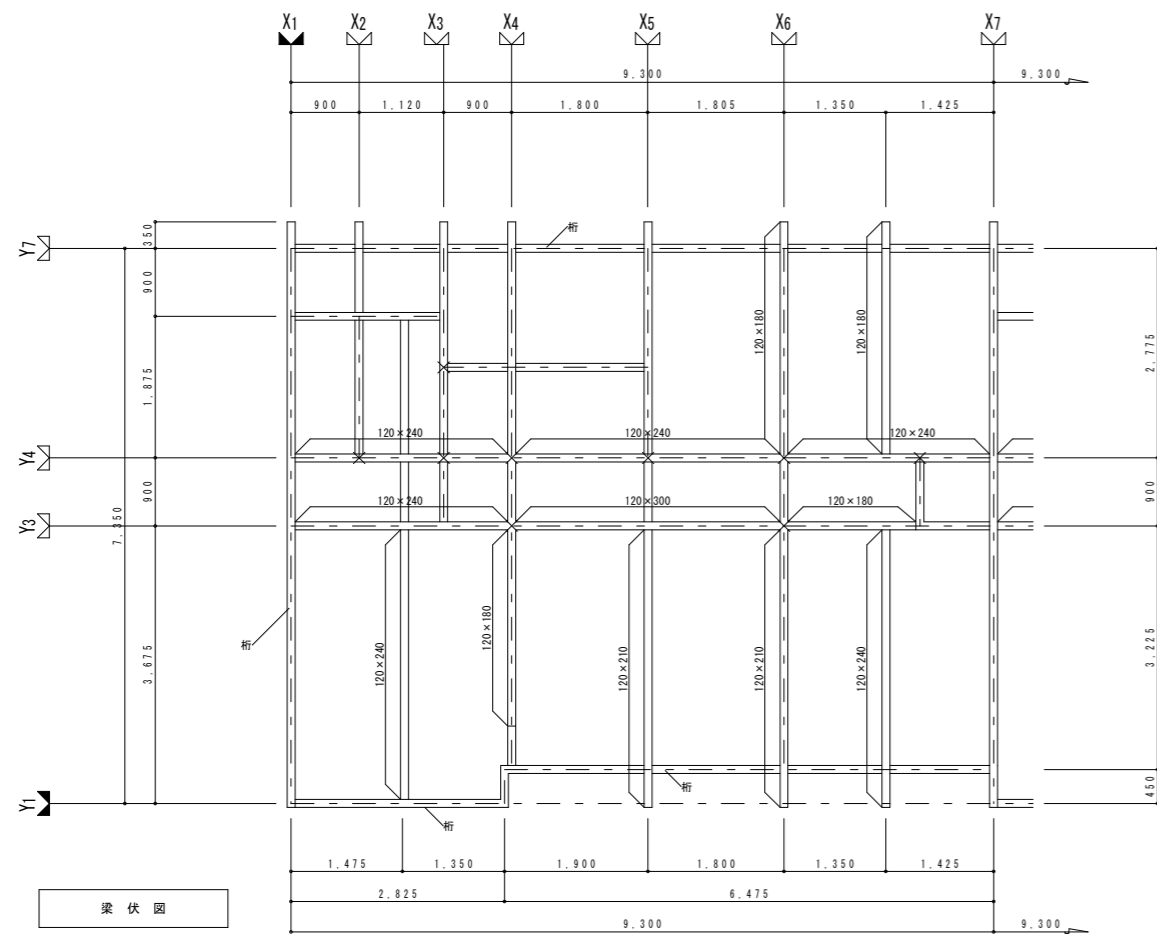


土間スラブ

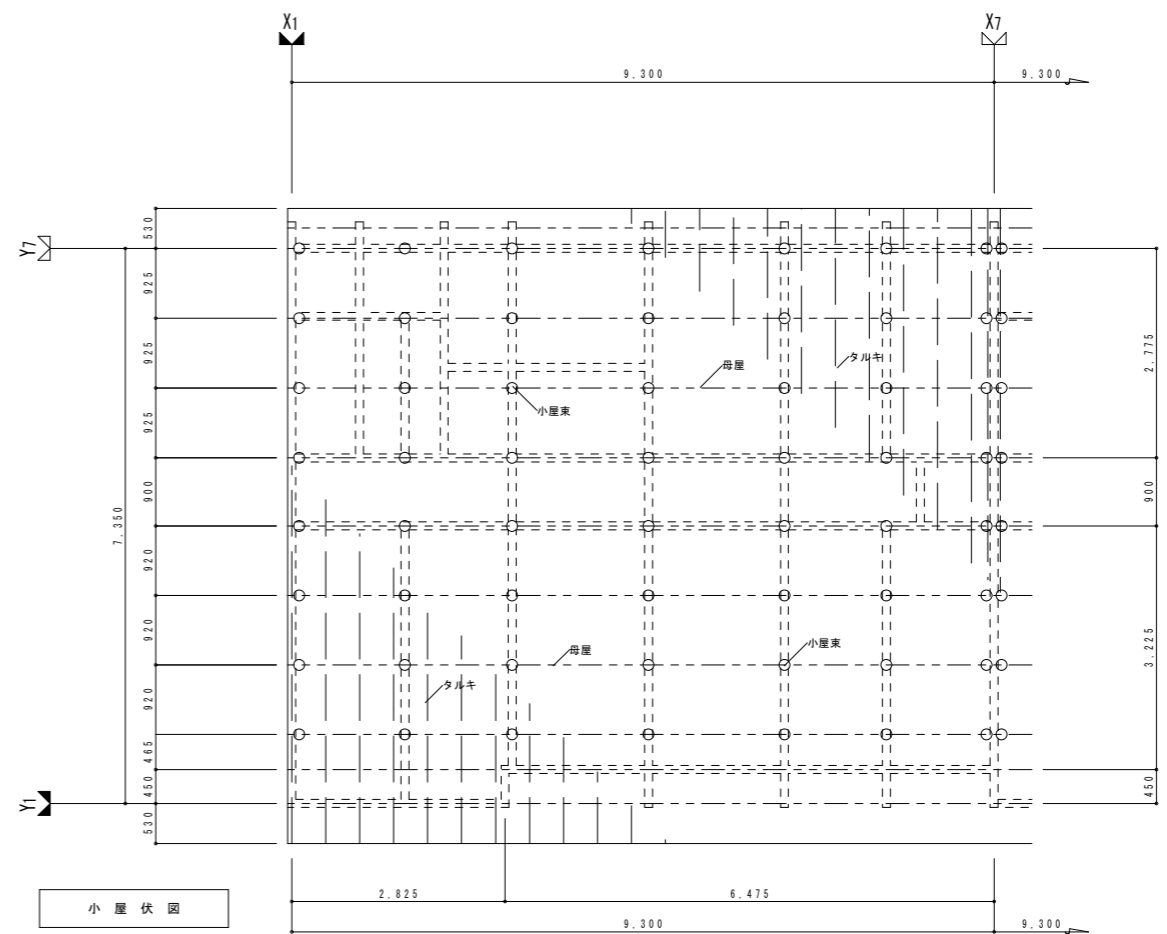


特記事項

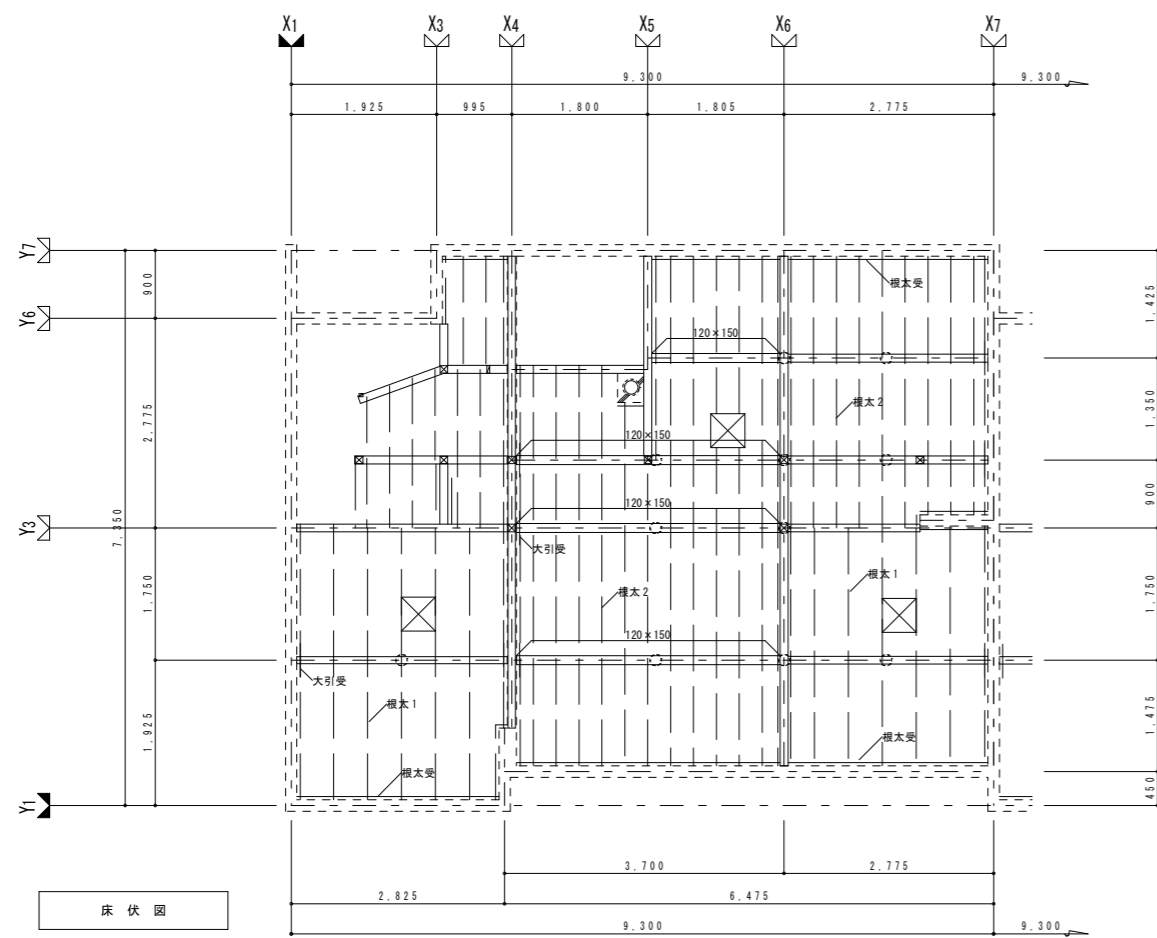
Mori 株式会社 MORI 建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東40番地 TEL ☎ 0155-22-1102 一級建築士事務所(十)登録第136号 一級建築士158671号 森 義 孝	工事名 大正団地簡易平屋除却工事 設計図	検 図	担 当	製 図
	図名 2戸長屋 基礎伏図・基礎図	縮 尺 A1: 1/50, 1/30 A3: 1/100, 1/60	日 付 2025年 11月	番 号 A — 20



梁伏図



小屋伏図



床伏図

部 材 リ ス ト

名称	部材サイズ
大引	寸法は図示による。 図示に無い大引は105×105
大引受	90×90
土台	90×90
根太1	タタミ下地 90×45~450@
根太2	フローリング・合板下地 90×45~300@
根太受	90×45
柱	100×100
半柱	100×45
小柱	60×45
梁	図示部材は梁とし、寸法は図示による。
桁	上記梁以外の部材は桁とする。 105×105
母屋	90×90
垂木	45×55~450@
束	90×90 位置は図示○とする。

特記事項



株式会社 Mori 建築設計室

帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL ☎ 0155-22-1102

一級建築士事務所(十)登録第136号  
一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名

大正団地簡易平屋除却工事

設計図

検図

担当

製図

図名

2戸長屋  
各伏図

縮尺

A1: 1/50  
A3: 1/100

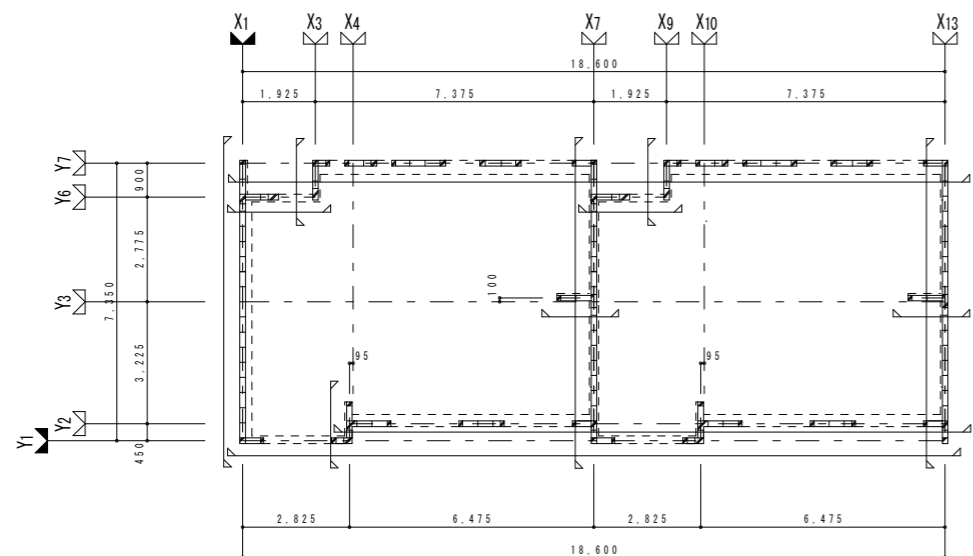
日付

2025年 11月

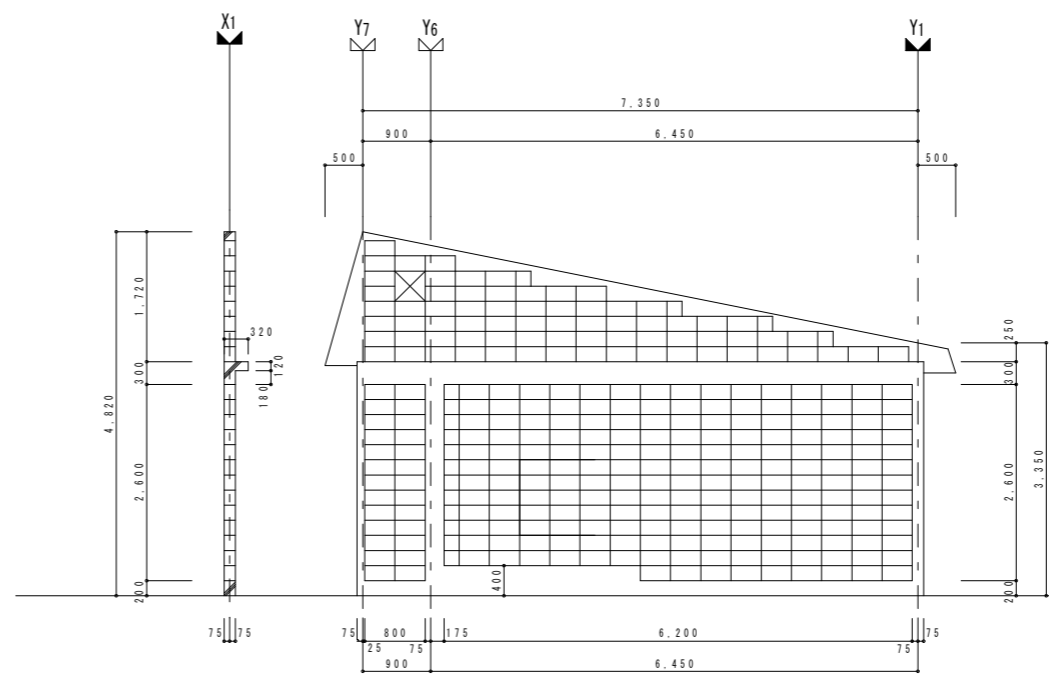
番号

A

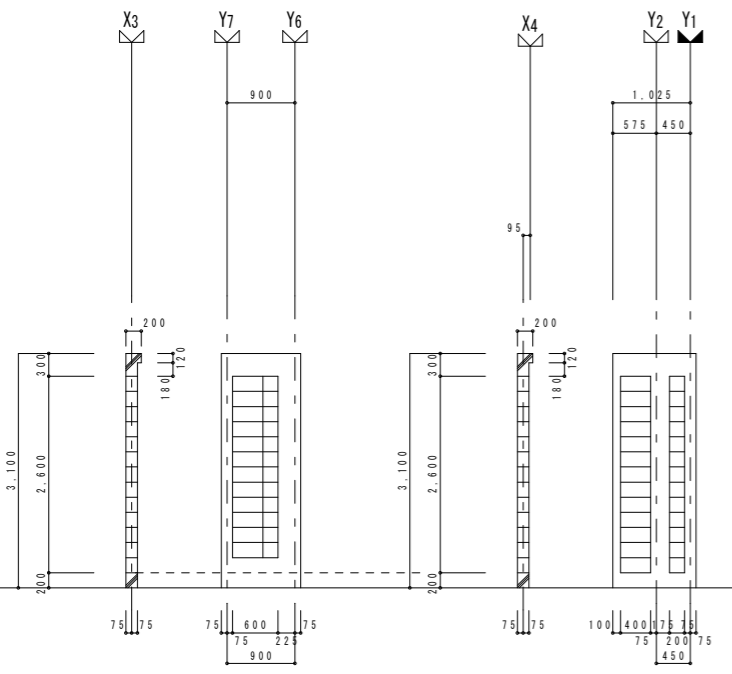
21



ブロック割りキープラン

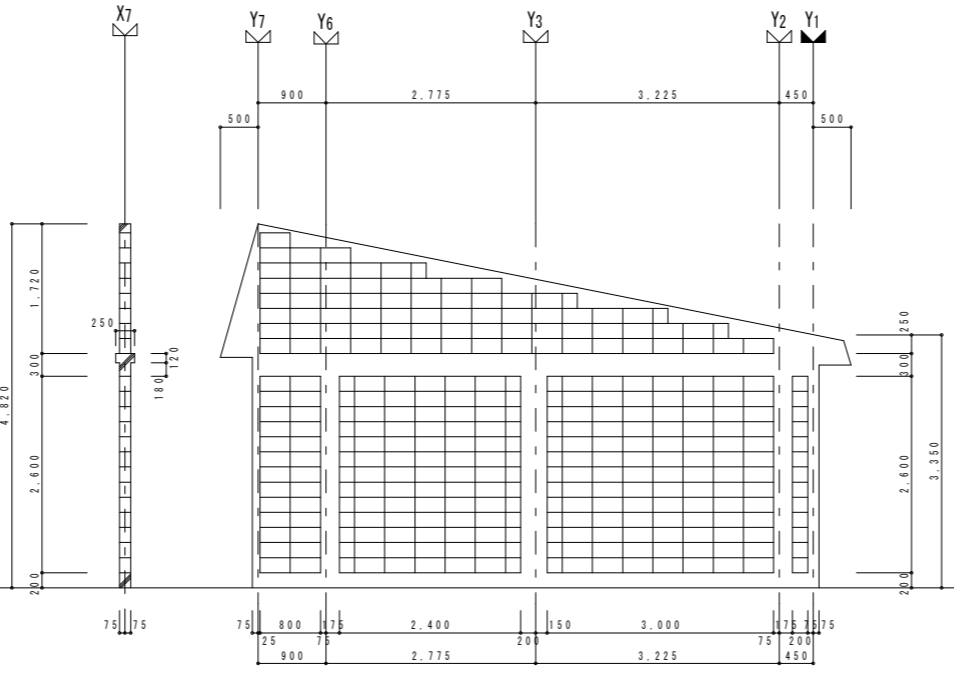


X 1 通り

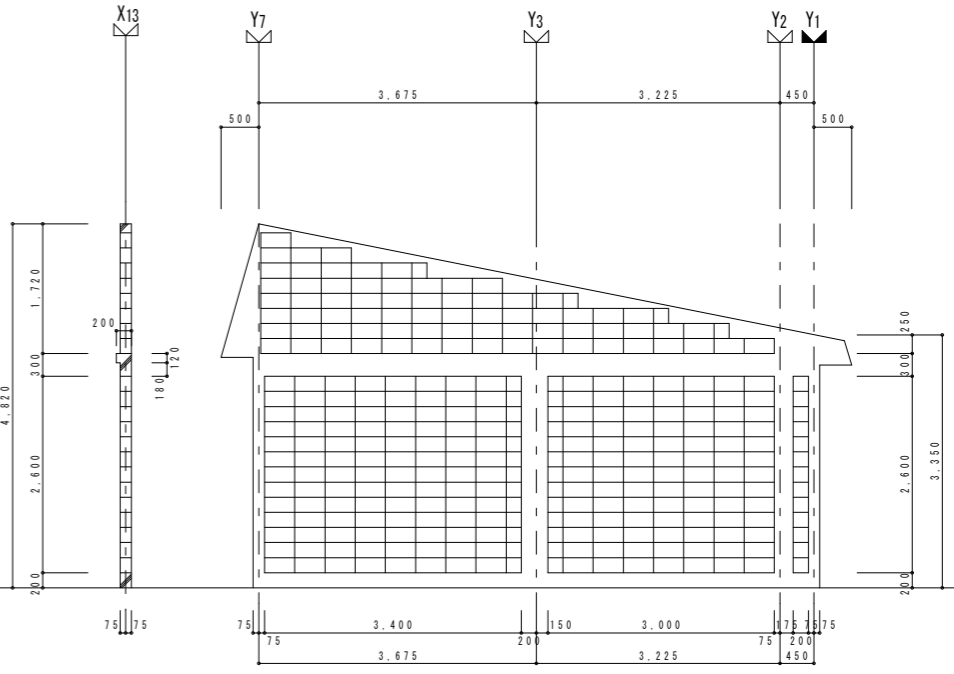


X 3 · X 9 通り

X 4 · X 1 0 通り




X 7 通り

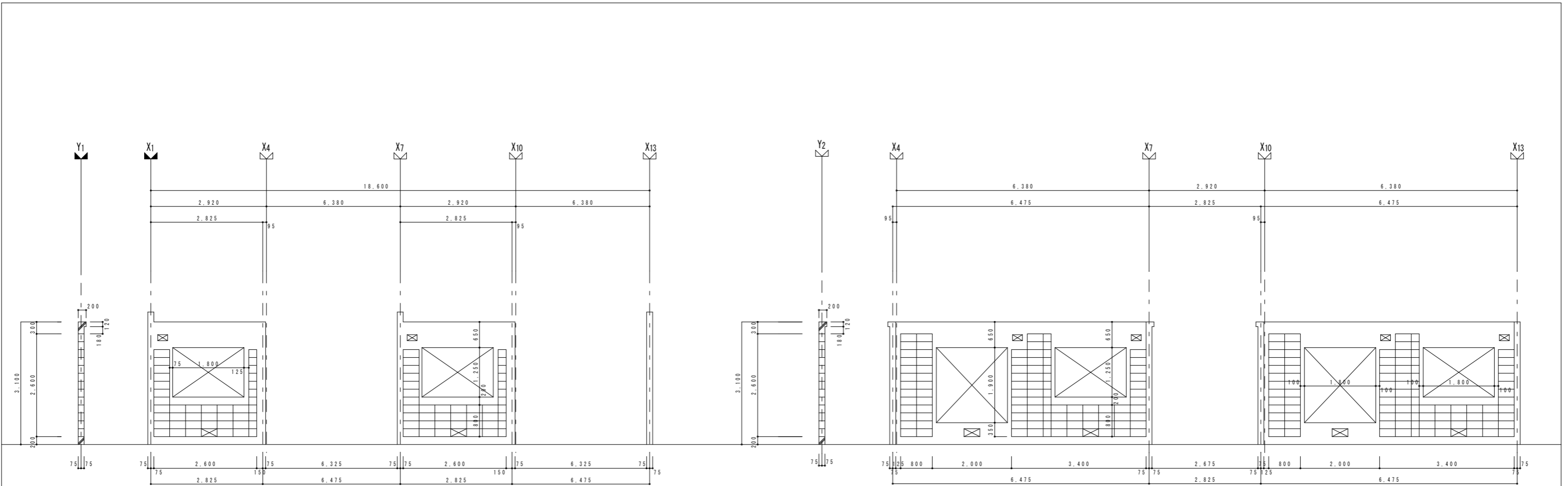


X 1 3 通り

特記事項

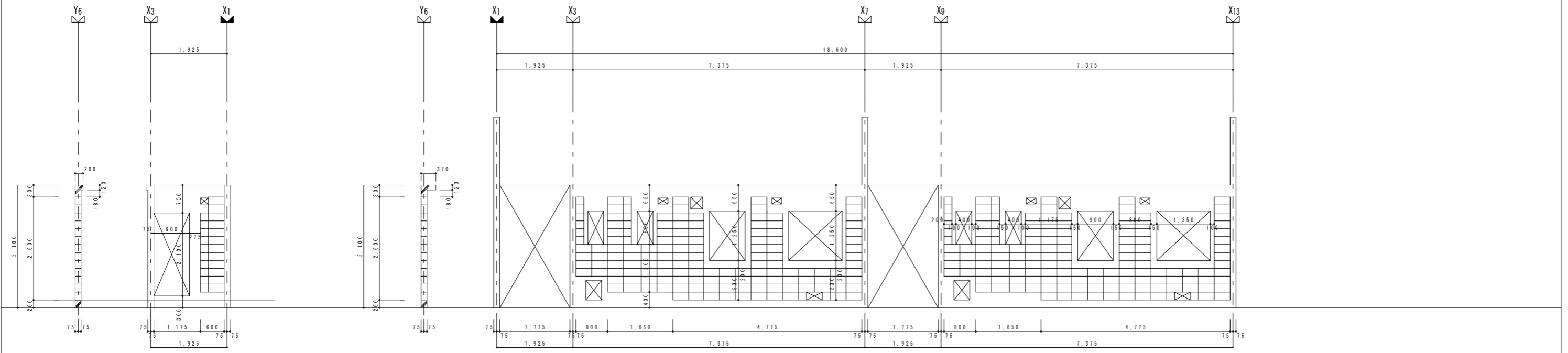

 株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事		設計図	換図	担当	製図
図名	2戸長屋 C B 割付図 1	縮尺	A1: 1/100, 1/50 A3: 1/200, 1/100	日付	2025年 11月	番号
						A — 22



Y 1 通り


Y 2 通り



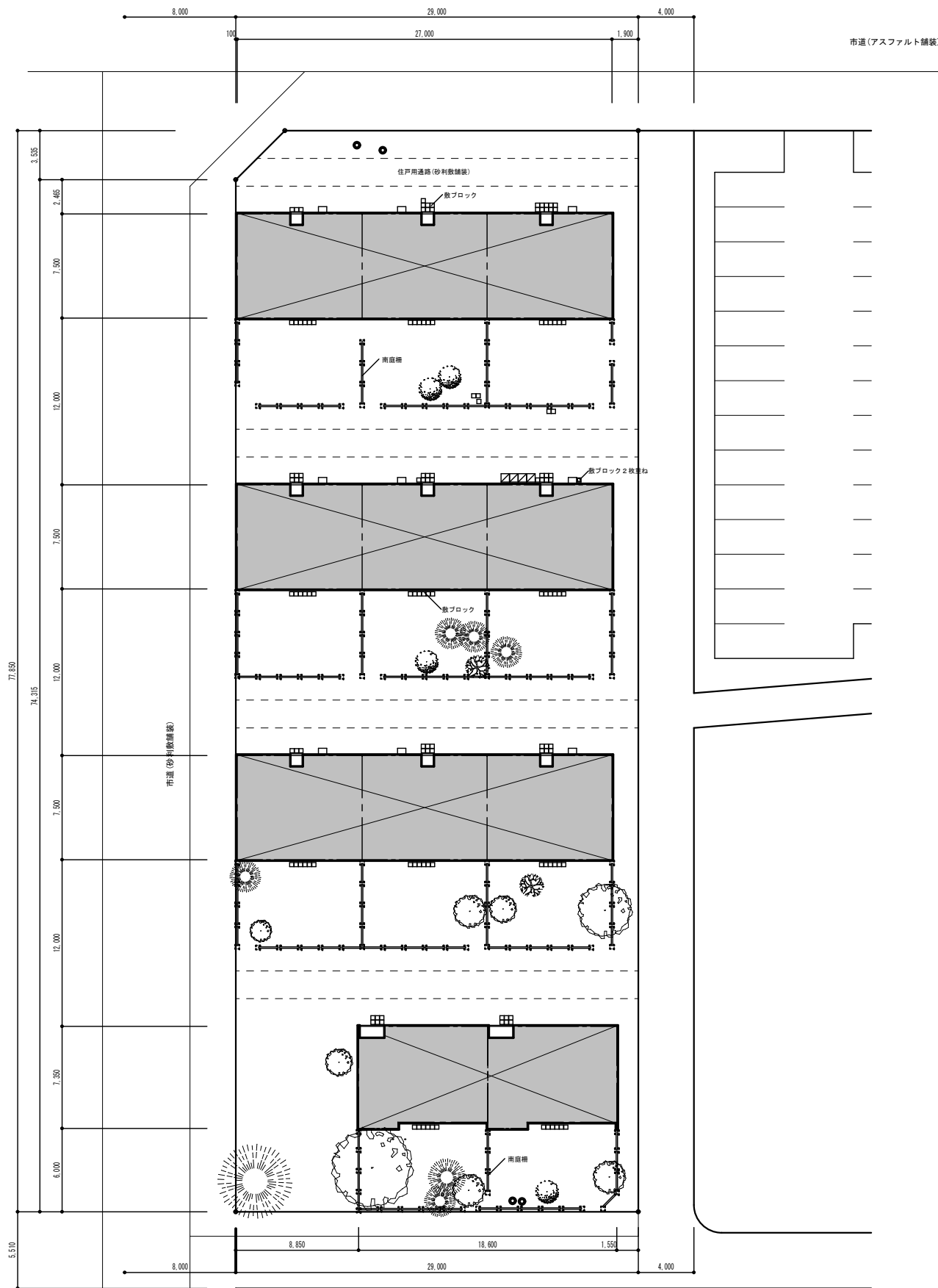
Y 6 通り

Y 7 通り

特記事項

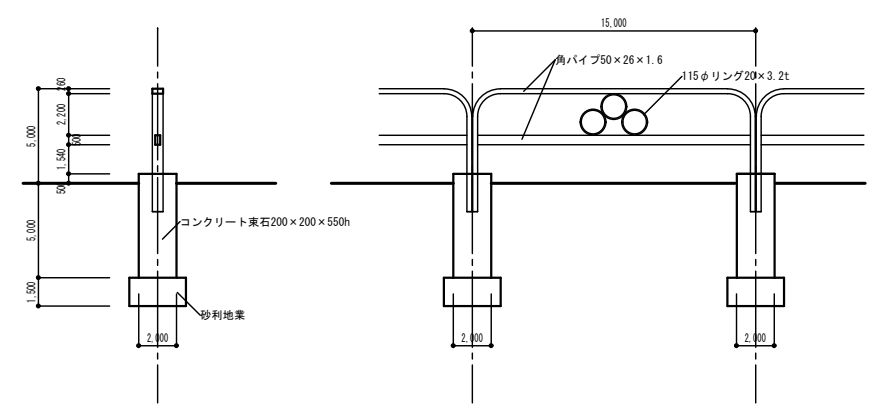

 株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事		設計図	検図	担当	製図
図名	2戸長屋 C-B割付図 2	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025年 11月	番号
						A — 23



外構撤去図

南庭柵



点在物撤去リスト

記号	点在物名仕様	数量
—	南庭柵【上記参照】	107台
□ - - □	南庭柵東石 無筋コンクリート製200×200×500h	128個
□	敷ブロック 無筋コンクリート平板 300×300×60h	133個
□	敷ブロック 無筋コンクリート平板 450×450×60h	2個
□	敷ブロック 無筋コンクリート平板 600×600×60h	4個

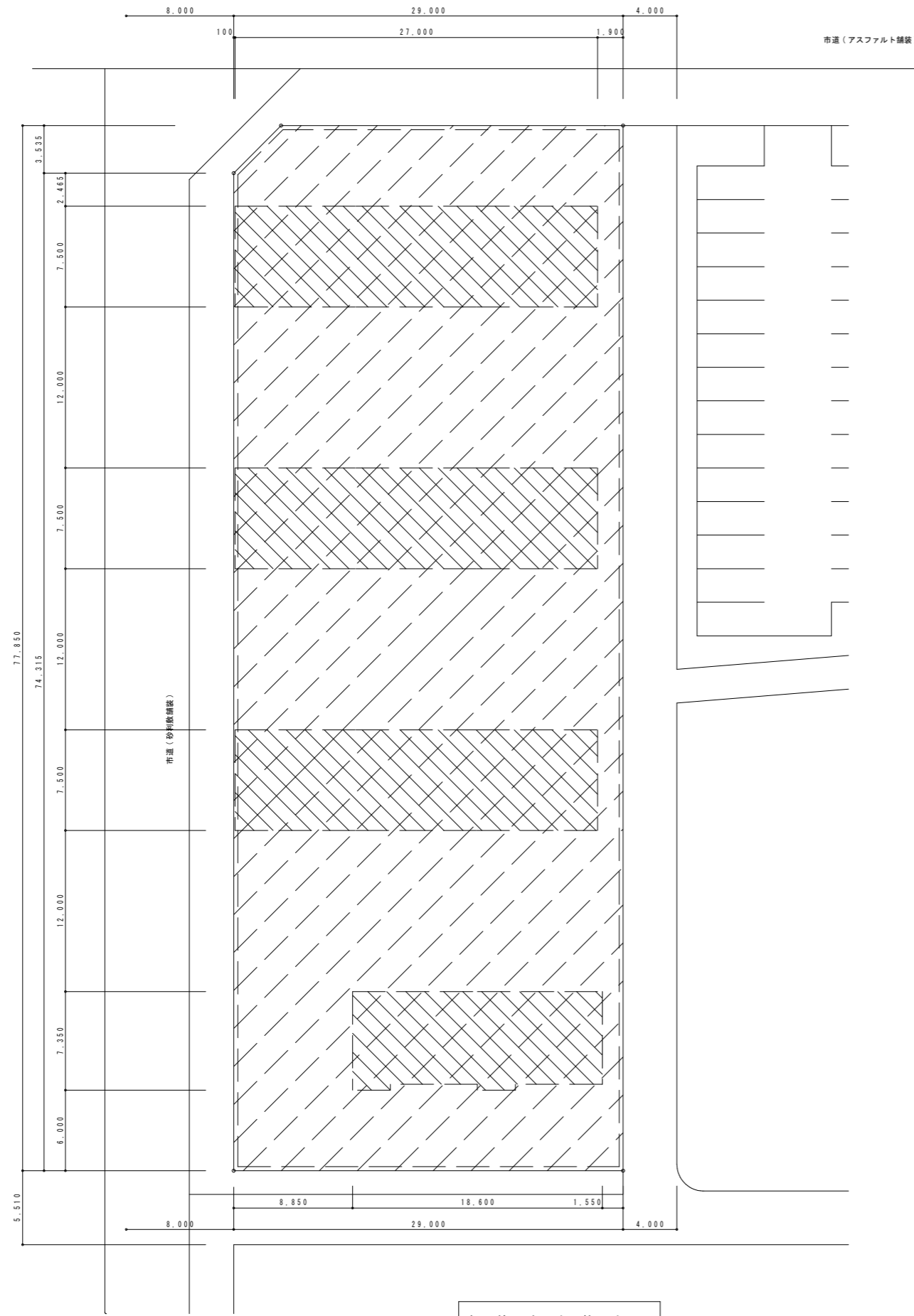
伐採・抜根樹木リスト

記号	樹種	末口	本数
●	針葉樹	350φ	1本
●	針葉樹	100φ ~ 150φ	6本
●	広葉樹	450φ	1本
●	広葉樹	250φ ~ 300φ	3本
●	広葉樹	100φ ~ 200φ	5本
●	低木 (ツツジ)	30φ程度寄せ植え	4株
●	低木 (シヤクナゲ)	80φ ~ 150φ	2本
◎	抜根のみ	250φ ~ 300φ	4ヶ所

特記事項

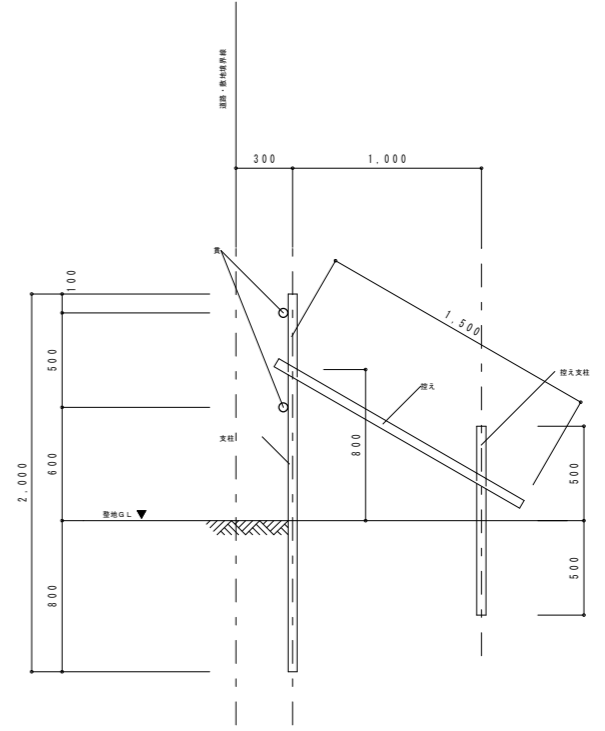
株式会社 Mori 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL (代) (0155)-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 工事名  
 図名 敷地内障害物撤去図  
 縮尺 A1: 1/200, 1/20  
 A3: 1/400, 1/40  
 日付 2025年 11月  
 検図 番号  
 担当 A  
 製図 24



解体跡地整地図

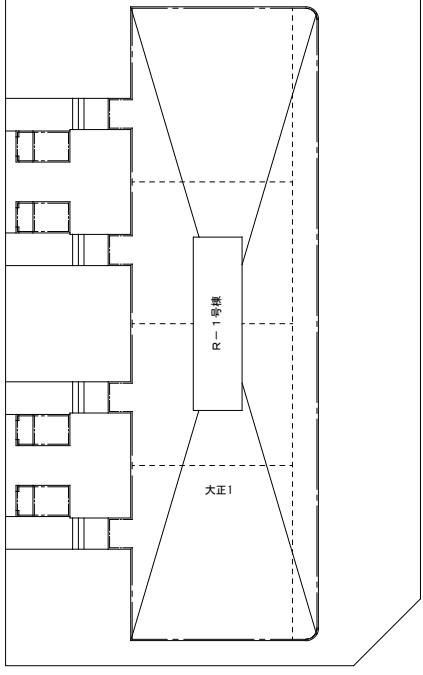
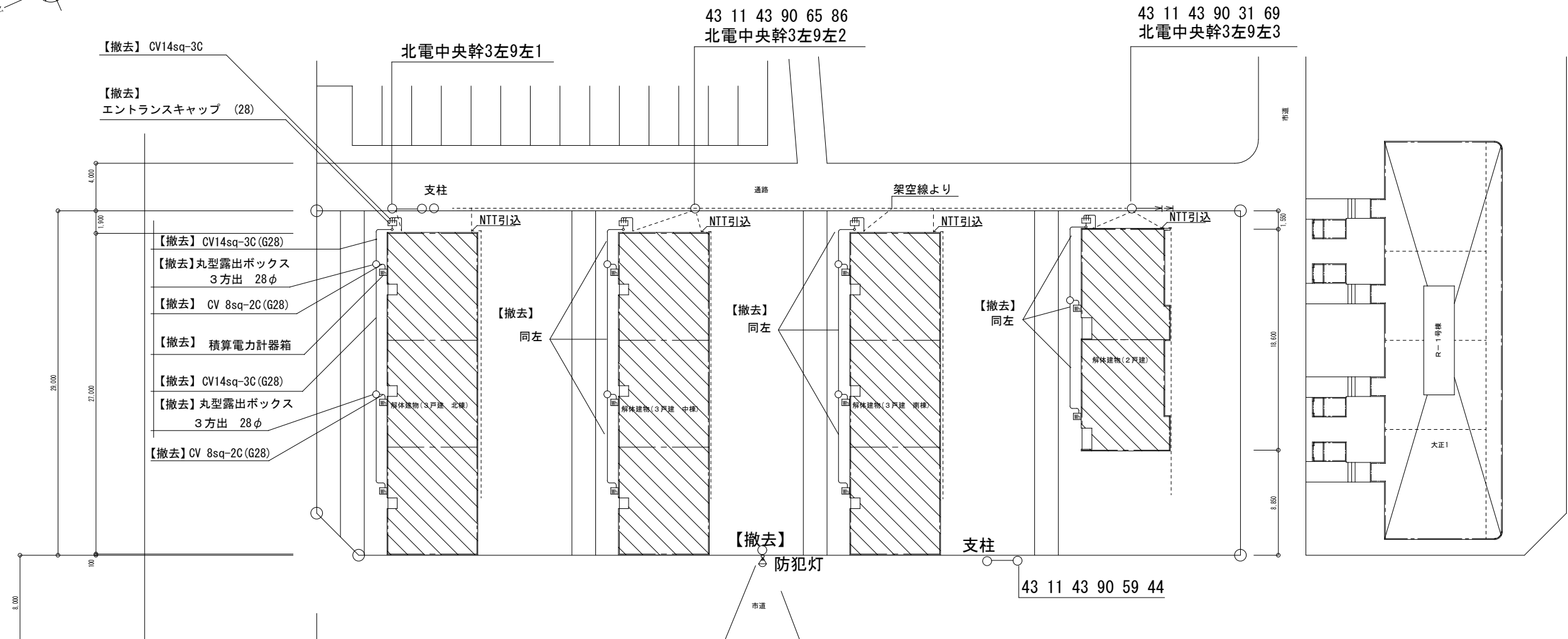
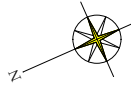
防護柵
単管 48.6φ
支柱 1.000φ
貫 2段
控え 3.000φ
キャップ・カバー付



解体工事終了後に防護柵を、敷地境界線内側30cmに設置する。

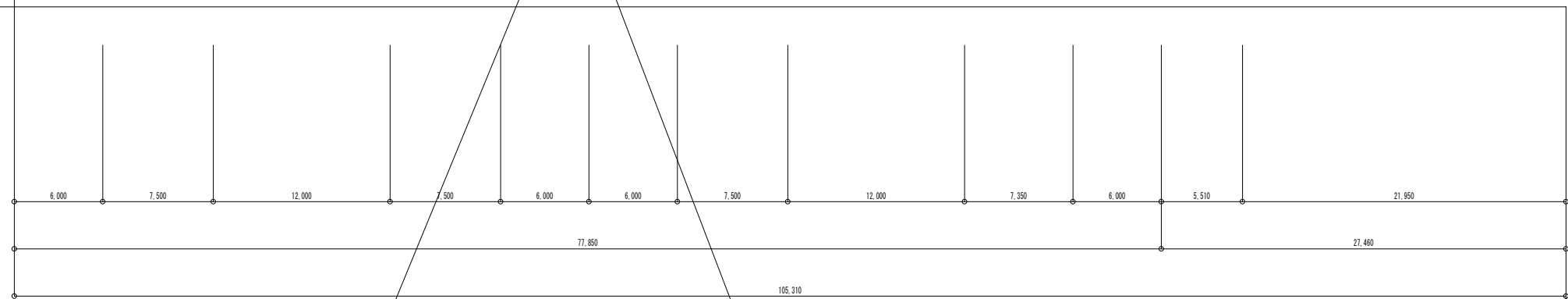
防護柵詳細図

名称・凡例	仕様・内容等	所要数量	
全敷地盛り土・整地	敷地全体の不陸整正後、平均100t切込砂利敷き込み整地 2251.4㎡	225.14m <sup>3</sup>	土量合計 330.20m <sup>3</sup>
建物基礎跡埋戻し	3戸長屋 GL下の撤去コンクリート類 28.3m <sup>3</sup> × 3 = 84.9M <sup>3</sup> 2戸長屋 GL下の撤去コンクリート類 17.6m <sup>3</sup> × 1 = 17.6M <sup>3</sup>	102.50m <sup>3</sup>	
南庭柵等点在物基礎跡	2.56m <sup>3</sup>	2.56m <sup>3</sup>	
防護柵囲い	図示		209.3m



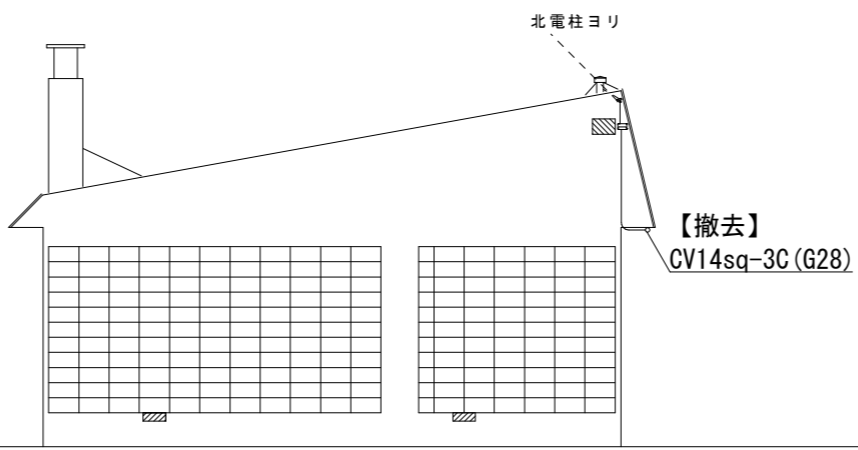
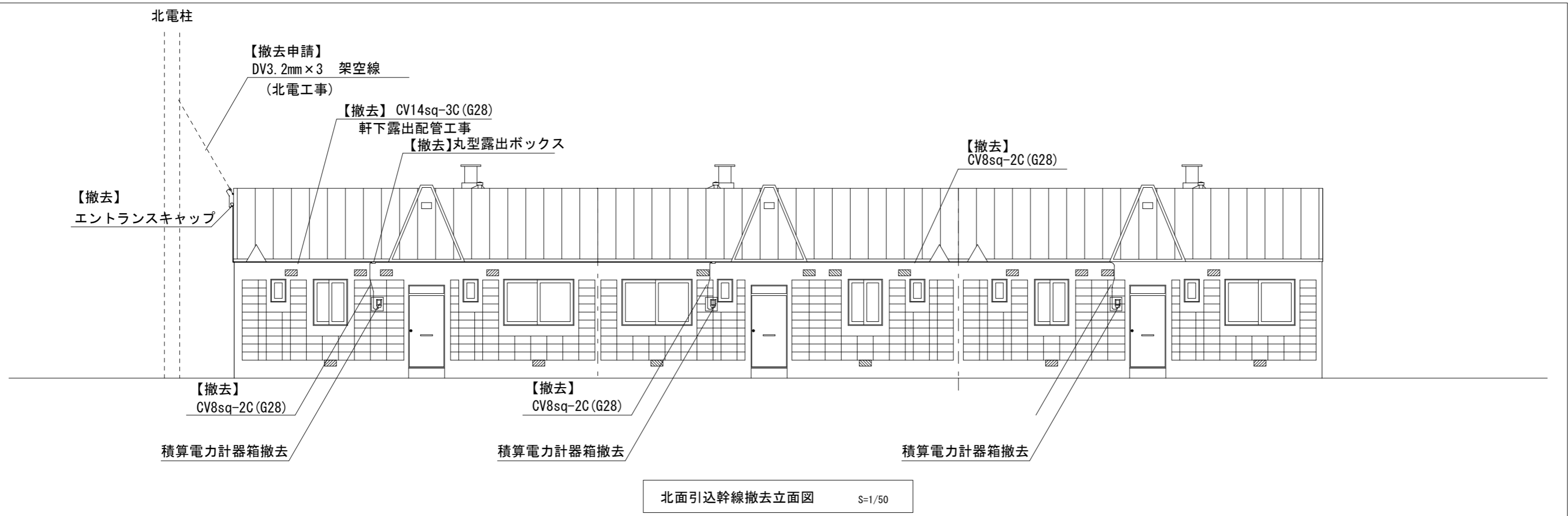
引込幹線撤去図 S=1/200

1. 北電柱より引込点までは北電工事にて撤去申請をする。
2. 電柱より外部露出配線のNTT引込線は保安器を含めNTT工事とする。



【撤去】  
コンクリートポール  
A型 22cm-14m-10kN

【取外し】再使用する  
防犯灯 NH40W×1  
近隣電柱へ再取付



特記事項



株式会社 Mori 建築設計室

帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL ☎ 0155-22-1102

一級建築士事務所(十)登録第136号  
一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名

大正団地簡易平屋除却工事

設計図

検図

担当

製図

図名

3戸長屋  
引込幹線撤去立面図

縮尺

A1: 1/50  
A3: 1/100

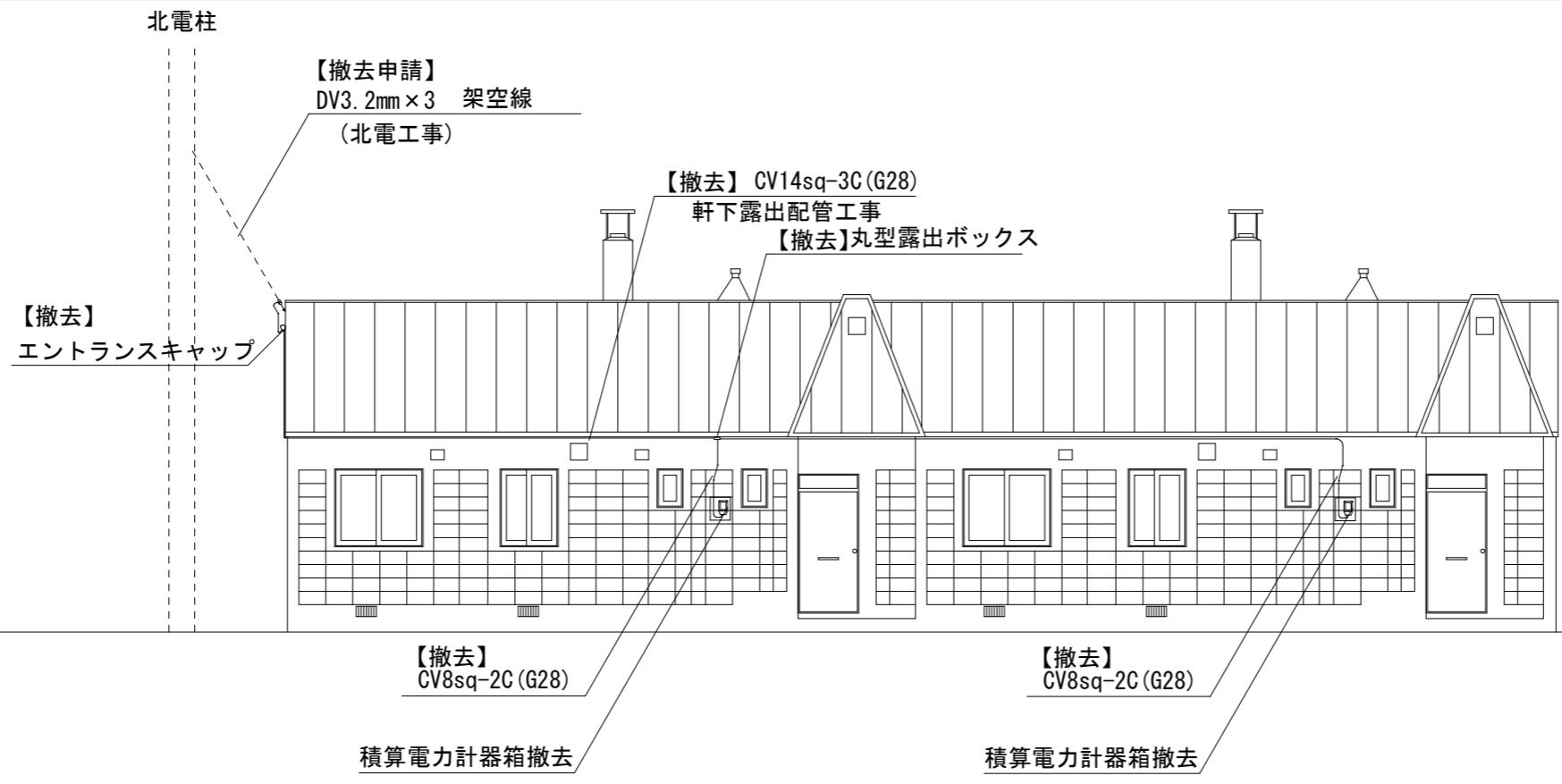
日付

2025年 11月

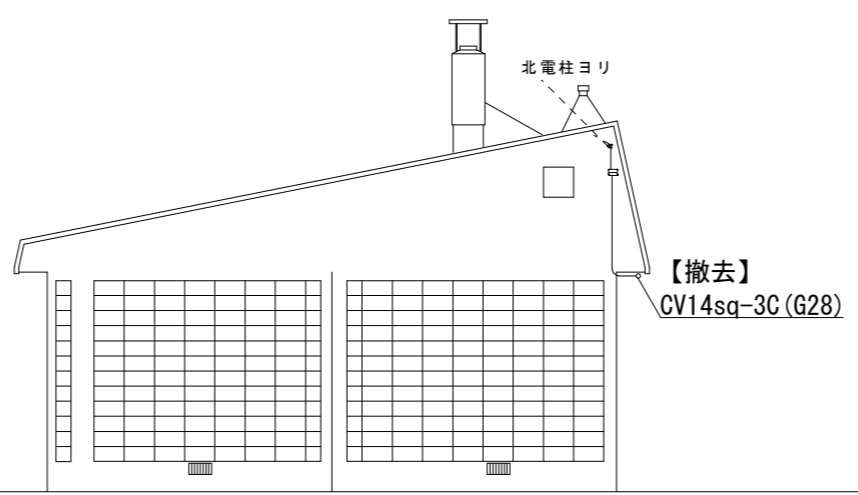
番号

E

02

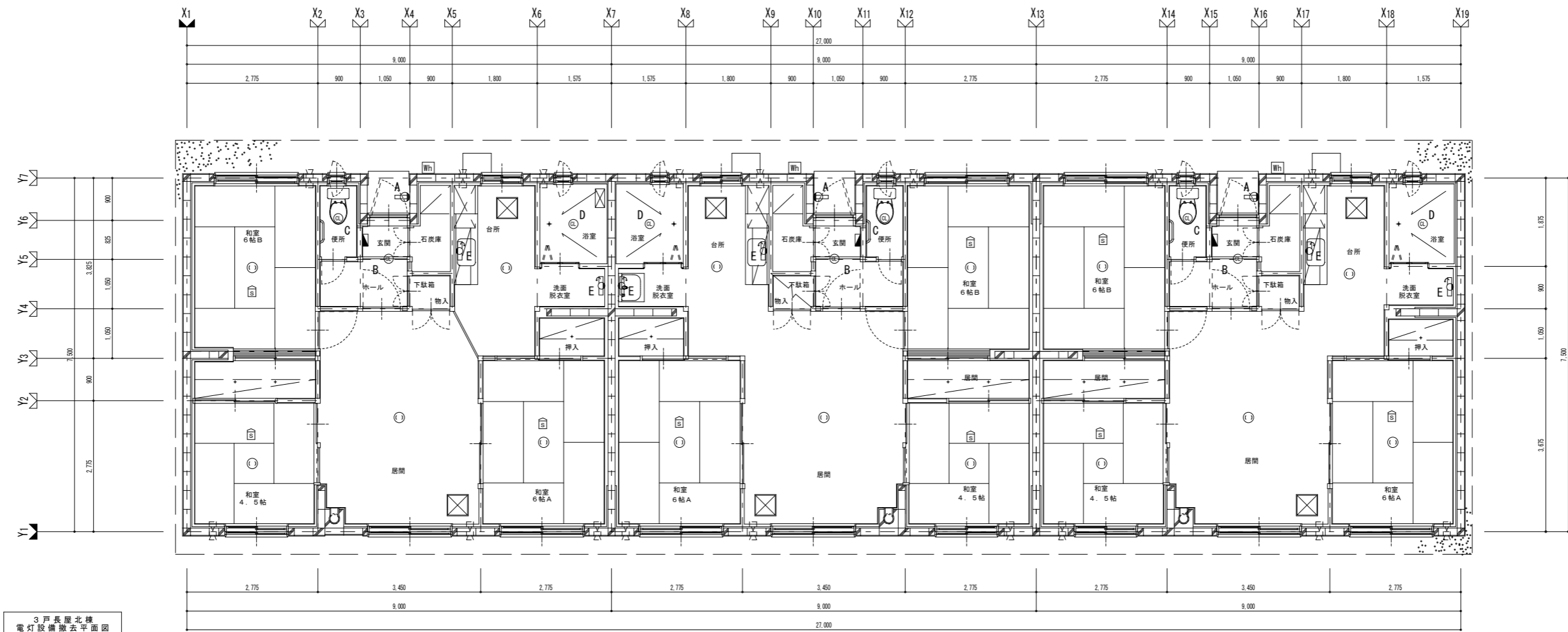
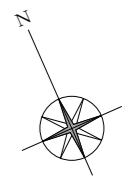


北面引込点幹線撤去立面図 S=1/50



東面引込点幹線撤去立面図 S=1/50

特記事項	Mori 株式会社 MORI 建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東40番地 TEL ☎ 0155-22-1102 一級建築士事務所(十)登録第136号 一級建築士第158671号 森 義 孝	工事名	大正団地簡易平屋除却工事 設計図		検図	担	製
		図名	2戸長屋 引込幹線撤去立面図	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025年 11月



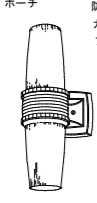

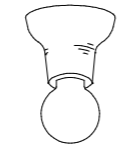

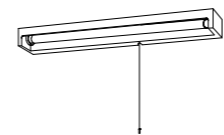
3 戸長屋北棟  
電灯設備撤去平面図

室番号 49 電灯設備撤去図

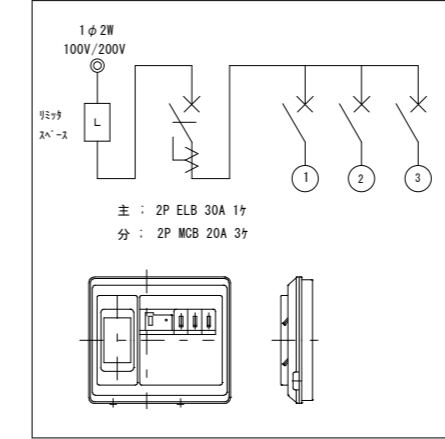
室番号 48 電灯設備撤去図

室番号 47 電灯設備撤去図

撤去照明器具

A	B	C	D	E
FL15W×1 ブラケット	IL60W×1シーリングライト	IL60W×1シーリングライト	IL60W×1シーリングライト	FL15W×1 キッチンライト
ポーチ 防雨型 カバー：アクリル（透明） プラスチック（グレー）	玄関ホール	便所	浴室	台所・洗面脱衣室
				
W=115・H=495・出しろ160				壁面・棚下兼用取付型 セード：プラスチック（オフホワイト）

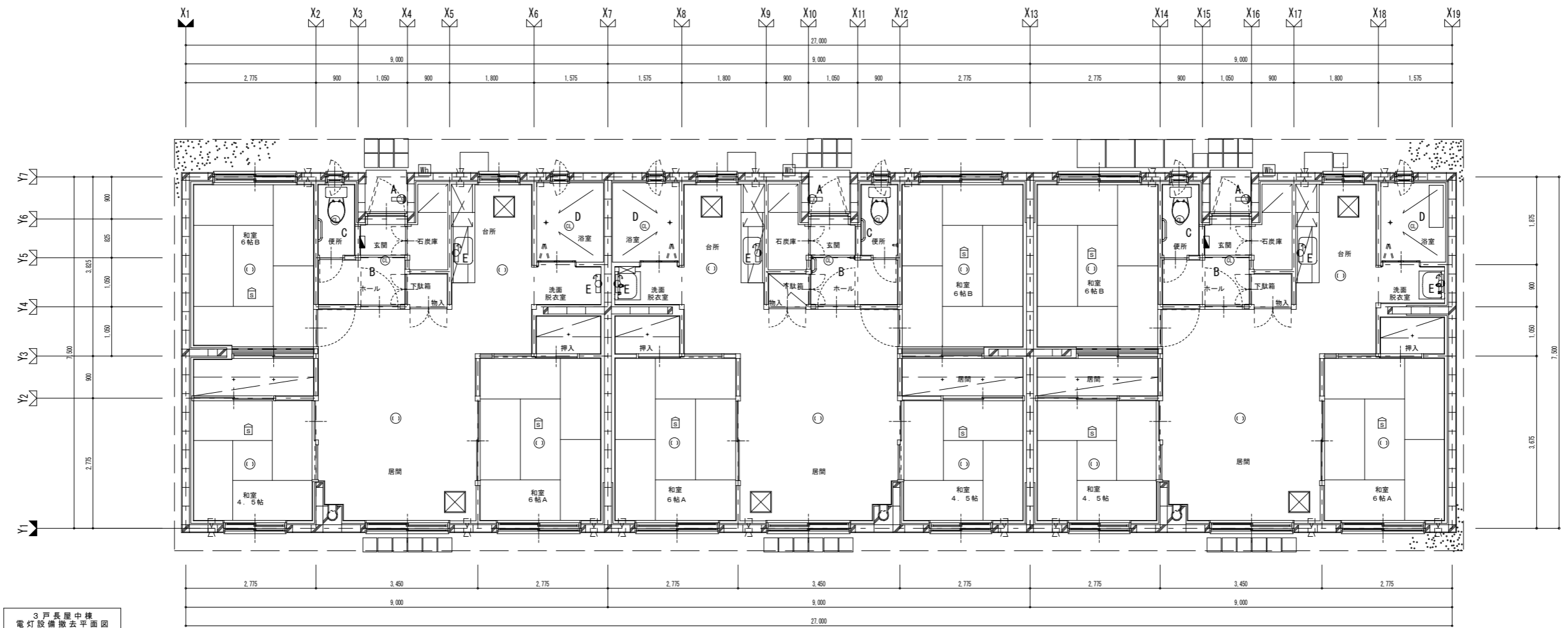
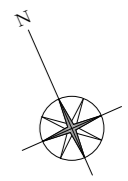
撤去ホーム分電盤



電灯分電盤 プラスチック製・露出型

撤去機器凡例

記号	仕様
Wh	積算電力計器箱 電力会社へ返納
■	ホーム分電盤 2P30A 100V 主幹 2P ELB30A 2P MCB 20A×3
⊙ B, C, D	シーリングライト 白熱灯 シーリングライト
E	キッチンライト 蛍光灯 15W
A	ポーチライト 蛍光灯 15W
⊙	引掛けシーリング 露出 丸形
S	住宅用火災警報器 露出 電池式 けむり感知



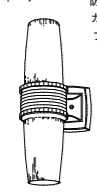
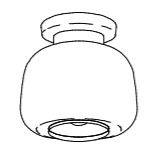
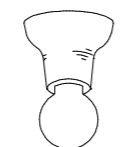
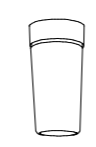
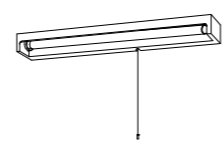
3戸長屋中棟  
電灯設備撤去平面図

室番号49 電灯設備撤去図

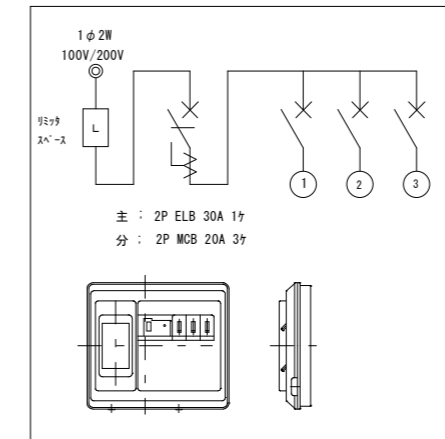
室番号48 電灯設備撤去図

室番号47 電灯設備撤去図

撤去照明器具

A	B	C	D	E
FL15W×1 ブラケット	IL60W×1シーリングライト	IL60W×1シーリングライト	IL60W×1シーリングライト	FL15W×1 キッチンライト
ポーチ 防雨型 カバー：アクリル（透明） プラスチック（グレー）	玄関ホール	便所	浴室	台所・洗面脱衣室
				
W=115・H=495・出し3160				壁面・棚下取付型 セード：プラスチック（オフホワイト）

撤去ホーム分電盤



電灯分電盤 プラスチック製・露出型

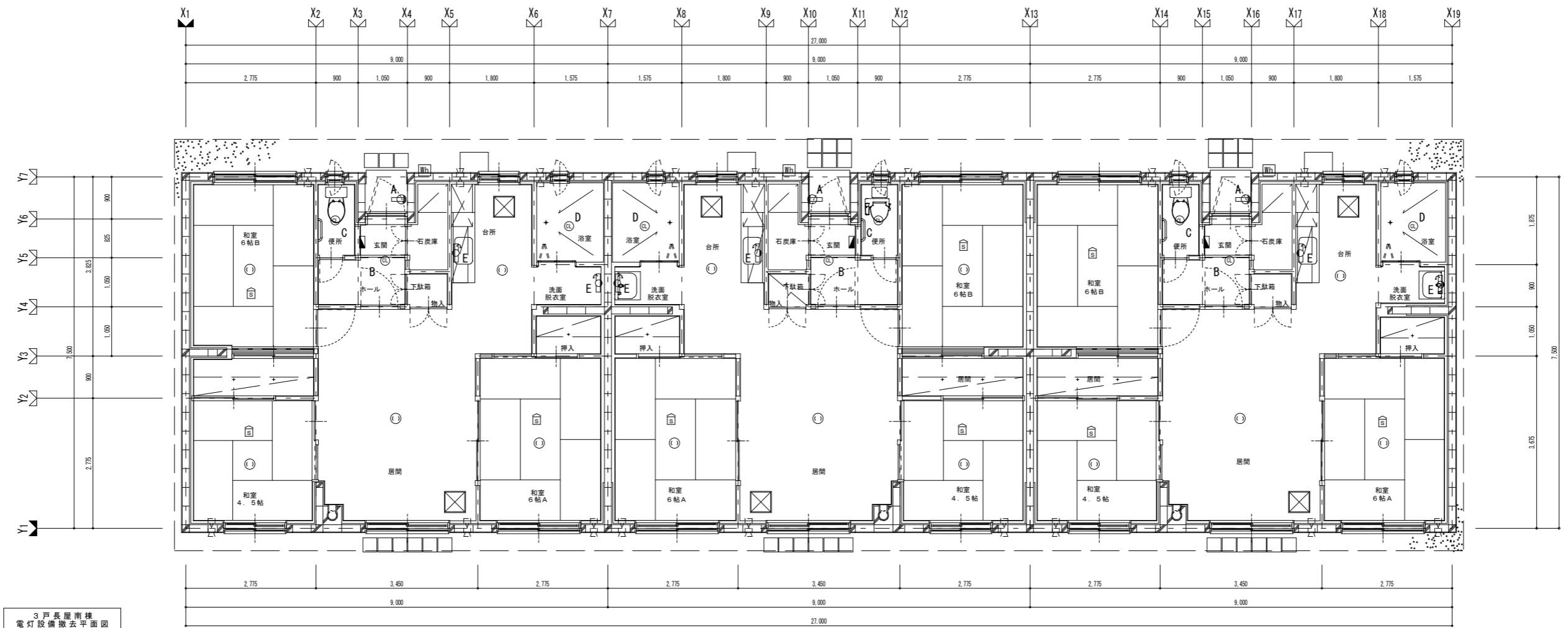
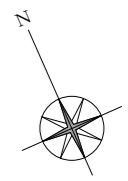
撤去機器凡例

記号	仕様
Wh	積算電力計器箱 電力会社へ返納
■	ホーム分電盤 2P30A 100V 主幹 2P ELCB30A 2P MCB 20A×3
⊙ B, C, D	シーリングライト 白熱灯 シーリングライト
⊙ E	キッチンライト 蛍光灯 15W
⊙ A	ポーチライト 蛍光灯 15W
⊙	引掛けシーリング 露出 丸形
⊙	住宅用火災警報器 露出 電池式 けむり感知

特記事項

**Mori** ARCHITECT OFFICE 株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義孝

大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 3戸長屋 中棟 電灯設備撤去平面図  
 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 日付 2025年 11月  
 図名 番号 E-05



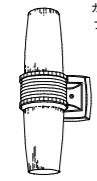

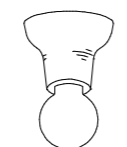
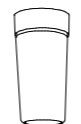
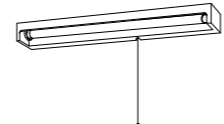
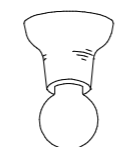
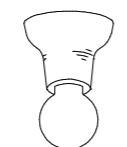
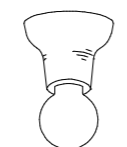
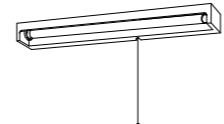
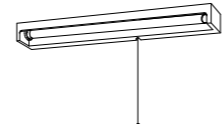
3 戸長屋南棟  
電灯設備撤去平面図

室番号 4 9 電灯設備撤去図

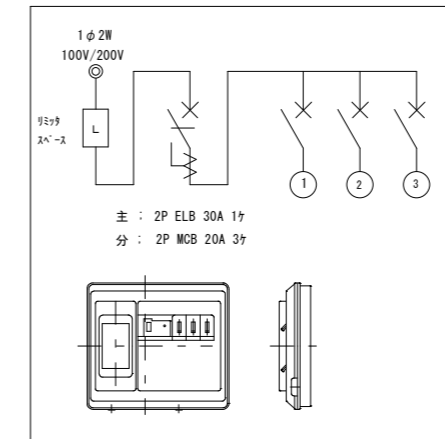
室番号 4 8 電灯設備撤去図

室番号 4 7 電灯設備撤去図

撤去照明器具

A	FL15W×1 ブラケット	B	IL60W×1シーリングライト	C	IL60W×1シーリングライト	D	IL60W×1シーリングライト	E	FL15W×1 キッチンライト
ポーチ 防雨型 カバー：アクリル（透明） プラスチック（グレー）	玄関ホール	便所	浴室	洗面脱衣室	洗面脱衣室	洗面脱衣室	洗面脱衣室	洗面脱衣室	洗面脱衣室
									
W=115・H=495・出し3160								壁面・棚下兼用取付型 セード：プラスチック（オフホワイト）	

撤去ホーム分電盤



電灯分電盤 プラスチック製・露出型

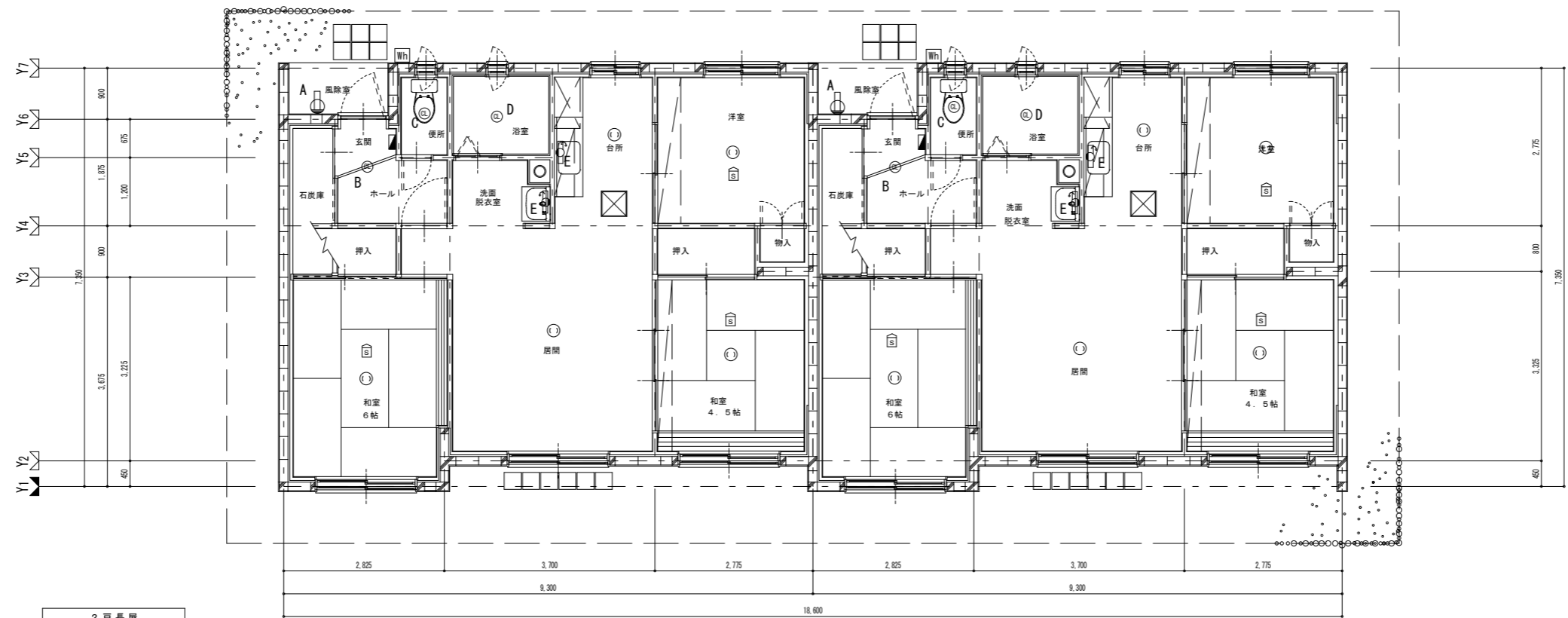
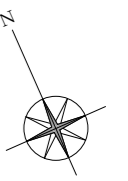
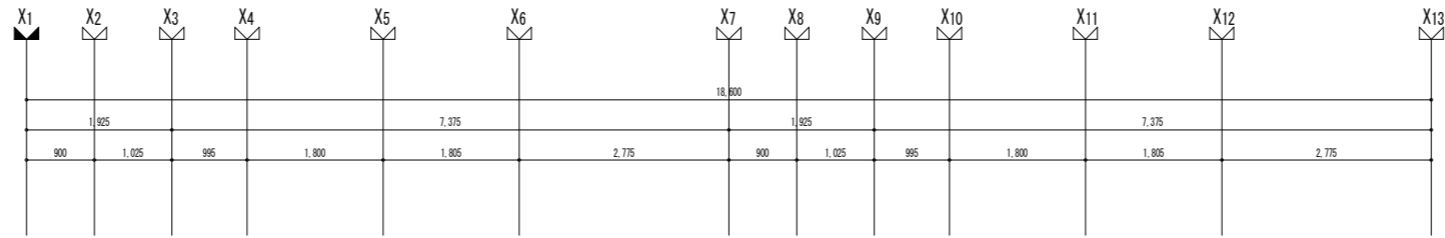
撤去機器凡例

記号	仕様
Wh	積算電力計器箱 電力会社へ返納
■	ホーム分電盤 2P30A 100V 主幹 2P ELCB30A 2P MCB 20A×3
⊙ B, C, D	シーリングライト 白熱灯 シーリングライト
E	キッチンライト 蛍光灯 15W
A	ポーチライト 蛍光灯 15W
○	引掛けシーリング 露出 丸形
⊞	住宅用火災警報器 露出 電池式 けむり感知

特記事項

**Mori** ARCHITECT OFFICE 株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL ☎ 0155-22-1102  
 一級建築士事務所(十)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義孝

大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 3 戸長屋 南棟 電灯設備撤去平面図  
 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 日付 2025 年 11 月  
 図名 3 戸長屋 南棟 電灯設備撤去平面図  
 検図 担 当 製 図  
 番号 E — 06

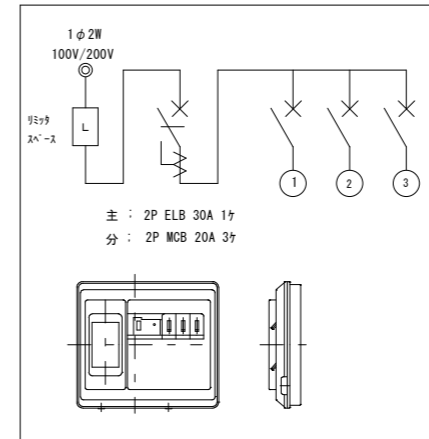


2戸長屋  
電灯設備撤去平面図

撤去照明器具

A	FL15W×1 ブラケット	B	IL60W×1シーリングライト	C	IL60W×1シーリングライト	D	IL60W×1シーリングライト	E	FL15W×1 キッチンライト
ポーチ	防雨型 カバー：アクリル（透明） プラスチック（グレー）	玄関ホール		便所		浴室		台所	
W=115・H=495・出しろ160								壁面・棚下兼用取付型 セード：プラスチック（オフホワイト）	

撤去ホーム分電盤



電灯分電盤 プラスチック製・露出型

撤去機器凡例

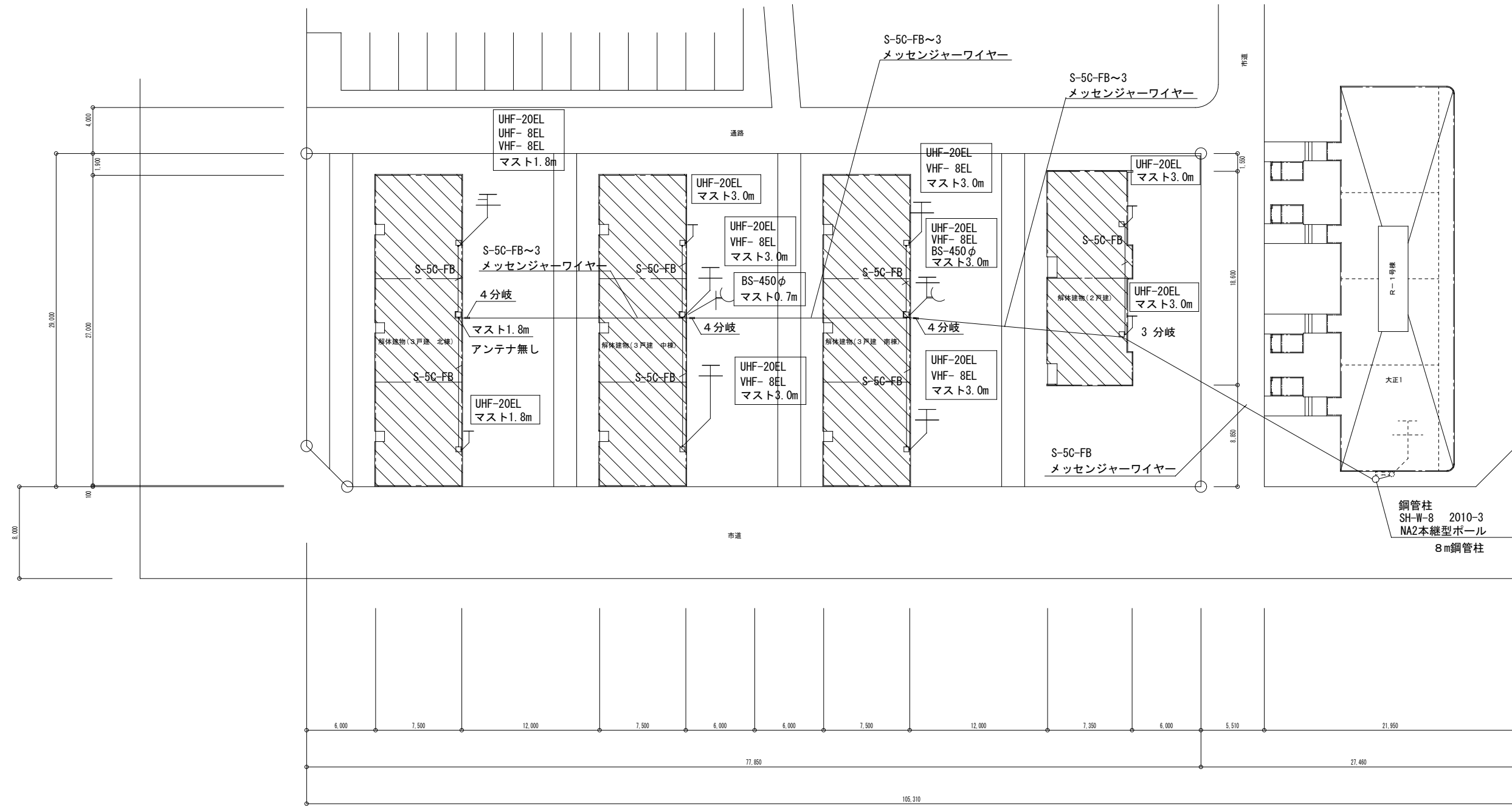
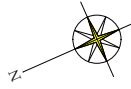
記号	仕様
Wh	積算電力計器箱 電力会社へ返納
▲	ホーム分電盤 2P30A 100V 主幹 2P ELB30A 2P MCB 20A×3
⊙ B, C, D	シーリングライト 白熱灯 シーリングライト
E	キッチンライト 蛍光灯 15W
A	ポーチライト 蛍光灯 15W
○	引掛けシーリング 露出 丸形
⊞	住宅用火災警報器 露出 電池式 けむり感知

特記事項

**Mori** ARCHITECT OFFICE 株式会社 **Mori** 建築設計室  
帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
TEL ☎ 0155-22-1102

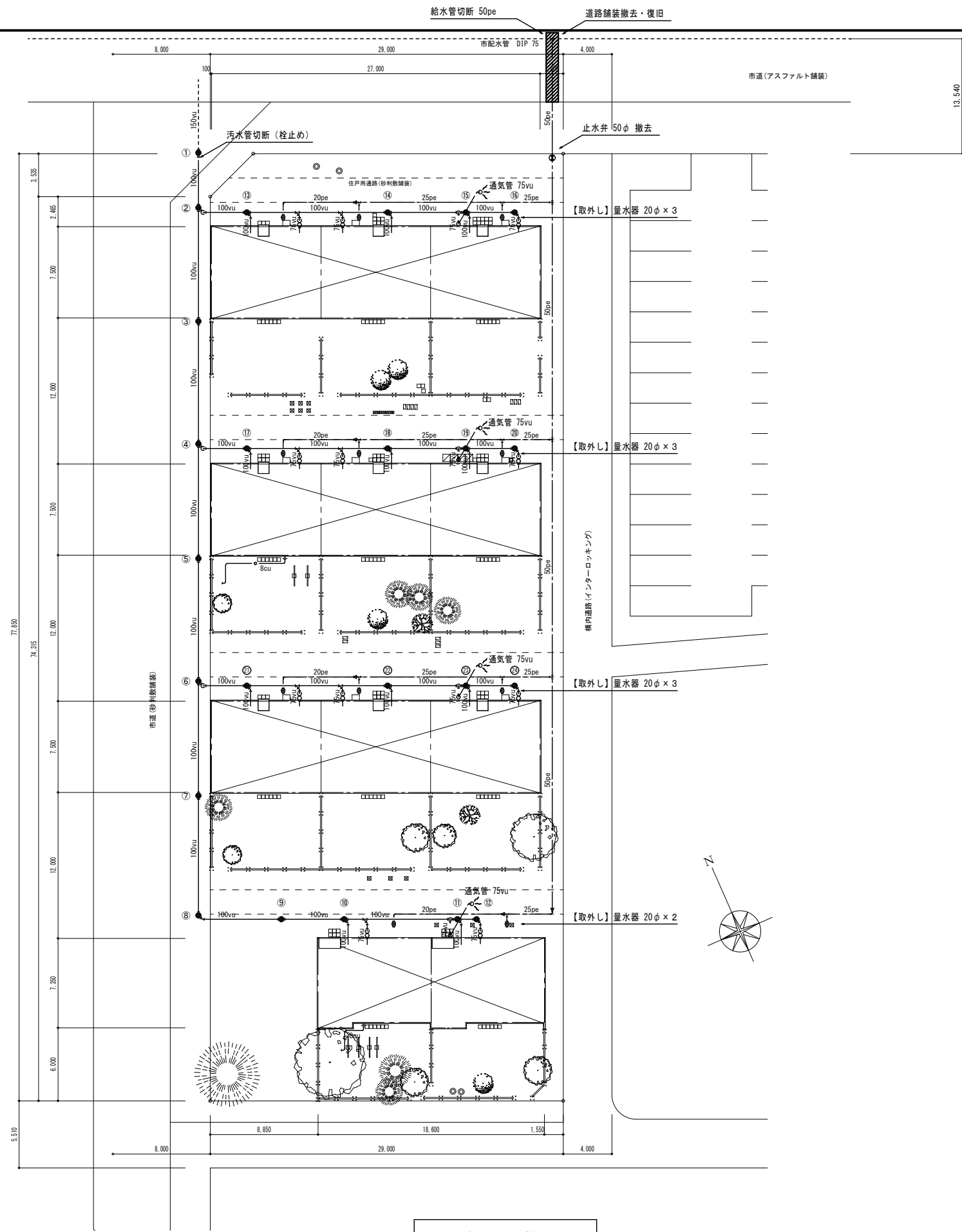
一級建築士事務所(十)登録第136号  
一級建築士第158671号 森 義孝

大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
2戸長屋 電灯設備撤去平面図  
縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
日付 2025年 11月  
図名 2戸長屋 電灯設備撤去平面図  
検図  
担当 E  
製図 07



テレビ共聴設備撤去図 S=1/200

特記事項	 株式会社 <b>モリ</b> 建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東40番地 TEL (代) (0155)-22-1102 一級建築士事務所(十)登録第136号 一級建築士第158671号 森 義 孝	工事名	大正団地簡易平屋除却工事		設計図	検図	担当	製図
		図名	テレビ共聴設備撤去図	縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400	日付	2025年 11月	番号



機械設備屋外撤去図

記号	名称	仕様	3戸長屋			2戸長屋	合計	備考
			北棟	中棟	南棟			
	量水器	隔測式 20φ 借受品	3	3	3	2	11	市上下水道部へ返却
	大便器	腰掛式 一体タンク C710	3	3	3	2	11	紙巻器共
	化粧鏡	ガラス製 450×600	1	2	2	2	7	洗面流し用
	手摺	1タイプ 32φ×500mm	3	3	3	2	11	便所内
VF-1	壁換気扇	連動式 φ200	3	3	3	2	11	
VF-2	パイプファン	格子グリル φ100	3	3	3	2	11	セルフド100φ共

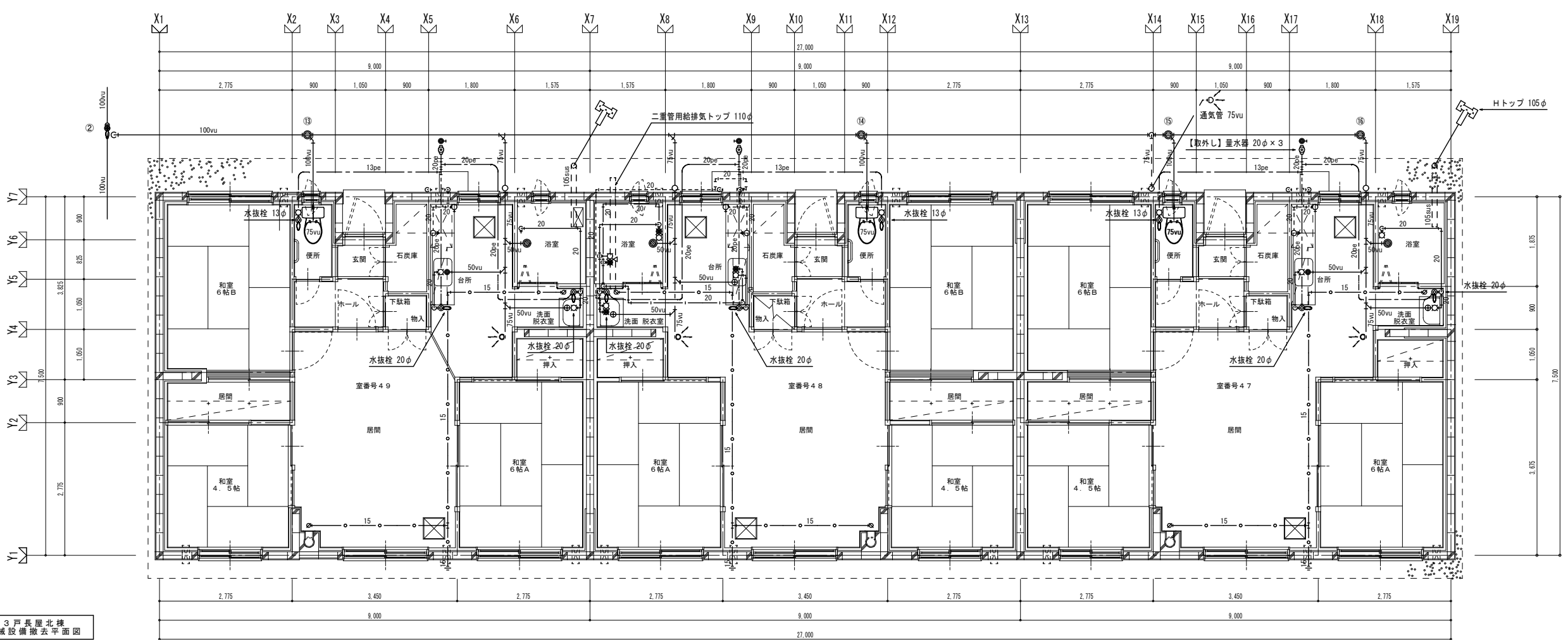
No.	種別	地盤高	管底高	樹長	蓋	勾配
①	公-C	-0.60	-2.70	2.10		
②	C-Y-15	-0.50	-2.60	2.10	防護樹 300φ (FC蓋)	2.00
③	C-S-15	-0.41	-2.41	2.00	防護樹 300φ (FC蓋)	
④	C-Y-15	-0.30	-2.21	1.91	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑤	C-S-15	-0.31	-2.02	1.71	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑥	C-Y-15	-0.16	-1.82	1.66	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑦	C-S-15	-0.13	-1.63	1.50	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑧	C-45L-15	-0.08	-1.44	1.36	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑨	C-S-15	-0.07	-1.31	1.24	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑩	C-Y-15	+0.07	-1.19	1.26	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑪	C-Y-15	+0.02	-1.00	1.02	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑫	C-45L-15	[0.00]	-0.94	0.94	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑬	C-Y-15	-0.50	-2.09	(1.59)	DN 0.51	2.00
⑭	C-Y-15	-0.50	-2.00	1.50	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑮	C-Y-15	-0.50	-1.74	1.24	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑯	C-Y-15	-0.52	-1.58	1.06	防護樹 300φ (FC蓋)	
⑰	C-45L-15	-0.54	-1.47	0.93	防護樹 300φ (FC蓋)	2.00
⑱		-0.30	-1.81	(1.51)	DN 0.40	
⑲	C-Y-15	-0.30	-1.72	1.42	防護樹 300φ (FC蓋)	2.10
⑳	C-Y-15	-0.25	-1.46	1.21	防護樹 300φ (FC蓋)	
㉑	C-Y-15	-0.28	-1.30	1.02	防護樹 300φ (FC蓋)	2.20
㉒	C-45L-15	-0.26	-1.19	0.93	防護樹 300φ (FC蓋)	
㉓		-0.16	-1.71	(1.55)	DN 0.11	2.00
㉔	C-Y-15	-0.16	-1.62	1.46	防護樹 300φ (FC蓋)	
㉕	C-Y-15	-0.19	-1.36	1.17	防護樹 300φ (FC蓋)	
㉖	C-Y-15	-0.18	-1.20	1.02	防護樹 300φ (FC蓋)	
㉗	C-45L-15	-0.19	-1.09	0.90	防護樹 300φ (FC蓋)	2.20

敷地埋設内給排水管は全面撤去とする。

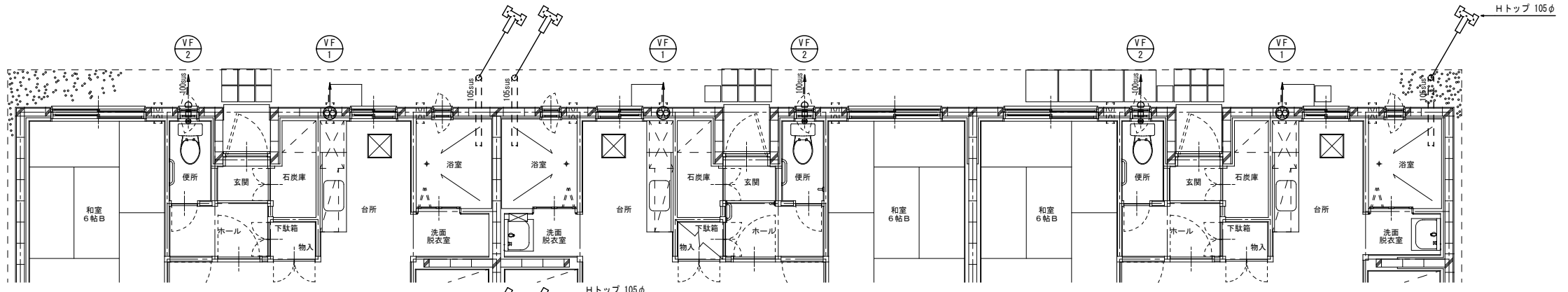
特記事項

**Mori** 株式会社 MORI DESIGN OFFICE  
 株式会社 **モリ** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL (代) (0155)-22-1102  
 一級建築士事務所 (+) 登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

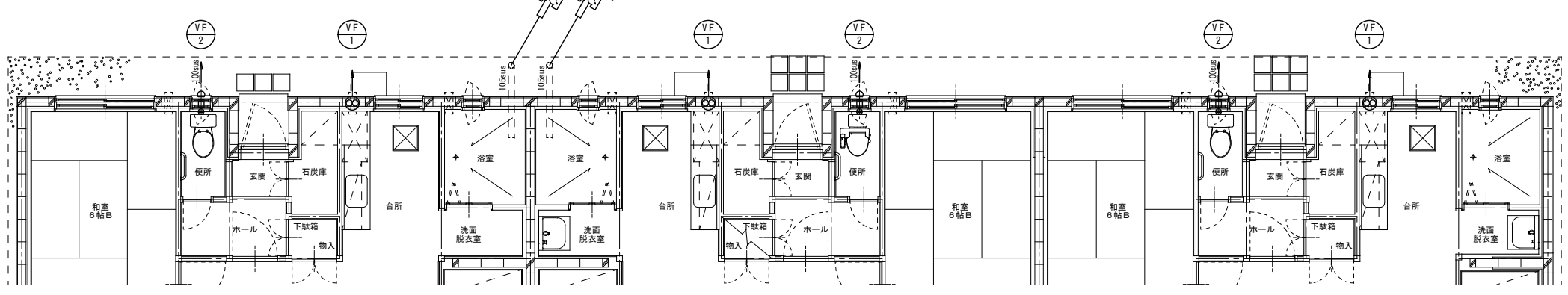
工事名: 大正団地簡易平屋除却工事 設計図  
 図名: 機械設備屋外撤去図  
 縮尺: A1: 1/200, A3: 1/400  
 日付: 2025年 11月  
 検図: 番号: M-01  
 担当: 製図



3 戸長屋北棟  
機械設備撤去平面図



3 戸長屋中棟  
機械設備撤去平面図

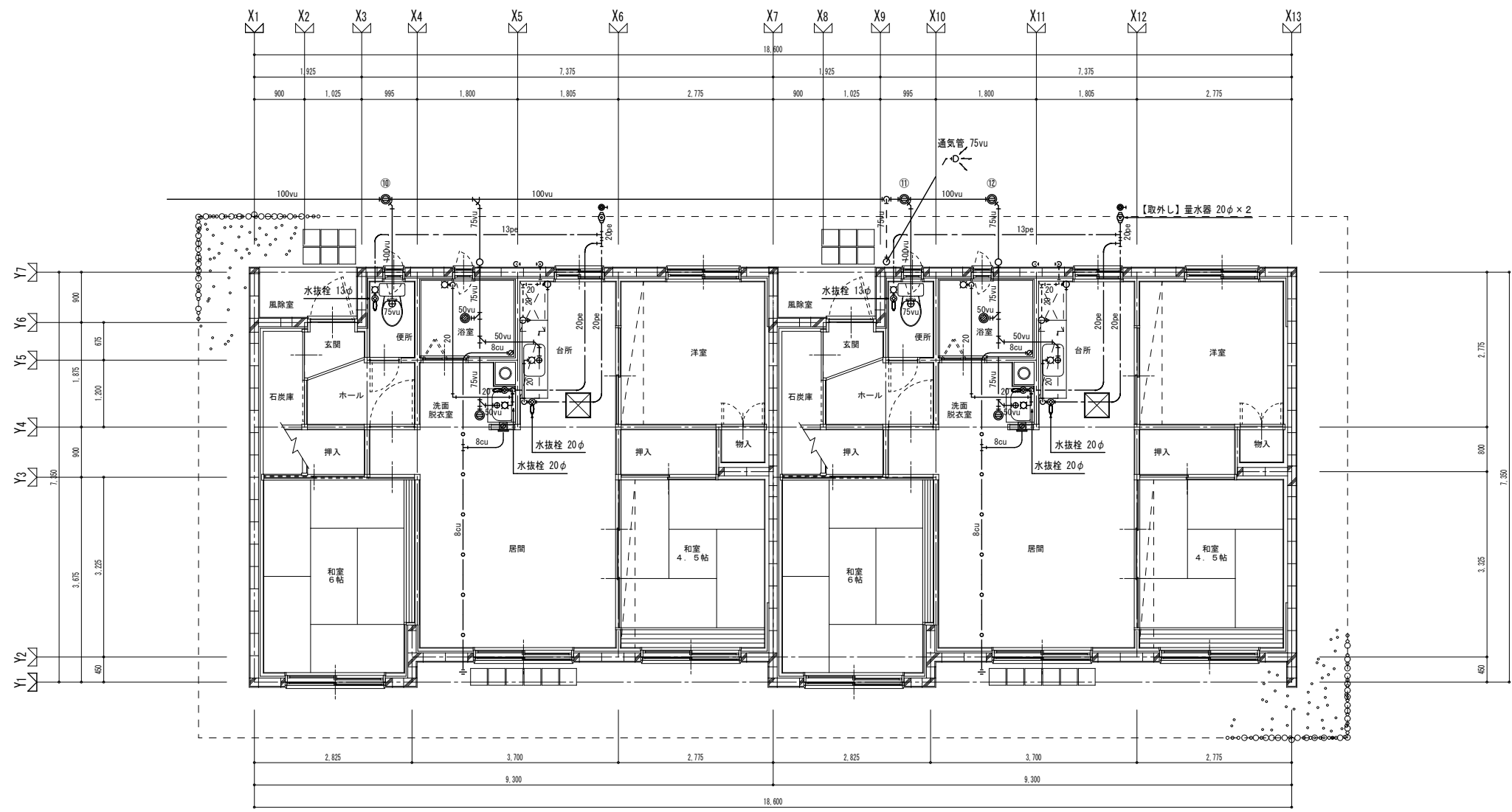


3 戸長屋南棟  
機械設備撤去平面図

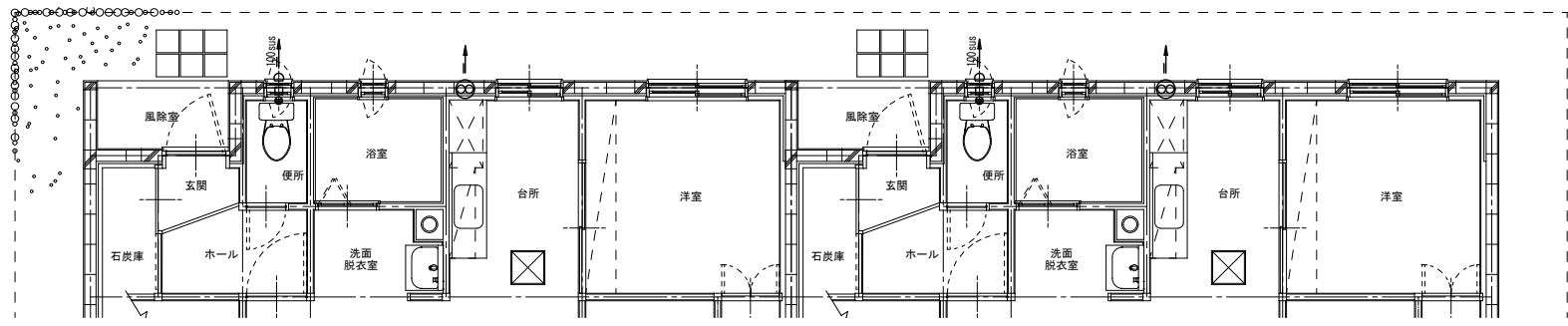
特記事項

**Mori** 株式会社 **Mori** 建築設計室  
 帯広市緑ヶ丘東通東40番地  
 TEL (代) (0155)-22-1102  
 一級建築士事務所(+)登録第136号  
 一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	大正団地簡易平屋除却工事			設計図	検図	担当	製図
図名	3 戸長屋 機械設備撤去平面図	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025 年 11 月	番号	M - 02



2戸長屋  
機械設備撤去平面図



特記事項	Mori 株式会社 MORI TEST OFFICE 株式会社 MORI 建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東40番地 TEL (代) 0155-22-1102 一級建築士事務所(十)登録第136号 一級建築士第158671号 森 義 孝	工事名	大正団地簡易平屋除却工事		設計図	検図	担当	製図
		図名	2戸長屋 機械設備撤去平面図	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	日付	2025年 11月	番号